

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-112)、
廃棄物管理施設(87)、MOX燃料加工施設(2-71))」

2. 日時：令和5年10月26日(木) 10時00分～12時00分
13時30分～18時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

燃料製造事業部 燃料製造建設所 許認可業務課長 兼 再処理事業部 副部長
他3名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年10月12日及び10月23日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・申請対象設備に係る具体的な設備等の設計(MOX燃料加工施設のグローブボックス、換気設備、機械装置・搬送設備等)

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・申請対象設備に係る具体的な設備等の設計については、審査会合での指摘事項や令和5年10月24日及び25日のヒアリングを踏まえた構造設計等の設計項目の整理方針に基づき、基本設計方針から必要な機能要求等を踏まえて網羅的に設計項目を抽出し、設計項目ごとに説明に必要な図面を拡充するとともに、補足説明資料での説明も充実させる。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他
提出資料
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年10月12日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年10月23日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年10月24日
「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-110)、廃棄物管理施設(85)、MOX 燃料加工施設(2-69))」
- ・ 令和5年10月25日
「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-111)、廃棄物管理施設(86)、MOX 燃料加工施設(2-70))」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	録音開始しました。
0:00:04	はい。規制庁のカミデです。それでは日本原燃殿、
0:00:11	ヒアリングを開始します。本日は、
0:00:16	令和4年12月26日に申請のあった再処理施設管理施設の設工認申請、また、令和5年2月28日に申請のあったMOX施設の設工認申請について、
0:00:31	今日扱う資料は、
0:00:35	10月12日、また10月23日に提示のあった資料を基にヒアリングコラムですと。
0:00:43	それでは規制庁側の参加者ですけども、まず、会議室側の参加者を初お願いします。はい。
0:00:51	規制庁会議室からフジワラオオオカヨコヤマが参加となります。
0:00:58	はい、ありがとうございます。他WEBから、ハバサキコサクヤマグチアライ、この上出が出席しています。
0:01:09	それではまず日本原燃の方から出席者の紹介と、あとは資料の紹介と、どの資料からどういうふうに進めていくか進め方を説明してください。
0:01:23	はい。日本原燃事務局の中浜でございます。
0:01:26	まず、日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:31	Steeringチームより、イシハラ、
0:01:34	イシグロ、タカヤ、
0:01:36	呉、MOX及び再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:42	今日ご確認いただきます資料でございますけれども、
0:01:46	また共通、MOXの説明グループ1です。
0:01:50	こちらの関係でございまして、共通中に本体、
0:01:54	及び閉じ込め01、閉じ込め02、
0:01:58	断層01、
0:02:00	歳入09、
0:02:01	四つの個別補足説明資料も併せてご確認いただく予定となっております。
0:02:08	それでは説明順番を含めて、イシハラの方からご説明よろしくお願いたします。
0:02:15	はい。イノウエの石田でございます。それでは、今ほどお話があった資料ですが特に10月23日に提出をしました共通12、レビジョン10オク呉でございます。

0:02:28	これにつきましては、本部別添参考資料については、今回特に変更しておりませんので、説明としては対象にしないことで考えてます。これをどうするんだということですが、
0:02:40	先日あったガイドのヒアリングのとの関係の反映、あと、再処理の設計説明分類説明グループに関する、
0:02:52	本文等への反映というものを、11月6日に修正版をお出しをしてそのあとのヒアリングでお話をさせていただこうと思ってます。
0:03:02	ということで本日の対象としては漏えいせ、
0:03:06	添付2の資料1から、MOX御説明グループに関係する部分を対象に説明をさせていただきたいと思います。
0:03:17	に10月12日と書いてそうしますと、個別補足説明資料は、資料3のところでの説明に関係するものをピックアップして、関連性も含めてご説明をさせていただくと。
0:03:31	ということでやらせていただければと思います。また、スケジュールにお示しをさせていただいた通り、本日閉じ込め、A案いう呉搬送、換気とかですねの上部体制以外の条文を
0:03:47	代表にしてご説明をし、下の方から耐震部分の関係の説明をさせていただくということで進めさせていただければと思っております。
0:03:58	説明の対象だったり必要の説明の進め方は以上でございます。
0:04:04	はい、規制庁カミデです。そういうことで基本的には資料1から進めたいということですが、その前に本文事項だったり本文別添で
0:04:15	今日の段階で話をしておきたい方がいればお願いします。
0:04:22	特に、そうですね、規制庁コサクです。
0:04:27	内容ということでもないんです。
0:04:29	けども、
0:04:30	先ほどアノが移動の、
0:04:33	整理に合わせて修正をと言われたところ、どんな方向性かっていうのだけ確認しておければなと思うんですけど。
0:04:42	ええ。
0:04:46	ど、昨日話をしていて、27ページ。
0:04:52	以降ですね、この辺りを、
0:04:54	変えていかれるんだと思うんですけど。
0:04:57	特に中、
0:05:01	ソネ30ページとかからは、妙に細かいんですけどこら辺はガイドに、
0:05:06	寄せていきつつ骨格がミスを見せるようにするっていう感じの修正されるとあっていいですかね。

0:05:13	はい、日本イシダでございますありがとうございます。おっしゃっていただいている通りで本文作った時、大分、発生手順に近いところの注意事項みたいなものをサブに書いてますがガイドとの関係を考えて、
0:05:27	ガイドに載せるところはガイドに展開をしていくと、宇井課長、ちょっと前回お話あった定義とかいろんな項目として、全体方針を述べるべきものを本所にピックアップして、
0:05:39	追加していくということで考えてました。
0:05:44	はい、浅田ですわかりました。提出が6日予定ということなんですけど、今の点は、ガイドとかの議論しながらってということだと思っ
0:05:57	ですけど、ガイドで揉んでいってそれを反映すればいいかっていうことですかね。
0:06:04	はい。弓削ニシダでございます。はい。
0:06:08	そういう形だと思いますが移動からのフィードバックっていうのも当然あると思うので、まずは、
0:06:15	ガイドを真木の話は2日にお出しをするそのタイミングで、当然そのガイドでの関係を富む踏まえて6日に、本文も含めた修正版をお出しする。
0:06:27	先ほどガイドのヒアリングをさせていただいて、本文への反映もブラッシュアップをどうしていくということで、順次展開できればと思ってました。
0:06:40	はい、細井です。わかりました。で、もう一つの再処理ノース分類グループの話なんですけど、その精査もやはり今話をしていて、設計項目とかの整理をしていかないと、
0:06:57	具体の説明すべき項目をどう変えていくのかと。
0:07:04	ということが整理がつかないのかなあと思う。
0:07:09	時間がかかるってことかなとは思いつつ、
0:07:12	6日提出ってどこまでのことができ、どうやっていこうかっていうのはどういう考えでしょうか。
0:07:21	はい。日本原燃石田でございます。はい。おっしゃっていただいて大分、スケジュール的には詰め込んで、お示しをしている部分があります。
0:07:32	昨日、昨日ですかねやらせていただいた、SA側の要求事項の整理というのとDBの設計項目の整理、これを、の状況を踏まえて、フィードバックをかけていくということ。現状は6日に出す時には、
0:07:50	最初に設計説明後、設計説明文の説明グループも、その修正の
0:07:56	内容を反映したものでお出しをしようと思ってます。
0:08:00	SAの要求事項だったりDBの設計項目の整理ということを、2日にお出しをしてその内容も踏まえた上で、設計説明文の移設グループに反映をし、6日に提出をさせていただく。

0:08:13	ということで進めてますがもう1順20しないと決まらないかもしれないというところも考えながら、そのあとどうやってつなげていくかということも、
0:08:26	整理をしていかなきゃいけないというふうには思ってます。
0:08:32	はい、古作ですわかりました。今もう1順に順と言われた通り、十分なものにはならないかもしれないですけど、方向性として確認しといた方がいい。
0:08:44	もあると。
0:08:45	で、
0:08:47	段階を踏んでいくんだということで理解をしました。よろしくお願いします。
0:08:59	はい。規制庁管です。他、本文だったり別添だったりの関係で、特になければ、
0:09:07	では、まずは資料1からですかね。変更の趣旨だったりを説明してください。
0:09:17	はい、二宮でございます。85ページからですかね、85ページです。
0:09:26	15ページからは、資料1がございます。青のハッチングをしているところが幾つかあります。これ
0:09:35	資料1からといいながら資料2とかを説明しないとなぜこれが変わったのかの説明はなかなか難しいところではありますが、前回、
0:09:44	ですかね話が、
0:09:47	やりとりをさせていただいて、グローブボックスの中にシャッターがついていてこれが閉じ込めの負圧との関係で、要求事項としては構造設計も含めて説明する必要があると。
0:10:00	いうふうに認識をしています。そういった関係のところでも今、青でハッチングしているところで、項目を追加しています。これおっしゃった自体を基地として持っているものを、
0:10:10	現状のサンゴをオオノところの気持ち検討していくわけ時等の関係ということで、追加をさせていただいたというのが資料1の、一応最初の表の
0:10:22	生成のポイントになります。
0:10:25	はい。その関係も含めて、
0:10:29	資料1の別添1というのが、
0:10:35	100%、
0:10:40	新規が、
0:10:44	141ページから調子があって、イデ直したのが、
0:10:51	140
0:10:52	4ページ。

0:10:54	機械装置搬送装置なんかのシャッター関係の話が、十条絡みでの追加になっているということでございます。
0:11:04	あと別添 1 で修正したポイント配置設計として建屋の中に収納するといったものの関係で、系統構成として、建屋内に背景しますよといった設計の内容が、
0:11:17	今回項目として追加してます。そういったところが、
0:11:21	追加になってる部分があります。それは、
0:11:26	157 ページとかですかね、2、一部追加をしてる部分があるということでございます。資料 1 としては、修正さポイントは以上でございます。
0:11:40	はい。規制庁鏡です。それでは資料について確認があればお願いします。
0:11:48	規制庁岡です。
0:11:53	ちょっとフェーズの確認なんですけど、先ほど資料 2 とか 3 を作りながら、資料 1 の方に戻って行って、追加するところ、
0:12:03	検討していたとおっしゃってたんですが以前からずっと、
0:12:06	水の方で話題になっている施設内漏えい堰ろが
0:12:12	85 ページ目のNo.6 からの幾つかのところ、
0:12:16	ここで、溢水との整理っていうので、丸がつくかどうかというのを検討するというのが最初ニワと一緒に、
0:12:24	を実施することになってたと思うんですが、その検討した結果全部マルつかないっていう整理になったのかそれともまだ検討してないっていう整理なのかどっちなんでしょうか。
0:12:45	はい。イノウエシダでございますはい。再処理とあわせて、検討して修正をするということで考えてます。まだ反映はしてません。現状の検討状況からいきますと、
0:12:57	多くの場合は真水がそもそも作られてるもありますし、一世アノ石等コラボするようなところはないとは思ってますが最初の検討の状況も踏まえながら、
0:13:08	両方同時に反映をしていければと思ってました。はい。規制庁加賀です。そこはおそらく溢水側の対応方針なんかでは、今最初の方しか、
0:13:20	多分書かれてなくてボックスもそういうものがあるっていうことは、前から話してたと思うので、どこかでしっかり説明聞きたいと思いますのでよろしくお願いします。
0:13:35	はい、日本シダでございます。はい、承知いたしました。
0:13:46	と規制庁カミイチオカ規制庁から資料 1 については大丈夫ですか。
0:13:53	規制庁の荒井ですけど、先ほど石原さんから説明あった通り 85 ページで色塗りしたところは、ヒグチちゃったところを、

0:14:03	新たに構造として追加しますっていうところなんですけど。
0:14:07	気密シャッターっていうのが、どのようにこの 85 ページわかるのかわかっていうのを教えていただけますか。
0:14:17	と、例えば 243 番とかですか。
0:14:25	はい。イノウエネシアでございます先ほど資料 3 とかの説明も含めてやらないとなかなか説明が難しいなと言ったのは
0:14:34	構造としては我々も前提が、こういう機器にはシャッターがついているということを前提に、ス記号を出してますので、名称としては機器名称しかできません。
0:14:47	ので、そこも含めて今言われたような見える化を、
0:14:53	どうするかってところはちょっと検討させていただきます。基本的には装置の構造物の一つですのでシャッター単独で資料 1 の段階でフラグを立てることは考えてなかったのもので装置名だけで、それが、
0:15:06	わかるかというところも含めて、整理をしていければと思います。
0:15:10	はい。
0:15:12	ありますと。
0:15:21	どうぞ、規制庁オカベサトウ 1. アノ、
0:15:25	前回、ちょっと議論した、128 ページ目の、
0:15:31	溢水の、第 2 章個別項目の壁貫通部止水処置含む、
0:15:36	に対して、第 1 回申請であった、
0:15:41	流入部機能防止のための、
0:15:45	建屋開口部高さの話がここに入るんじゃないかっていうような、
0:15:51	議論をして結果的に今回もバーになってきてるんですが、その整理はどうだったんでしょうか。
0:16:18	はい、日本イシハラでございます。前回議論があつて、現状仕様設計方針での展開の仕方から、
0:16:28	踏まえて、第 1 章共通項目の建屋外からの溢水評価の実施というところ、ここ建屋外で起こった溢水が建屋の中に入ってこないことと、
0:16:40	いうことを、評価をして、概略評価ですけども、建屋の高さ開口部の高さが一定以上あるんで大丈夫ですという説明を第 1 回しているということでここに
0:16:52	丸をつけたということ、丸をつけたって前から聞いて、
0:16:58	ということで整理をしてます。今岡さん言われたのが多分 32 番です。32 番の個別項目のオカベの評価。
0:17:10	一応第 1 回の整理を考えると、6.6 項のところの関係で添付書類が変化していたので、現状のこの整理で、
0:17:20	対象としては明確かなと思ったんですがというのが検討結果ですはい。

0:17:25	はい。規制庁甲斐です。わかりました。第1回の時に個別項目として壁をエントリーして、
0:17:32	申請書にはいてたと思うんですが、
0:17:36	その部分はどういう扱いになりますか。
0:17:43	はい。日本原燃石田でございます。私の整理が正しいかどうかあれですけども建屋の外からの流入については6.6のところでは29番の中で整理をし、
0:17:54	この32番に紐づいてる壁はタテの中での溢水に対して経路も含めた壁としての機能を期待するものということ、2-1以降に、2回申請以降に出てくるのは、機器の配置との関係で、
0:18:11	環境部として期待するような壁へも含めたエントリーをしていくということで、整理かなと思ってました。はい。
0:18:19	岡です。はいそういう整理でしたら、はい、わかりました。
0:18:23	調整です。
0:18:29	藤規制庁カミデです。私からも1点、109ページ。
0:18:38	の、
0:18:39	841番っていうところがあって、
0:18:43	A、
0:18:44	主配管となっていて、何か逆に、
0:18:51	備考のところですかね、文章が記載してあって、これ、20款、
0:18:59	外側は、
0:19:01	B、ナカは強いってことのようなんですけど、この辺りってそ設計としての考え方みたいのって、
0:19:11	どこかに展開されているのか、閉じ込めとか見ればいいんですかね、ちょっと説明できますか。
0:19:28	人間の部屋でございます。二重化になっているもので外壁がグローボックスの繋ぎをしているものでグローボックスがBクラスなので同じ耐震クラスで、
0:19:40	二重化の外側をBクラスに設定をしているというのが基本的な考え方なんですけど、
0:19:47	これ自体は、液体廃棄物の処理設備が説明グループさんで出てきますそこでの設計と構造設計等の中で、その関係を説明するというところに今なってます。
0:20:05	はい。規制庁深見です。
0:20:08	最初に施設結構二重管があって、ちょっと特徴的なのかなと思うので、どういう機能を期待して、してこうしているっていうのはちょっと
0:20:21	お話を聞きたいなと思ってます

0:20:23	今は何か外側で担保するっていうことのようなんですけど物によっては、ナカの方が大事だって言ってるものもあるような気がしてですねその辺りどんな二重管ってどういうところに使っていて、
0:20:37	こういう役割分担が、役割分担というか何か使い方がいくつかありますというのであればその辺り
0:20:48	全般的にこうなってますという形で説明を聞きたいなと思ってますので、またよろしくをお願いします。
0:20:56	はい、日本インダでございますはい。うん。再処理との絡みで説明しないと。
0:21:03	いけないかなと思いますので、整理をさせていただきますちなみに、対象は、
0:21:08	木製についてはここしかないの、何らか考えの分類形には、財政との考え方が統一的なのかどうかということなのかもしれません。はい。
0:21:20	はい。規制庁甲斐ですそういう意味だとMOXIは切り分けられるか最初にはいろいろパターンあるのかもしれないっていうことで、またあれですね、
0:21:31	説明グループのところでもどの辺に入ってくるのかってちょっとまた見ておこうと思います。はい。
0:21:37	オカ規制庁オオバから資料1缶切りって何かありますか。
0:21:41	コサクです。
0:21:44	今、
0:21:45	話し合ったのとオカからのものそうなんですけど、
0:21:49	MOXだけで聞くとそうかなと思うところもあるんですけど、
0:21:54	同じように最初に展開できんのかなっていうのがよくわからなくて、
0:21:59	先ほどの本文側で
0:22:04	でも、
0:22:07	どのグループで説明するんだっていうのを、再処理とMOXで合わせて説明するという項目もあるはずで、
0:22:16	それとの関係でどう整理したっていうのもちょっと気になると。
0:22:21	です。
0:22:22	大枠で言えば昨日お話をした案誘導し、扱っていくということで、今日もああいう09の説明がっていうような話があってMOXでは着手するっていう感じがあるんで、
0:22:37	その点も整理いただきたいんですけど、
0:22:43	今話題にあった2点で言うと、二重管の方は、何らか説明の整理をしていただけるんだろうと思うんですけど一斉の方で、
0:22:54	MOXIは、建屋、

0:22:57	蒲池と、
0:22:58	実は波及影響側でのエネルギー管理建屋もありますけど、主は、燃料加工建屋と、
0:23:07	ということなので共通項目で整理をしてしまっというのは、
0:23:12	何となく、そうなのかなって気もするんですけど再処理も同じように整理できますか。
0:23:22	はい。日本原燃石田でございます。はい。
0:23:26	私がMOXのことだけ考えていكانのであ、そうですね。はい。再処理っていうの説明っていうことも考えて整合税。
0:23:36	であったり考え方の統一的なものというのを、整理をしていきます今私しゃべったことがアカイシでも同じかという。若干なんか経路がずれそうな気もする
0:23:47	ので、そういったことがないように、当然そういうことを合理的に説明していくということもこの共通理念のスタートの目的でもあるので、そういう視点でも整理をしていきたいと思ひます。はい。
0:24:01	はい。補足です。ちょうど水の整理は昨日議論したところですから、その整理の中でけりをつけられるんじゃない。
0:24:11	とは思ひますのでよろしくお願ひします。以上です。
0:24:22	はい。規制庁神です。
0:24:24	すいませんさっきの関連で、もう一つ聞くとすると 109 ページの 841 番ですけど、この配管が、
0:24:34	例えば今、PCクラスですけど水の何でしたっけ、
0:24:41	Ss2、耐えられるから言う水源としませんみたいなもの対象になってるか否かってこの表でわかるようになってるんでしたっけ。
0:25:03	はい。人間のイシハラでございます。これは多分水田として考えるっていう対象になっただ気がしないでもないですけどとはいへ、
0:25:14	そうですねそこも見える化しておかないと、Ssを期待して、1 制限から除外しますよという場合に、それが見えるかと言われると、
0:25:25	今の状態だと見えないので、そこはでも耐震設計でも書かないのか。
0:25:35	書いてないね。そうだね。ちょっとそこはすいません工夫。
0:25:40	を考えたいと思ひますはい。
0:25:44	はい。通帳管理です。うんそうですねこの表でわかるようにしておくのが一番いいんでしょうね別のところにあげても、またこの設備リストがダーツについてっていうのもあれなので。はい。
0:25:59	いずれにしても登場人物としてどんなものがあるかで水のそなんか昨日お話しした水の耐震のところとどんなものがあるのかっていうのも、
0:26:10	目線がまた定まってくるので、はい、整理をお願ひします。

0:26:15	規制庁岡です。その整理って、C-2っていう耐震設計のDBのところで、
0:26:21	そ、そそれも該当するっていう認識だったんですが違う。
0:26:27	はい、乳井西田でございますC-1とかC-2って確か機能維持とか波及影響とかを考えるってやつだったと思うので、
0:26:36	ちょっと経路としては1制限から除外する云々とは違ったようなもとの分類の仕方がですね、違ったような気がするので、そういう意味で岡部さんのご指摘、
0:26:48	見える化、逆に言うとその配管がどういったもので、どういうことを期待するんだと一つに、Ss-Dを持つようにして刺激しませんという設計を、
0:26:59	語る必要があるかどうかという線引きをしておかないと、構造設計なりで語るものも変わってくると思うので、そういう意味で、整理を進めますはい。
0:27:09	はい。政調会長わかりました。
0:27:11	113 ページ目の耐震設計括弧D-C-2で、Ss2による地震力に対して、
0:27:19	水を本する機能を保持できるものっていうふうになって基本的にその
0:27:24	補強したものは、
0:27:26	補強して持つようにしたものがC-2に該当するという認識ではあったんですが、はい、日本インダでございますそれがですね多分対象になってなくてですねこれ赤羽例えば溢水対策設備で、その機能をSsに対して期待するって言ってるものが、
0:27:43	こういうものに入ってくる感知器もそうですね。そういったことの趣旨だったので、このC-2には対象になってなかったと私は記憶してますその辺も含めて整理をしていきたいと思います。
0:27:55	はい。規制庁岡です。ちょっと私もそこまで含まれてる。
0:27:59	ありがとうございます
0:28:03	はい。規制庁菅です私も石原さんとおんなじイメージで、水の防護板とか、耐震クラスSじゃないんだけど整理しますってのが、C-2の、何かメイン物っていう感じなんで、さっきお話ししたのか、あれどこなのかなっていう感じだったので、はい。お願いします。
0:28:20	他、規制庁側からありますか。
0:28:24	規制庁の荒井ですけど。
0:28:26	今の配管の加害者となる配管の点でちょっと懸念があるのは、例えば申請対象設備の配管では、おそらく、
0:28:39	Ss機能維持っていうのが、語られるのは、

0:28:43	語ることは申請対象設備リストの中ではできるのかなとは思ってんですけど。
0:28:49	安全機能を有さないタダノUTT系の一般産業品レベルのもの。
0:28:56	は、どのように区分けしていくのかっていうのが、
0:28:59	どういうイメージついてるのかっていうのを教えていただければと思います。はい、日本のイシハラでございます。これも統一感があるかどうかかっていうところもあると思います。
0:29:10	おっしゃっていただいたように特に再処理の場合は申請対象設備になっていないような人が、
0:29:18	UTT系で溢水量になるっていうのが多くあってですね、それをどうやって示していくかってのはまだ、
0:29:24	整理をしないといけない宿題だと思ってます。一方MOXクワ。
0:29:31	为什么呢か、ころっとしたものが多いていうのもあるし、制限ってなるものがほとんどものがないので、現状タテづくりの何らかどっかに入ってるっていうのが、MOXの今の資料1の体系になってます。
0:29:45	プラス、以前、カミデさんから、何かの時に何か指摘があったのが1水源から除外するような配管って結局、耐震計算書出てくるんだけどこれって全部、
0:29:57	どれが全部ですかってのが、何見たらわかるんですかっていうやりとりもあってそういう紐づけをしていって対象物が確かにこれで全部だっていうのをどう見せていくかってのが、
0:30:08	特に最初の方での宿題だと認識をします。それをこの資料1との関係でどう示していくかと。
0:30:15	いうことを整理を進めないといけないという認識をします。
0:30:19	はい。
0:30:22	規制庁荒井です。そうすると、資料1って申請対象設備リストなので、別の枠を何か、
0:30:30	設けるとか、そういうイメージでいるんですか。
0:30:34	はい、日本イシダでございますいっぱい表があるともうまたみたくなくなるだけなので、その辺も含めてどうしようかということを考えないといけないと思う。何らかの、
0:30:45	系統に紐づけて共通項で示せるようなものを、これにこんなものがぶら下がってますっていうのを、資料1の備考欄なりなくなりでフクヤマして、
0:30:55	変えていってその対象がどんどんどんどん明確になっていく具体化されていくというやり方もあるかなと、タテ事項あまり好きはないので、必要なのであれば当然、

0:31:06	出すんですけど、そういったものはどこかに入れてこん中に、こういうものも含んでますということをやりながら資料1で展開をしていくというやり方もあるかなと思ってましてその辺の整理をしていきたいと思ってました。
0:31:21	北田すいませんコサクです。
0:31:25	私が思ってたのがイシハラさんの回答だってなさそうなので、
0:31:31	確認なんですけど、市中央表に出てこない設備っていうのは、
0:31:38	基準適合のために必要なことっていうのは、基本設計方針ですべて読めるようにして、
0:31:46	その関係から、基本設計方針でしか拾えないものっていうのを、
0:31:53	110何ページ以降にリストアップしてるってことじゃなかったでしたっけ。
0:32:00	はい。人間者でございます。はい。ちょっと説明が中途半端ですよ。おっしゃってた施設共通の項目で割りつけてる中に、現状、
0:32:13	何、何ページだ、126ページですかね。
0:32:18	もう一つ、昔、うん。
0:32:20	ナンバー15。
0:32:23	違う、金融部12条のNo.15が、
0:32:29	破損が生じないっていうことを対象にして、
0:32:33	でもこれ1制限として設定する基本設計方針、
0:32:40	この中で読むのか。
0:32:42	でも基本設計方針ただし書きがあるんだよ、その下に。
0:32:46	一緒に設定して、ただして、Ssにもつやつは一気にしません。
0:32:53	その辺も含めて、ちょっと整理をします。こういった対象で紐づいていくかというのを、整理をさせていただきます。はい。
0:33:01	はい。補足です。なので、ここウはそのために作ったページであって、ここでしっかり等、どういうものが対象なのか。
0:33:11	ていうことを明確にしていく。それがいくつかのタイプがあればそのタイプ示していただいて、添付書類でそれを見えるようにしていくということだと思いますのでよろしくお願いします。
0:33:29	はい。日本原燃石田でございますはい。ありがとうございます。私もすっかりは、
0:33:35	先ほどの説明もう1回、
0:33:40	整理をしますが、施設共通共通的なものの方針になるものは、ここで、
0:33:48	今先ほどの126ページとか、その前にもいろんな条文ごとに施設共通の基本設計方針としているものっていうのは、

0:33:56	複数のものが関連して共通的な設計方針なので、かつ、設備 1 個 1 個に丸をつけたりしませんよということも含めて共通的なものをここでピックアップしてます。
0:34:07	これを、施設教育基本設計方針の枠の、資料 2 とかに展開するとき、この関連で、構造設計等で考慮するものがないのかっていうことを、
0:34:18	整理をして、それぞれ関係設計説明文に割り付けて設計項目を出して、資料 3 の方に展開をしていくというのが現状の整理になってます。はい。
0:34:30	はい、細田です。ごめんなさい。今ちょうど 126 ページ紹介いただいたので、
0:34:38	この溢水、
0:34:41	量の算出ということで 10、IV、
0:34:48	とかにですね、入れておられますけど、
0:34:52	これ、冒頭宣言と評価要求ってなってる、
0:34:58	何でっていう感じがあってですね、構造設計のかよっていう感じも、に繋がるんじゃないのかって気がしているんですけどこれ何なんでしょう。
0:35:08	はい。日本イシダでございます。はい。これが
0:35:13	最初にも同じようにやって勝宇山まさしく前ガイドでも議論していただいた、評価要求といいながらこのベースになる構造設計なり系統設計がいるように、
0:35:25	こういうところを資料 23 の段階であぶり出して、追加をしていくという整理がまだ必要な、そのベースの前提の、もともとあったものをただ割り付けていただけという状態になってますんでこの後資料 23 をやりながら、
0:35:41	こういったところを要求事項として出すのかどうかということも含めて、整理がついたと思ってます。若干すいません苦しい予定になりますが、12 条は今回の対象になってなかったところもあって、
0:35:53	まだブラッシュアップがうまくできてないというのが MOX の現状だと認識をしています。
0:35:59	規制庁小阪です。状況はわかりました。昨日の議論を踏まえてということで、対応よろしく願います
0:36:12	はい。規制庁神です。オカ資料 1 関係はよろしいですかね。
0:36:21	それでは
0:36:24	資料の 2 に進みましょうか資料 2 は条文ごとに進めていく感じですかね。はい、八木沢でございますはい、ありがとうございます。そういった形で進めさせていただければと思います。
0:36:37	はい、じゃあ、願います。

0:36:40	はい。乳井の石田でございます。
0:36:44	今回の対象分 170 ページに書いてある数字と書いてあるもの以外のものになります。提示が多くて恐縮ですけども、第五条第 26 条の義務、
0:36:55	第十条オオノチーム、あと 10 条、16 条、17 条、20 条 23 条ということでございます。
0:37:06	冒頭申し上げた通り 5 条のチームですねこれ明日、やらせていただこうと思ってまして、今日第 10 条の閉じ込めからスタートさせていただければと思います。
0:37:19	はい。閉じ込めが、頭がへ 226 ページからでございます、
0:37:26	青泉になってるのが 228 ページ以降に、順次見られますがここは前回からやりとりを踏まえて追加修正をさせていただいてるところということでございます。
0:37:39	オオツカだけ先ほど冒頭の資料 1 の中でもありましたシャッター関係の記載を追加したのは、228 ページとかですねあとは
0:37:50	文章的にもう、資料 3 を作りながら、資料にて制度設計で語ることがちゃんと書かれてるかという視点修正をしているということでございます。
0:38:04	例えば 228 ページ行きますと主な責任を追加されてるじゃんっていう話なんですけど、これサッカーの関係が先ほど出したものを追加をして距離をさせていただいてると。
0:38:15	いうことを加えて 229 ページに、機械装置搬送、
0:38:20	設備かな、おっしゃった、
0:38:24	オカベを有する内装と、
0:38:26	ということで、次、決定説明分類も含めて、追加をさせていただいて、
0:38:34	はい。
0:38:36	あとは、グローブボックスのパート十条でいきますと、
0:38:47	231 ページの漏えい検知兼心の資料 3 を作りながら、拡充をしたというようなところでございます。
0:38:57	資料には基本、先ほどあった資料 3 を作り込んでいく中で、セキネとして不十分かという点も含めて、追加修正をしますただ
0:39:09	昨日、オオノ議論でもありましたし、ガイドの議論でもありましたそれぞれ、例えば評価と設計が対になってるものを増える役割分担として、
0:39:21	まだ資料 4 の整理が十分できてないところもあるので、ある種評価のところを累計しながら、整理をして書き方を決めて、それを設計側にフィードバックをしながらそれぞれの関係性を明確にすると。
0:39:35	いう作業がまだ必要なものだと思ってます。
0:39:39	はい。十条としては主に修正者のイマイのポイントでございます。はい。

0:39:46	はい。清長官ベース。それでは 10 条関係で規制庁は確認をお願いします。
0:39:54	規制庁の荒井です。ウタ
0:39:58	資料 3 の具体的な設計の方をフィードバックさせて拡充させたっていうやり方なんですけども、
0:40:07	まず資料 3 のほう拡充してって資料 2 の方に飛んで、最後資料 1 の方に行くっていう流れになるんですか。
0:40:19	はい。乳井ニシダでございます。
0:40:23	そうですねやり方としてはまず一旦資料 1 から 3 までフルパッケージ作る。細かい設計の話を書き下していく、設計項目として本当にこうやって足りてるのか、っていうチェックを、資料 3 がいきつつ、
0:40:39	それを資料 2 にフィードバックをし、
0:40:42	対象の設備が増えるようであれば、資料 1 にもフィードバックをかけてということでございます。はい。
0:40:51	基本的にはまず上流から作り込んでいくというフェーズはありますが、当然一番部隊を示すところからの
0:41:00	上流への坂野へのフィードバックも当然考えるということで採用してました。
0:41:05	はいわかりました。ありがとうございます。そうすると資料 3 の中でちょっと機密性のところの説明で足りなかった部分っていうのはこういう部位があるよねっていうところで今 100、228 ページにいつてるんですけど、
0:41:18	それで、
0:41:19	主な設備っていうのが、こういうと関係していきましてっていうのを、左から三つ目の列のところに書いてって、そうすると申請対象設備って増えるよねって言って被覆管供給装置とか、
0:41:32	がエントリーされてきて、資料 1 の申請、申請対象設備のリストにポンと出てくるっていう流れて、理解しますと、
0:41:43	あ、すいませんそこ、若干あれですけどタケツグっていうのも、今回直して、特に条文との関係で、要求事項がその設備に何がかかるところを申請に行くっていうポイントが、
0:41:55	あるかなっていうところは、今回の整理の結果でございます。はい。
0:41:59	うん。
0:42:00	なるほど。
0:42:03	そうするところ。
0:42:06	今回の閉じ込めっていうのは、
0:42:10	何ていうか、

0:42:13	この前の会合とか、それまでのヒアリングとかを踏まえて、シャッターのところを重点的にやってるとは思っていて、
0:42:21	そうすると、
0:42:23	ちょっと細かい点なんですけど、228 ページ目の一番右のオープンポートボックスの開口の制限って、これってなぜ反映したのかっていうのを、聞き逃したかもしんないんですけど教えていただけませんか。
0:42:43	はい、西原でございます。こちらはですね、この補足説明資料の方も、関連する補足説明資料が何かっていうのは、要求事項を見ながら、ここでエントリーをしているっていうのが前回からもやっていたこと、
0:42:59	実際要求事項との関係でまず個別を付則に書くことがどういったことが必要なのかっていうのは、当然資料 3 を作りながら展開をしてかつ、
0:43:08	その内容を、言ってる区内への幸運文章がですねその内容を適切にあらわせるかっていう点でも、今回チェックをして、フィードバックをかけたという点で、
0:43:20	一番右側の欄に若干文章の修正が出ているということでございます。
0:43:27	規制庁荒井です。端的に言うと、補足説明資料と整合性を合わせたってことでいいんですか。はい。日本イシダでございます。はい。そういうことです。はい。はい。
0:43:39	わかりました。
0:43:45	来てじゃれとりあえずは以上です。ちょっとまた確認します。
0:43:49	実際超過ですと、229 ページ目の先ほどおっしゃっていたシャッターをふやしましたっていうことで、
0:43:57	229 ページ目の中段、
0:44:01	ナンバー3 の、
0:44:03	ページ跨ってしまっているところなんですけど、
0:44:06	ここ、機械装置搬送設備に今回入ってて、結局、この
0:44:12	Aとおっしゃった弁を有する内装機器っていうのは可動部があって、だから機械装置搬送装置で説明しましょうってそういう整理になったということですか。
0:44:24	はい。日本原燃一条でございます。はい。まずは、スタートは負圧の維持に影響を及ぼすような境界になるものってのがどんだけあるかと。
0:44:35	いうことを抽出していると。まず 1 シャッター、通常閉じてるやつは、こういった状態で構成されている、いわゆる閉じ込めの境界としてどうなんだろうということを設計として展開していたと。
0:44:48	というのが、状況です。なので、そこに対しては、当初はですね、側だけの設計を考えてればいいんじゃないかということで整理をしてましたが、サッカー、ああいった時との関係も含めて、

0:45:01	風圧との関係の整理をしないとねということになって、
0:45:06	去ったそのものの開閉の状況を説明するにはその機構を持っている設備をエントリーしておかないとの関係性も含めて、資料 3 側での展開ができないよねということで、今回、
0:45:19	機械装置搬送設備をおっしゃったそのものをもって設備としてエントリーをしたということでございます。
0:45:25	はい、それでは、わかりました。で、おっしゃった分かるんですが、弁を有する内装機器ってこれは、位置付けとしてはどういうものなん。
0:45:46	はい、日本イシダでございます対象が非常に限定されてます燃料 5 を動かすときに、燃料棒を通過するときに、開けて、また、通過したら閉じるみたいな、ボール弁みたいな形のものを対象に言ってます。それは
0:46:02	言ってみれば、開口がある時できてまた閉じるっていう、シャッターと同じような機構のものということでエントリーしました。はい規制庁アノちょっとそこはわからなかったですね。
0:46:13	はい。説明聞いてわかりました。
0:46:16	はい。ありがとうございます。
0:46:17	あと尾花設備で結構増えたんですが、
0:46:22	これ全部その者、
0:46:24	ターの関係で増えたものなんですか。
0:46:28	この 3 番の対象の
0:46:34	アライ日本エリアでございますもう一度、私も確認をしますが先ほど資料 1 で、次になって追加したものが、ここでエントリーされているものだと認識をしますアベアノ。
0:46:47	ちゃった関係のやつで追加をしたっていうこと、当初はグローブボックスであったり、
0:46:52	オープンポートボックスであったり焼却場みたいなグローブボックス同等の閉じ込め有責だと、いう側側側の部分だけをエントリーしましたが、その関係者との関係で、
0:47:04	青字の部分を追加をしたということでございます。はい、清島海です。そうおっしゃったの関係で、結局その搬送途中の、とおっしゃったとかそのグローブボックス間のシャッターだと思うんですが、
0:47:17	ここってその、
0:47:19	例えば賠償処理装置とかそういうのって、有無動いてないような気がするんですが、ちょっとその関係が少しわからなかったんですが、教えていただき、
0:47:41	いける。はい。与儀西原でございます。これはあれですね、設備のくくりの問題かもしれません

0:47:49	乾燥機構も持った状態の機器の名称として大きくりで機器名称になって ますので、その設備の大元の機能プラス、
0:47:59	物が動くという搬送の機能等その間にシャッターが入ってるみたいなも のを全部含んだ設備としてエントリーをさせていただいてます。はい。室 長補佐の説明聞いてわかりました。はい。私から以上です。
0:48:18	規制庁の荒井です。
0:48:21	229 ページ目の一番下の行。
0:48:26	青井で追加されている粉末容器の落下の話とかっていうのは、どのよう な経緯で反映されたのかっていうのを教えてください。
0:48:47	はい。はい。はい。宮城イシダでございます。
0:48:52	これもちょっとページ跨りで恐縮ですけど、
0:48:56	資料 3 を作り込みかつ補足説明資料の関係も含めて、添付書類側で 書くことと、補足説明側で展開することの手話Qもう一度、
0:49:09	定義をしていたと、簡単に言えば補足の内容も含めて、添付等補足で どう書き分けるかというところの整理をした結果として、青字の文章の変 更をしたということでございます。
0:49:22	先ほどのオープンポートボックス見て飽きてチャレンジオープンポートボ ックスの開口部を開けたところ、同じようなパターンです。はい。
0:49:31	ちょっとそこで、市なんか主従関係というか作業の流れの話で、今後の 補足説明資料の項目で確認すればいいと思ってたんですけど、
0:49:39	共通 12 で、ある程度そういう具体的な設計を見いだしてから、補足の ほうに落とすのかっていうのと、何か今回の作業だと、補足を別途作っ てて、
0:49:51	こっちに共通 12 の方にフィードバックさせてるのかっていうのがわから なかったんですけど。
0:49:58	実際どっちなんでしょうか。
0:50:07	はい。与儀ニシダでございます。今、
0:50:12	いろんなパターンがあります使いようがないんですけど、基本は資料 3 を作り込んでどんどん上流にまたさかのぼっているものがある。その中 には、
0:50:23	補足を同時に当然作って、個別の内容の展開をしようとしているものもあ りますんで、小部東北がリンクが張られるものは、それも一緒に作りな がら、それぞれの関係中性子
0:50:37	上流にさかのぼっていくということもやっているということで、パターンが いくつかあると思ってます。はい。
0:50:44	わかりました。

0:50:46	そうすると同時にやってるっていうのはこの共通十字の資料の作成のやり方のどっかに何か
0:50:57	あわせて補足も作成して反映するみたいなことって何かあるんですけど。
0:51:03	はい。日本原燃石田でございます 92 側では個別方策との関係も含めて、全体として設計をどう説明するか。
0:51:13	いうことを明確にしろということ。
0:51:17	をうたってますがこの辺の関係作業の関係みたいなものも、
0:51:24	明確化と言われるとあまり不安と書いてあるに近いので、そこもブラッシュアップをさせていただきます。はい。
0:51:32	はい。
0:51:33	聞いたらいいですわかりました。
0:51:35	以上です。
0:51:48	と規制庁カミデです。その他、十条、10 条の資料 2 は大丈夫ですかね。
0:52:01	と規制庁とニイツ今の補足の話が出てきましたけど、補足を紹介するのは資料 3 のところの方がいいんですけど。
0:52:09	はい、日本イシダでございます。はい。と思ってました。はい。個別ソフトの関係は資料 3 での具体の設計との関係でセット説明した方がいいかなと思ってました。
0:52:23	はい、規制庁間じゃ他十条側がなければ、
0:52:29	次は 14 条になりますか。他に条文じゃなくても説明しやすさの順番でいいと思いますけど。はい。ありがとうございます。こんな企業でもね。はい。
0:52:42	次に 135 ページからが 11 条になります。
0:52:48	14 年度は、できてないところを先に一括後の 236 ページの一番下です。
0:52:58	昨日の、昨日かな、一昨日か、ガイドのやりとりの中で、話題になっていた安全機能を有する施設の条文で第 1 回で
0:53:09	追加をさせていただいたというやりとりがあった安全機能を有する施設等、それに類技術ってどう同列並ぶPPとか、SDの設備、これは相互影響を考慮した設計とすると。
0:53:25	今、全般的な考慮事項と冒頭宣言だと言って切り飛ばして菅湖 0 からキックになって、
0:53:32	他の条文の設計との紐づけをしていって、ちゃんとこういう考慮事項というのを、具体的に展開してますという、絵姿にしないといけないと思ってまして、

0:53:44	この紐づけをどう整理するかっていうのが現状宿題だと思ってましてその整理を進めたいと思っています。はい。
0:53:52	あと十四条としてはメインはゴコウ画を持ってました後は、大小機器を取り書記の代表と代表以外の関係の整理は、
0:54:03	取り込めればいろいろ整理をさせていただいているものを、十四条にも、
0:54:09	内部発生飛散物ですかね、の関係で整理をしたのが 241、242 の関係です。
0:54:16	はい。
0:54:18	あとは、144 ページまでほかの関係なんかは関係の条文とか出てきますが、
0:54:27	244 ページの 3 番、金、こっから先の安全機能を有する施設個別の部分が特になくて安全機能を有する施設にぶら下げてる。
0:54:39	加工な仕様の設備に施設ごとに、基本的方針が並んでいるところになります。
0:54:45	この中で、例えば中に収納すると言ってるものをこれは配置設計としてエントリーをして示しますというようなことを、追加をしたと。
0:54:55	ということでございます。はい。
0:55:01	以上から、今後も、
0:55:03	第十条としては、説明以上になりますはい。
0:55:09	はい、規制庁カミデそれでは 14 条関係で規制庁側からお願いします。
0:55:16	規制庁の新井です。
0:55:18	最初にあったPPS時の相互影響の話っていうのが、キックになるっていうのが、
0:55:24	236 ページの一番下に記載されていて、これ、これを常時指導ブレークするのかっていうのは、まだ整理中ということだったんですけど、今の
0:55:36	想定ってどういうふうに整理しようとしてるのかっていうのを説明できますか。
0:55:54	ちょっと
0:55:56	はい、イノウエのイシハラでございます。この関係にいきますと、今考えてるのは、耐震関係での下位クラスの波及影響の関係であったりあと
0:56:10	安全機能を有する医師ですねメンテナンスてみたいなのがありますこれの算定であったり、
0:56:23	あとはコース工程との関係で、相互に阻害しないようにっていうのはどこに結びつけるかということが、考慮しなきゃいけないことだと思っています。

0:56:35	第3回まで来ると、電源とかいろんな他の設備がエントリーされてますんで、電源の確保とかいろんなものが関係するということで2階と3階に分けてそれぞれ、
0:56:45	必要なものを展開をしていくということで、1回では、展開する先の耐震とか安全機能についてのメンテナンスとかっていうのは、先ほど来書いた上で、土橋滝井とのリンクを図る。
0:56:58	第3回にも当然同じような展開がありますよということ、触れておくということが現状ここでやることかなと思ってました。はい。
0:57:10	規制庁の荒井です。それと、波及影響って第十条、なんでしたっけ。大臣クラス。
0:57:17	第五条六条耐震側です。はい耐震側に振るということですね。
0:57:25	保守性の方は10条の中で、保守方針は操作性の次が福家。
0:57:35	18番ですかね239ページ。
0:57:41	ここ。
0:57:47	ここに振って、必要な説明を展開していくと、ということかと思います。はい。
0:57:56	コサクです。はい。ごめんなさい、古作ですけど、今、
0:58:01	石原さん言われたのは、AppSGの気が安全影響を及ぼさないっていう観点のもので、それは確かにここじゃなくて他2条文があつてですね、それを、
0:58:17	満足していくようにPSG機器を設計すると。
0:58:21	ということではPPS時に限らないんですけど、先ほどもお話のあった、非主要設備以外のものっていう中に含まれると。
0:58:32	ということなので、ここではそこにそこでの要求を満足度にまずしてますっていうふうにひもづけをしてくれれば良いと。
0:58:39	ということだと思うんですけど。
0:58:44	ここでのポイントは、そちら側というよりは、安全機器なり生産工程機器がPPSGの要求、
0:58:56	を満足するように、或いは阻害しないようにと。
0:59:00	ということの配慮を明示しなきゃいけないと、そうすると、PTSDの要求って何っていうのを抽出するっていうところから始まるんだと思うんですけど。
0:59:12	そのあたりはどう進めていきや行かれますか。
0:59:19	はい、日本インダでございます。はい。おっしゃっていただいている通りです。以前お出しをした、PPS次後安全設計側とのコラボリンクとして、

0:59:30	何を考慮しなきゃいけないかっていうことの中には、おっしゃっていただいている通り、SG機器なんか機能が発揮するために、安全設計側の機器ってどう考えなきゃいけないのか、
0:59:43	何だっけな、ある種、
0:59:46	あれですかねクレープ例えばクレーンで持ち上げて兼任するっていう時に、センサーの検知できるスピードで、ちゃんと持ち上げる上下昇降なんかをしようみたいな要求があったらそれは、
0:59:58	どういうふうに拾っていくんだってところは、そうですねこの7番からキックして広げていかないと、多分紐づく先がないので、この7番の項目で何らか、そういったことの設計上の考慮というのを、
1:00:14	設計説明分類の設計項目を挙げて、資料3につなげていくということ。
1:00:22	その時には多分配置上の設定だったりリンクD、SGTとかPPPはどんなところについていて、その要求が何でっていう所、情報も上げて、リンクを図るということかと思しますので、
1:00:37	ちょっとその整理は進めさせていただいてまた別途ご説明できるようにします。はい。
1:00:47	はい。補足です。認識度、どういう形で入れていかなきゃいけないかは認識していただいたと思うので、
1:00:58	一色加工としてもこの資料は難しいですから整理をした上で必要な項目と、
1:01:04	いうのを、この
1:01:07	量でですね、あらわしていただくということだとは思いますが、で、それで十分なのかみたいなことワーまた遅食う
1:01:19	総合影響の配慮とかっていうようなことでの補足説明資料でも作っていただいでですね。
1:01:26	まとめてもらえればいいかなと思うんですけど、現状って何かそういう枠作ってたんでしたっけ。
1:01:32	はい。日本原燃志田でございます。以前ああいうそうですねここ紐付けなきゃいけないかもしれないウノ中だったかなっていうですか。その相互影響の関係の補足個別補足作っていたので、
1:01:45	それとのリンクでどういうことを整理しなきゃいけないかって上流側での整理というのも、
1:01:50	進めていければと思いますはい。
1:01:54	はい、わかりました。まず国家構想の補足で作り、そこで
1:02:00	個別、明確にしなきゃいけないことっていうのを表でも表していただいで資料3、4につなげていただくと。
1:02:09	ということでお願いします。

1:02:23	はい、日本ヨシダでございます承知いたしましたはい。
1:02:35	規制庁オカです。PPSGのほか、県として、内部発生飛散物のことをちよつと、
1:02:42	伺いたいんですがちよつと前から思っていたんですが、
1:02:46	19番、240ページから始まる場所、ここで内部は水産部通の勧誘としての要求を、まず、
1:02:56	第1、
1:02:57	1章ですね、書いていて、具体的な、
1:03:02	話は搬送設備の落下防止とか転倒防止等も、概ね同じ。
1:03:09	結果としては同じになると要求は違いますが結果として同じになるということで、そこで今回の第一グループが説明されるというところで、
1:03:20	あと回転機器なんかは、こちらの案いう条文の方で、
1:03:26	説明されるとかそういう整理を
1:03:29	今のところ聞いてはいるんですが、結局、どの条文で、何の設備を説明して出ない、内部は水産物の全体、
1:03:39	確認できましたとなるのかっていうその全体的な
1:03:45	整理っていうのは、どこかでわかるようになってますでしょうか。
1:04:08	はい、日本イシハラでございます。ちよつとそこわあ分をさせていただきます。おっしゃっていただいたように
1:04:18	19番内部発生飛散物に対する考慮という今一番新の冒頭宣言があつて、これを、
1:04:27	みんな、そのあとの冒頭宣言も含めて20、
1:04:32	3番は、
1:04:35	ですかね、23番に振っていてここで、詳細を説明しますと言いながらここではもうすでに、搬送との関係を考慮した切り分けになつちやるところもあるので、
1:04:49	例えばですけど240ページの一番右側に書いてある安全機能を有する施設、
1:04:56	呉の適合性という内部発生した物に対する設計って言うてる個別補足で展開しようとしている内容が、
1:05:07	を踏まえてこの20、19番のところ、大枠の考え方を変えてそれぞれ具体は下に飛ばすということにするか、ちよつと全体が、
1:05:19	を把握できるような形で定義を進めたいと思います。はい。
1:05:24	はい、規制庁課です。で、先ほど言ったその回転キーワこちらでカバーするっていうことなんですよ。ああいう条文でカバーするということなんですよ。

1:05:36	はい。はい。乳井ニシダでございます。はい。搬送とコラボできるってのが落下とか検討とか、そちらの話なので、そちらでカバーする範囲以外のものとしては会計機器が出てくると、そこはこちらでやりますよみたいな。で、
1:05:50	整理をしていると思ってました。はい。はい。それと話してあとちょっと次の搬送条文の話にもちょっとかかるんですが、
1:06:00	U、
1:06:01	Dは、搬送設備も対象にしないと、
1:06:07	何でしたっけ。
1:06:09	条文上、
1:06:11	人の安全に支障を及ぼす恐れがないものとして搬送設備は基本的に、核燃料物質を
1:06:18	コントロールするものということで落下防止等防止とかが図られるということで、
1:06:26	ただ、ウラン
1:06:29	重量物になる品、内部発生飛散物になると思うんですがそこはどこで説明しようとしています。
1:06:47	はい、日本イシハラでございます。今のご質問でいきますと
1:06:55	240 ページで、内部発生飛散物に対する考慮ということで、どこの条文も同じですけど、20、
1:07:05	どこだ、20 番で、防護対象の話を、
1:07:12	安全上重要な構築物系手引きを対象とすると書いていて、
1:07:17	あとそれ以外のものが 22 番ですかねまた書きでそれ以外、上記、
1:07:23	猟期施設のだからそれ以外だから 2、21 番に書いてある、上記に含まれない安全機能を有する施設だと言っているところ。
1:07:31	これを 21 番で展開をするときに、
1:07:37	ここの中に、ウランを使うものが多分対象になるんだろうなと思ってます。23 番に来るとあくまでアンリュウなので、ボックス関係を使うものが対象になる。
1:07:49	いう仕分けかと今思っていました。はい。
1:07:52	はい、規制庁カセアノ案いうの内部発生飛散物はグローブボックスの閉じ込め機能、
1:07:58	か考えると、閉じ込め機能を守るために、落下とか転倒しないようにということなので、
1:08:06	大体、
1:08:08	対策ではないような気がしたんですが、そこはいかがです。

1:08:16	愛銀の石田でございます。昨日も、他の案件で話が出て、整理をしますと言った約束したこの
1:08:26	対象防護対象が安重ですそれ以外のものに対しての健全性を維持するというための代替だったり、適切な期間での補修修理ということの整理というものは昨日の議論も踏まえて別途やった上で、
1:08:43	この安全機能についても同じように展開をされるものだと思ってまして、
1:08:48	一方安全記録の関係でこの対象物で考えなきゃいけないことってのが、全体の枠組みで共通的なもの以外に、
1:08:57	閉じ込めである、10年の閉じ込めによるバウンダリ体制影響を及ぼさないってところをしっかりと見ていかなきゃいけないということで、それを抽出して、展開をしたと。
1:09:07	ということで、その辺の考え方も、
1:09:10	共通的な展開をする部分と、徳田し他の安重機能との関係で整理をしなければいけないことっていうのを仕分けをして、見える化できればと思います。はい。
1:09:22	はい、規制庁から、まさしくそこが見えてないところでしたのでまず整理されるということで、その整理結果で確認したいと思います。
1:09:31	以上です。
1:09:33	規制庁コサクです。今言われてたところで、
1:09:39	よくわからないなと思ったのは、23番に全部振っているんですけど、
1:09:46	振ってないようなことを言われていて、
1:09:52	結局はどうする形になるんですか。
1:10:03	はい、日本原燃石田でございますはい。そういう意味で、私も今しゃべりながら整理がいいなと思ったのは、おっしゃっていただいている部分で
1:10:15	19番20番で防護対象に関係することで考えなきゃいけないことを、今23番に振りつつう。
1:10:24	非常勤含まれないものと言いながら安重以外のものを、21番から22番に振って展開をしていると。
1:10:33	それが本当に今22番に書いてある右側のものが、
1:10:38	この21番からの歯は生で見なきゃいけないことなのかどうかということも含めて整理をしないとイケないなと。
1:10:46	結局は23番で言ってることとあまり変わらないことを、21番で紐づけると、22番に紐づけると、どこで何をしゃべるのかがちょっと曖昧なまま、よくわからないセイリガクになってしまうなど。
1:10:58	いうところもあるので、ちょっとその整理を進めたいと思います。はい。
1:11:08	はい。補足です。昨日なり一昨日の議論を踏まえて

1:11:15	抜け漏れのないように、どこで説明するのが適切かということで整理を進めていかれるということと理解をしました。
1:11:28	加えてですね、
1:11:33	先ほど回転機器はこちらで整理しますというようなことを言われたんですけど、
1:11:38	そのと聞い
1:11:40	どう。
1:11:41	設計説明分類って何なのっていう、
1:11:46	ことで、そうするとグループ1に入らないんじゃないかっていう気もしちゃったりして、
1:11:55	どういう整理になるんだろうというのが腑に落ちなかったんですけど、どうなりますか。
1:12:13	ただ、
1:12:17	はい、与儀の石田でございますはい。
1:12:21	242 ページで、今、
1:12:27	そうですね、設計項目の考え方で会見機器の話をここで受けますよと言って、
1:12:34	代表、1 回装置搬送設備に振ってるんですけど、
1:12:40	ここそもそも会計基金っていうのがこの中に含まれるものとしているの かってことも含めて、改定に関することあった落下防止の他の。
1:12:52	考えなきゃいけないことっていうのが網羅的にここで展開できるかって いうところは、ちょっと整理をしないといけないですね。
1:12:59	換気設備に振って回転機器をやるっていう手もある。
1:13:05	それでも説明グループ1に入るんで、
1:13:08	いわゆる、
1:13:10	はい。ちょっと回転機器、他のものを、ここで言ってる。
1:13:16	重要物の落下後海底機器の損傷を損壊ですかね。
1:13:22	どうようなことを、もう全体がカバーできてるかつそれぞれ適切な代表や、かつ説明グループ1の中で関係するんだということがわかるように、整理をしたいと思います。はい。
1:13:35	はい。コサクですよろしくお願ひしますそうするとですね、これも先ほどのPPSGと一緒に、補足があって、一連こういうものがある、どれが厳しいのか。
1:13:49	そこ、それに対してこうですっていうことで、問題ありませんっていう説明、補足説明資料がつくんじゃないかなと思う。
1:13:58	んですけど今書いてなくて、
1:14:01	どうなってるんです。

1:14:17	はい、日本イシダでございます。はい。そういう意味でいくと、ニイヌマ 240 ページに書いてある。
1:14:25	結城ウノ片手落ちなので、そこも含めて、整理します。はい。
1:14:33	改定事項も含めて全体はイシイであったり、構造上の考慮というものが、結局は加害者の対処になりますけどそういったものが、何らか説明できるような、
1:14:46	個別補足を展開していきたいと思います。はい。これを含めますか。クラタ大井だよな。全体の災害発生した物の考慮っていうところを考えた個別補足ということで、
1:14:59	展開ができればと思いますはい。
1:15:04	はい。
1:15:04	補足です。添付書類で言い切れればいいのかもしいんですけど、本当かなって感じが。
1:15:11	しましたので、整理をしていただければと思います。つつ溶炉も何か参考になるのはあるんじゃないかな。
1:15:19	はい。ありがとうございます。はい。はい。ありがとうございます。あんまりいいのがなくてこうなってるんですけど、現状は、はいちょっと考えます。はい。
1:15:35	と規制庁カミデそこが、14 条関係はこんな感じですか。規制庁の藤原です。
1:15:42	もう今までの議論でも少し話が出てきてるとは思うんですけど昨日筒井とかのヒアリングとかで、
1:15:50	設計項目の抜け漏れがないようにみたいな話がありっていう中で、
1:15:55	こちらの適宜見直されてるっていうふうに理解していいんでしょうか。
1:16:01	はい、吉田でございます。はい。今、昨日話があった消去放流はなりきってないところありますけど、消去法もなかなか必要ないっていうことを導き出すために、かなりの能力を使うので、
1:16:15	どういうやり方がいいかはちょっと考えますが、例えば今、251 ページとかで、建屋に収納するみたいなものこれももとは、
1:16:23	そうだったんで、これ、
1:16:26	システム設計になった。違う。はい。はい。はい。
1:16:32	これももともとなかったんです。小令和も、もともとナカイデと追加したりということをやってます。あと
1:16:44	この後に出てくる条文で、若干そういうことをやって配慮してもらったんですけど、やり方失敗したっていうところもあります。はい。
1:16:53	院長の藤村です。わかりましたえっと、例えば気になったのは、239 ページの 18 番、試験検査性の確保のところって、基本設計方針の中に、

1:17:04	必要配置とか空間アクセス性みたいな話があるんですけど、設計項目、黄砂設計だけでは1設計なんかは必要ないだろうとか、
1:17:14	いうところもありますので、はい。他のヒアリングを横目に見ながら適宜見直していただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
1:17:29	はい。日本原燃志田でございます。はい。この後で出てくる資料3で書くときに、
1:17:36	ちょっと具体化した際にしっかりとその設計項目への展開として適切かどうかどうか確認をしていくということでフィードバックはかけられればと思います。現状は、変えていくと。
1:17:51	フィルターのメンテナンス性みたいのをやったときには、そのスペースも含めて構造設計で書いた方が一連の流れでかけるなと思って構造設計に全部押し込めているということですから
1:18:05	必要な設計項目が抜き出せているかという議題側の基本設計方針の要求と見比べたときに、
1:18:13	どこまで、必要なものが適切に抜き出しているか、項目としてどうかもピンで上げるべきじゃないかということも含めて、検討を進めたいと思います。はい。
1:18:30	古作です。今の構造設計だけじゃないんじゃないかみたいな感じがあって具体、
1:18:39	そうですね。
1:18:39	一般論として、機能なりも、
1:18:46	と検査性の関係から計測器をつけられるようにっていうのをシステム設計で説明しますっていうようなこともあったと思いますし、メンテナンスのスペースって意味では配置設計っていうことでもあると思いますんで、
1:19:02	と、
1:19:03	ここがどの範囲の何のために書いているのかっていうこともあるとは思いますが、
1:19:10	資料2だから、
1:19:16	資料、資料2はでも、あれ、
1:19:19	瀬、
1:19:20	グループ1に限らないんですよ。
1:19:24	はい、日本インダでございますはい。
1:19:29	資料、条文としては当然資料2に、今回グループに関係する部分として抜き出してますけど、縦軸は、グループ1云々関係なく、全体をピックアップしてますんで、説明グループに連携してるわけじゃない。
1:19:44	はい、はいそうです。そうするとやっぱりちょっと足りないんじゃないかなっていう気はしますので、整理を進めていただいと。

1:19:54	ということですかね。
1:19:56	はい。
1:19:58	はい、二本木西尾でございますはい。質問いたしましたはい。
1:20:02	全体のカバーということも含めてどこまでを対象にして提示するかということを加えて、
1:20:10	他の条文で不正みたいのを徳田して、
1:20:15	エントリーしてるものもあつたりするので、そういったものとの関係ということも含めて、FEを進めたいと思います。
1:20:23	はい。補足ですよろしく申し上げますそれで、
1:20:28	閉じ込めで話をした方がよかったのかこの後の関係の方が良いのかちょっとよくわかんないんですけど。
1:20:34	会合のときにもう、システム設計で押し込めてるやつ配置設計も必要なんじゃないかって話をしたりします。
1:20:44	そこは今、配慮されてる状態になってるんでしょうか。
1:20:51	北井西田でございます。改良はアノしてもらいました。ただ、先ほど失敗したっていうのは、私、準備して、
1:21:00	配置設計点取りして展開をしてシステム設計と配置設計、
1:21:08	ちゃんとチェックして出せよって話なんですけど、どうコラボして展開してくれてるのかなと思ったところが、若干、大枠の系統構成のところ、配置設計を持ち出して、
1:21:20	ここD配置設計単独で行ってしまっってシステム設計とのリンクがないみたいなの。
1:21:26	状態になってしまったので、そこはかなり検討は進めないといけないと思ってました。はい。
1:21:34	補足です。今の説明からすると、何らか書いたものの関連性を詳述を忘れていたというビッドだったり、入れる範囲が、はい。部分的だったりってということですか。そうですね。はい。
1:21:52	はい、わかりました。
1:21:54	そしたら、やることは理解されているようなので、また、だからですよ。資料2の中での細分化はちょっとこれからもうちょっとやります。
1:22:07	ですけど資料3の中では、
1:22:12	入ってて、それも、今の資料2の状態からすると記載が不足してる部分はあるんですけど、議論ができる状態にはなってるんですかね。はい。西田でございます。おっしゃっていただいている通りでございます。はい。
1:22:25	はい、わかりました。
1:22:34	はい、規制庁管理課ほか14町はよろしいですかね。

1:22:40	はい、では、次が 16 条の搬送設備ですか。お願いします。
1:22:47	はい。日本原燃石田でございますはい。搬送設備に関しては、179 ページですかね。
1:22:55	全体の搬送設備としての容量も含めた関係性っていうのを、補足で展開しないと、全体の流れが掴めないということも含めて、
1:23:08	個別補足をエントリーをするということ。
1:23:11	あと前年ヒアリングでやりとりをさせていただいた、3 番の項目はこれ
1:23:18	第 2 回の対象っていうのが非常に限定的な稼働機器なので、この要求事項との関係が、を示すものは対象ありませんということが今回は、
1:23:31	何を言ってるのかよくわかんない文章なんですけども、何を対象に今回用いて対象にしている、この基本設計方針等をリンクするものではありませんということを確認したということでございます。
1:23:44	あとこれも要求事項をもう 1 回見ながら、要求種別が適切かどうかということを確認をし、今は変更さんが 279 ページに書いてあると。
1:23:58	ということでございます。
1:24:00	はい。搬送としては、これもまだ
1:24:06	設計項目の考え方なりっていうのは、資料 3 とパンフレットでブラッシュアップが必要だとは思いますが現状の考え方としては整理をして書いているということでございます。はい。以上です。
1:24:20	はい。規制庁カミデです。16 条は運用は少ないみたいですけど規制庁側から確認ありますか。
1:24:28	規制庁岡です。ちょっと幾つか確認させていただきたい。
1:24:32	うん。
1:24:34	この資料で表現できているかわかんないんですが、一井のところ、以前から人の安全に著しい支障を及ぼす恐れがない。
1:24:45	ものとして、
1:24:46	劣化ウラン粉末と、あと分析資料とかも挙げられてましたが、
1:24:50	今回分析資料はもう、
1:24:52	見直したということですか。
1:25:02	はい、弓削西浦でございます。特段変えてないです。
1:25:08	添付書類における記載受けところだったりピンク処理の内容のところでも、なお人の安全について集約される恐れがない岩盤分析を取り扱う。
1:25:18	いや、対象外とするということは前から変えてませんので、特段変更してはいないです。
1:25:24	規制庁加賀です。そうですね。それを、基本設計方針にも書いてたと思うんですが、
1:25:31	基本設計方針の方からは、何かなくなって、

1:25:41	重要現象でございます。ちょっと確認します。国会、私もなかったのではない。事実を事実関係を確認します。はい。辻岡です。
1:25:52	分析資料。
1:25:56	おそらく少量だからということで、今省いていると思うんですが、
1:26:01	裏の方は劣化だからということで、
1:26:04	放射線障害的に割れ
1:26:07	からわかるんですが分析資料を省いた。
1:26:10	時に
1:26:12	じゃあどのぐらいの
1:26:14	重量どのぐらいの放射線量だったら、
1:26:16	発送数、
1:26:18	設備で扱うことにするのかっていう整理はついてますか。
1:26:44	今ほぼない場合、日本原燃車でございます。少量だということと基本、
1:26:51	第3の人が運ぶとか、そういった系統のものだったのでアノ徳田この中では、変わってないということです。はい。
1:27:01	あとこれもどういったものが対象であってっていうのを、何らか情報として、この後の搬送設備として扱うものとの差別化をどう考えたのかっていうのを情報として、
1:27:14	エントリーしないと絶対繋がらないかなと思いますんで、整理させていただきます。はい。はい。江藤オカです個別補足等での要領とか全部整理されているんですが、結局、
1:27:28	その重量物として扱われるものは何キロからなのかとかですね。
1:27:33	そういう搬送設備で扱うための基準みたいなものが、もう少し明確になってないとさ、先ほどの分析し資料みたいな話が出てくるんだろうなと、劣化ウラン。
1:27:46	のような話も出てくるんだろうなと思うので、そういうところを少ししっかり整理した上で、こういうものは使いますが使いませんを補足なり何なりでちゃんと示して、
1:27:57	もらえたらと思いますので、そこはよろしくお願いします。
1:28:03	はい。日本原燃石田でございますはい、承知いたしました。はい規制庁オカです。あと、会合のときに搬送等、貯蔵の直前まで、
1:28:14	ちゃんと搬送のところで見ますとかそういう
1:28:18	ことを説明いただいてそういう配慮を
1:28:22	変えていきますというふうにしたのが、ナンバーツーの
1:28:26	設計項目の考え方の取り合いを含むとかそういうところなんでしょうか。

1:28:37	はい、日本イシダでございますはい。この後午後になると思いますけど資料 3 の②で構造の説明も取り合い部分を入れた上で、
1:28:47	それを 279 ページの 2 番のところで、ラックピット棚との取り合いを含むということでこの中で展開をしますよということを明示させていただきました。はい。はい。最初の解説で、
1:29:01	工事会との関係とか、あとの説明グループとの関係は、ここ、こっちはここまでですというふうにやりますけど、
1:29:12	その飛ばされ先、
1:29:15	の配慮っていうのは何かされてます。
1:29:19	ここまではやりましたよって、もう他のところでっていうようなところ。
1:29:34	はい。乳井の石田でございます。おっしゃっていただいたように例えば今回の説明グループの中で説明しきるものと、
1:29:46	どこかの境界で他の説明グループだったり設計説明分類に飛ばすというものがあればそのリンケージであったり境界をそれぞれ明確にして、
1:29:57	鳥羽須川飛ばされる側でそれぞれ認識をして定義をすることだと認識してます。
1:30:04	現状その整理がちゃんとできてるかってのはもう一度全部全体チェックをしますし、後からでも 279 ページの 2 番は、機械装置搬送設備側に全部押し込んで説明をするということを前提に今、
1:30:17	小橋も含めて書いてないというのが今前提でございます。そこは、全体通してそういう関係性をどうを示していくかは整理をしていきたいと。
1:30:26	規制庁かですわかりました。
1:30:29	はい。とりあえず搬送私から以上です。
1:30:39	はい。木瀬。どうぞ。規制庁新居です。内容の確認なんですけども、
1:30:45	イトウ、
1:30:48	この搬送設備の必要な容量というところを考えたときに、
1:30:54	重量っていうところで、説明が非常になされてるんですけども、例えばボリュームとか個数とかの考えで、
1:31:04	容量というところを、を満足させるっていう考え方とあってのはなかったんですけど。
1:31:17	はい。峯瀬谷でございます
1:31:22	ちょっと荒井さんが気にされてるポイントが 100%かめてるような気も私見てないんですけど。
1:31:28	基本ここバッチで物が動いていくので、その時に感想として、抱えて移動するものっていうのはある単位で決まっていると。
1:31:40	ということでそれが例えばですけど、

1:31:43	ペレットをあると礼儀の設定トレイを何個か同時に運びますという、その単位が一つの重量としての単位になると。
1:31:52	ということなので、そこを今考えて必要な容量ができるか、確保できるかということ、あと落下防止とかになるとその単位で運ぶときのその形状を考えて、
1:32:04	落下しないように、構造を考えるとというような仕分けかと思ってましたが、
1:32:11	規制庁荒井です。まさに、ちょっとそういうところを聞きたくて最終的には重量に収れんするっていうところは、
1:32:19	あるのかなあと思っていたんですけども、何かそのバッチ単位っていうところが搬送設備だけだと、見えなかったので、
1:32:28	そういう考え方があるっていうのは理解しました。以上です。確認だけです。
1:32:33	コサクです。
1:32:36	今言われたことは、279 ページの一番、
1:32:43	基本設計方針だと、必要な容量である、搬送する容器等の重さ以上求まっています、
1:32:53	後半部分の説明を一生懸命されてるっていうことで入口のその必要な容量、
1:32:59	である、搬送する容器っていうところの説明。
1:33:03	が不十分。
1:33:05	なのではないかっていうことのような気もするんですけど。
1:33:08	石原さん言われるバッチっていうのもそのバッチって何なの。
1:33:12	ということだと思んですけど、その辺りってどうなってますか。
1:33:19	はい。日本原燃石田でございますこれ一もあれですね、安全設計側の要求と生産上の要求のコラボのところかと思しますので、
1:33:30	生産要求上、この工程それぞれの工程の中での搬送するものっていうのは、こういう単位でこういうバッチで扱うんだよと。
1:33:41	いう前提の情報があって、それを受けて、重量に、
1:33:46	着目して、その容量以上あることという説明につなげるということかと思えますだからその意味で前段の情報が今全くなくて、運ぶものはこうなんです。
1:33:58	容量重量はこうなんです、じゃそれ以上の余裕があればいいでしょうみたいな、説明になっちゃってる所を前段部分をちゃんと付加していくということかと思えます。
1:34:09	はい。補足ですよろしく申し上げます。
1:34:16	はい、規制庁カミデですとかほか、

1:34:19	搬送設備はよろしいですかね。
1:34:24	はい。
1:34:25	なければ、次が 17 条の貯蔵施設ですか。お願いします。
1:34:31	はい。日本イシダでございます貯蔵の方は、
1:34:39	前回の審査会合でも移したラックピットの崩壊熱除去の関係の、
1:34:45	個別補足を足さないといけないかなと思って、エントリーはしましたが、個別報告は負けてないだけでないのでこれ審議役さんに準備をして、
1:34:56	提出をさせていただきたいと思います。
1:34:59	線表上はどういったことで、崩壊熱除去に対しての考慮しているかっていうことが構造設計等で説明をしますし、それが実際それで確かに崩壊熱除去ができるんだということを、個別補足の中で展開をして説明をさせていただくと。
1:35:16	ということで、全体の整理ができればなというふうに思っているところでございました。
1:35:21	はい。ちょうどこの直近では以上です。
1:35:26	はい。規制庁神です。それでは貯蔵で何か確認することがあれば、規制庁ばお願いします。
1:35:33	木曾医長からです。ちょっと今説明あったところちょっとここだけ読んでても分かんなかったので、
1:35:40	286 ページ目の追加された補足説明資料ということなんですが、これで、
1:35:46	ちゃんと崩壊熱つつうのは、10 できるように空気が流れてるっていうことを、
1:35:53	評価で示すとかそういうことじゃないんですか、どうやって示そうとしてるのかっていうのをちょっと教えていただけますか。
1:36:09	はい。日本ヨシダでございます。基本は流路をどういうふうに確保しているかということの、今回、資料 3 の②でも、
1:36:21	隙間をあけている部分、こういうふうに空気の流量が確保できますという部分も舞台を示してますが、そのさらに寸法的なものを、10 日の風の Tall
1:36:34	通路をどういうふうに確保しているかっていう具体的話を個別をそこで展開をさせていただくとともに、
1:36:41	それで確かに空気で、冷えるよねということを念のための評価として
1:36:50	資料 3 の構造設計の補足として、
1:36:56	評価を展開評価結果で解析結果を展開させていただこうかなと思ってました。はい。あいつちゃうわけです。そういう考え方だけじゃなくてそういう妥当性確認されたようなものもついてくる。

1:37:10	ということで、それであれば補足で
1:37:13	確認でね。
1:37:15	共通 12 の体系で、
1:37:18	もし示すってことになっても結局そういうものがついてくるということですか。
1:37:24	はい。乳井西田でございます共通イデ資料 4 例の展開が必要だとなった場合は同じようなことだと思っておりますが、はい。はい、規制庁SDそれぞれが今回補足というふうに整理されたのは、
1:37:39	資料 4 ほどじゃないって何か判断基準があったんですよ。これニシダでございます。まずは構造なり、吸排気の位置関係だったり、空気の流量を確保するという寸法的な担保で、
1:37:58	設計もどのみちそういう構造設計だったりの隙間の確保みたいので確かにこれだったら空気流れるよね。概念的にはこれだったら一定程度冷えるよねっていうところを押さえた上で、
1:38:10	最終的な確認としてひゅ解析を回すということだと思っておりますので、その関係で、同じように、今回設計との関係を整理させていただいたということでございます。
1:38:22	あと基本、下から入れて上から出すみたいなものもありますし、排風機、排風機創建つきをわざわざつけてるものもありますし、
1:38:33	そういったものを例外考慮しているものがあったりあとは運営上、吸排気の配置になっていろいろなパターンがいつ、本当に気をつけなきゃいけないっていうのが運営に吸排気がついてるところぐらいかな。
1:38:46	それ以外は基本的に必要な考慮がされた構造設計になっていると思っておりますので、そういったことも含めて、設計の念のための行為、
1:38:56	意味で、資料 4 まで持っていく必要はないかなと思ってたところでした。はい。
1:39:00	はい。すいません。どうぞ。下コサクです。
1:39:04	資料 4 云々以前に、添付書類、
1:39:07	D、
1:39:09	除熱計算してないってことですか。
1:39:22	はい。はい。日本ニシダでございます内田つけいつでしたっけ。
1:39:29	を出している第 2 回の申請では今載せてません。はい。あくまで風量としてこんだだけ必要だよというところからスタートしているのが現状でございます。
1:39:45	廃棄物管理であれば除熱計算してますよね。
1:39:56	はい。
1:39:58	はい。日本原燃石田でございますはい。やっていますね。はい。

1:40:02	はい。コサクです。当然だと思っすけどあちらの場合はガラス固化体の中の温度とか被害者って別計算するんですけど、
1:40:12	MOX粉末なり何なりになるといらなくなるっていうところの仕分けの考えてどうなって、
1:40:30	はい、日本イシハラでございます。
1:40:35	これはあれですかね、閉じ込めと境界の担保との関係でのその崩壊熱除去の位置付け。
1:40:44	グレード。
1:40:45	かなあと思いますが、なくていいのかと言われてなくていいですと。
1:40:50	こうこうだからと今、整理できて、説明できるような状態じゃないのでちょっと整理をさせてください。はい。
1:40:58	はい、尾崎です。
1:41:02	自然循環とか
1:41:06	ピットある温度にしか上がりませんよみたいなことがもともとある。
1:41:12	領域であればそういうだけ言ってもらえればいいような気がしてて、補足で、本当だよなっていうところを確認させてもらってもいいと思うんですけど。
1:41:23	先ほど言われたような除熱での配慮をするようなものって本当にその配慮で有効なので、
1:41:31	いうことからする等、除熱計算上自然循環でコウで大丈夫なところをこういだけ流せば、もう十分でしょだったり、
1:41:41	何らかの必要なんじゃないのかなっていう気がしたんで少し整理をしてください。
1:41:49	石谷議員の石田でございます承知いたしました。
1:41:58	規制庁岡です。ちょっと今の議論、そそのものというか
1:42:05	崩壊熱量ってそれぞれの容器で当然違ってそのグレードがあって何かしら基準を設けて、ここからは補足説明ここまでちゃんと
1:42:17	添付で評価するので資料を読んでしっかり展開しますとか、そういうその説明性を持ってこう、
1:42:25	補足と。
1:42:26	資料4の切り分けをやって欲しいっていうのは先ほどのコメント。
1:42:30	でしたので、そういうところを少し整理いただければと思います。
1:42:34	はい。
1:42:45	はい、二本木の石田でございます。はい、承知しましたはい。整理をします。線引。
1:42:53	できるかな。

1:42:55	規制庁笠野出席できないのであれば全部評価していただくというのが、こちらとしては一番その確認が楽な状況にはなりますので、
1:43:04	はい。それはおっしゃる通りです。はい。
1:43:10	はい。教育しました。はい。
1:43:12	はい。規制庁岡です。あとちょっと搬送、貯蔵関係で、
1:43:18	結局後のグループで貯蔵の貯蔵の能力とか貯蔵の状況というのを確認していくんですが、
1:43:29	先ほどの搬送とかであった。
1:43:31	落下防止みたいな話っていうのは、耐震の波及的影響の方で多分、アノた耐震時、停止時なんで耐震時っていうところで大事な救急影響とかで、
1:43:42	整理されると思うんですがその認識で合ってますよ。
1:44:03	大川さん言われてる対象物ってラックベッドそのものの構造ではなくて、はい、規制庁カツラピットそのものが、多分波及影響だと思うんですけど、そこに保管されている。
1:44:15	容器がたいし、地震時に、
1:44:18	落下するとかそういうところの評価というのはどっかでや。
1:44:23	されるんでしょうかという、
1:44:25	質問でした。
1:44:29	ワークとまず確認させていただきます廃止した上で、どう、どうするか現状私の記憶ではない、入ってなかったと思います。はい。
1:44:40	それで、そこを含めて
1:44:44	必要性が必要なんでしょうね。そこも含めて考えますはい。
1:44:49	はい、規制庁他のおそらく。
1:44:51	どこかでは必要だと思いますので、そこは各確認いただければと思いますと。
1:44:57	廃棄関係私からは以上です。
1:45:07	はい、規制庁カミデです。他、当貯蔵がなければ、
1:45:13	次が 20 章の廃棄ですかね。これぐらいは午前中やってしまいませんか。はい。お願いします。
1:45:22	はい。野木西原でございます。はい。
1:45:25	フランスの方については灰塚廃棄の方については、
1:45:34	失敗したなあとと思ったところが正しくこっかな。
1:45:38	4 番のところで、青字で見づらいですけど、配置設計、書いてあるところがあります。これはもともとシステム設計になっていたところを早く設計にしたと。
1:45:51	ということなんですが、もともと、

1:45:55	各家に収納するっていうことを、
1:45:58	から発生をさせているんなことを資料3で展開をしてくれたんですけど、必要な要素としては、
1:46:06	入ってくるかなあというのは資料3の中で議論をさせていただければいいと思ってるんですけど。
1:46:12	系統設計もともと、それぞれの設備の系統設計をする上でシステム設計と対で、いろんなフィルターとかの配置であったり、こういうことを考慮しますということ
1:46:25	今回システム設計と、次では1スズキを展開してそれぞれに必要なことを天下向いていくと、示していくということ、
1:46:33	私的には期待をしてたんですけど、そうは実際になってなくてその内容が今、4番に今押し込められてるとか、今後、資料3はなってます。ちょっとやり方が、
1:46:45	乱暴かなっていうところと、見送りをとれてないなというところがあるので、今後そこは修正をしていきたいと思ってます。
1:46:54	いうことでございます。はい。
1:46:58	あとは、
1:47:03	終わりかな。
1:47:05	このぐらいで直したか。
1:47:09	あとは297ページかな。
1:47:13	これガイドであったりにも書いてました構造設計だけがもともとエントミみたいなものを、実際、
1:47:22	その構造設計で書いているような説明をするための前提になるような系統設計もあるよね。
1:47:30	というようなことで、展開をしていく、これは構造設計、システム設計、
1:47:35	何ぼぐらい。
1:47:38	これ上があるから下があると思ってこう書いて、
1:47:42	オカがわかったやり方でお書きください、構造設計システム設計はここだけテレコンだったり、
1:47:49	299ページもそうですけども全体の書き方、整理の仕方の理由は決めたいと思います。
1:47:57	あとは、302ページとかも同じですね30番、これも構造設計の前提になるような系統構成みたいなものがあるのであれば、海交流事項をシステム設計に変えていくということです。
1:48:09	はい。
1:48:15	授業としてははい。説明は以上です。はい。
1:48:23	はい、規制庁カミヤです。目下廃棄は、

1:48:26	すぐ終わるかなと思いつつ何かあれですが、はい、規制庁側からまた確認をお願いします。
1:48:33	はい。規制庁岡です。ちょっと失敗したなと言われ、
1:48:37	だというところで、説明項目資料さんからのフィードバックもあっていろ、
1:48:43	直すところもあるんだろうなと思うんですが、ちょっと確認なんですけど288 ページ目の、
1:48:49	ナンバーツーとか、結構、
1:48:51	今回主な設備基本方針で申請対象設備基本方針、
1:48:57	あらゆるところでなったんですがここの変更は何の関係なんですか。
1:49:16	皆川はい。ユニシアでございます。これはあれですね。はい。こちらのもともと作った時、水で、
1:49:24	同等制限宇和基本、以前から申し上げたように他に、具体のものを展開しているところがあるので、どちらかに、どちら側に設計方針上を預けていくということで、
1:49:35	主な設備ってのは、稲井基本方針みたいなもので展開するのが、00C を作ったときのベースだったんですけどその通りなり聞いてなかったところを、
1:49:46	今更ながらはい修正をさせていただいたということでございます。はい。
1:49:51	はい。それ超過石松ありました全部、冒頭説明のところ業務方針に変えたという変更ですね。はい。井上理事でございます。はい、おっしゃる通りでございます。はい。
1:50:02	はい。室長に関して、あと先ほどあったような構造設計とシステム設計で表現するものは基本的に、
1:50:12	今後も検討されるということですが
1:50:15	今回の資料の中では資料3とのリンクなんかは取れているんですよ。
1:50:21	例えば、299 ページの24 フィルタユニットの話、これ、
1:50:27	会合なんかでも言ったようなところで、フィルターの、
1:50:33	構造とシステムで表現できるところをこれからもじゃないか。
1:50:38	はい。システムが追加されたというところは、資料3とのリンクを取って、
1:50:45	今の共通12の体系の中では、それがちゃんと完結してるとそういうことでよろしいでしょうか。
1:50:52	はい。与儀ニシダでございます。はい。おっしゃっていただいた通りでございます。はい。たださっき検討するというのは、299 ページなんか見ると、23番は構造設計システム設計評価の順番であって、
1:51:04	次に来るところ、金どっかのところが構造設計とシステム設計だけとか、

1:51:10	いいのかどうか。
1:51:13	それでも資料はシステム。
1:51:15	いらしてくれない。はい。ちょっとその辺だけでした。私が言ったのははい、はい、わかりました。
1:51:25	とりあえず、
1:51:27	と。
1:51:29	直されるということもあるので、
1:51:33	政調会長、あとその駅範囲が少し変わってきたのが、
1:51:38	307 ページ目から、
1:51:40	液廃の変更これは何、何が変わったってことです。
1:51:59	はい、二本木西原でございます。どっか、
1:52:04	はい。
1:52:05	307 ページ。
1:52:09	まず 350、3305、305 ページの 37 番は先ほど廃棄するという意味の配置設計に変えた。
1:52:19	307 ページの 4、3940 中崎の冒頭宣言との関係で、審議をウタと。
1:52:28	ということで 309 も同じですね。はい。
1:52:33	ブレットどっか直した。
1:52:38	由良依子。
1:52:40	はい。ポッカグループ二つぐらいですね。はい。はい。はい。わかりました今回の修正はそう。そういうその基本方針に直した。
1:52:49	現状で、後ろの方も直っているっていうのと、あと、資料 3 で説明していく中でのフィードバックがあったということで、
1:52:59	資料 3 の方で、
1:53:01	はい、議員以上です。
1:53:10	規制庁の荒井ですけどちょっとクリアにしたいんですけど、297 ページ目で、20 番ですね。
1:53:19	市原さんの構造設計とシステム設計の順番がどうたらこうたらっていうのは、どういう意図なんでしたっけ。すいません。どうするかを考えますけど。
1:53:31	356 ページの資料 3 の調整を見ていただくと、
1:53:35	設計説明分類のシステム設計構造設計配置設計順番なんですよ、これ、もともとの調子が。
1:53:42	そのあとに出てくる、それぞれのやつのシステム設計から順番に始まるんです。39059 ページ見ていただいても、
1:53:52	システム設計グローボックスの人はないですけどこの順番で並んでると。

1:53:57	実際、資料 2 の段階ではここで並べてるのは構造設計してる設計、
1:54:04	佐伯設計かな。
1:54:06	この順番でゴトウが並んでいて、そこはちょっと合わないなと思っただけ です単純に、
1:54:13	わかりました西條の問題というところはわかって何かシステム設計が、 まず念頭にあるか構造設計基準に流れていとか、そういうお決まりを 作るのかなと思っただけですけどそういうことであれば、
1:54:25	はい。もともと先ほどの表紙でシステム設計が順番に並べているのは、 系統設計した上で個々の個別の設計内、配置設計がどこに入るか難し いんですけど、
1:54:37	最終的に配置をどうするかを決めるっていう、設計のコンセプトってこう じゃないかなと思ってこの順番に並べたんですけど、それとの関係で、 この表の形をどうするかっていうのを考えたいということ。
1:54:48	わかりました。
1:54:58	はい、規制庁上津他、
1:55:02	今 20 条関係ですかね。よろしいですか。
1:55:09	特になければ、午後もありますので、午前中はここまででコガ 23 条の 関係からという形で、
1:55:19	よろしいですかね。
1:55:21	日本原燃福士委員はい、大丈夫です。よろしくお願ひします。はい。
1:55:25	はい、規制庁カミデつで、CO2 が終わったタイミングで多分 1 回振り返 りをした方がいいと思うんで午後始まって少しして%だと思ひますけど 準備をしておいてください。
1:55:39	はい、二本木瀬谷でございます。はい、承知いたしました。
1:55:43	はい。規制庁馬場です。じゃあ、とりあえず、午前中のところで、ほかに なければ、一旦ここで終わって 1 時半、再開としたいと思ひます。それ では一旦どこに止めてください。
0:00:01	録音再開しました。
0:00:04	はい、規制庁コウニイツそれでは午前に引き続き、共通 12 の資料にで すね、次は、
0:00:14	20、
0:00:15	三条の換気設備だと思ひますけど、まず説明をお願いします。
0:00:21	はい、弓削西原でございます。はい。318 ページから、23 条換気設備で ございます。
0:00:29	こちら先ほどの冒頭宣言のところオギ野瀬基本方針に修正したという のが一番最後の項目でありますけど、
0:00:38	ここが修正したポイントぐらいです。ただ先ほどの、

0:00:45	換気のシステム設計、排気設備の側で 20 条であったシステム設計と配置設計の関係を正しくここでも同じように、
0:00:55	展開が必要な項目だと思ってまして、
0:01:00	めぐったから、
0:01:02	あった。
0:01:04	例えばですけど、329 ページ、これ
0:01:09	換気設備の構成をして、説明をしますここが今システム設計と構造設計が、
0:01:16	プラップエントリーされてますが、グローブボックスの排気系統になる換気設備ですね。
0:01:23	排気減るカーアノ 4 段構成ですけど最初の 2 段は可能な限り限定された区域に確認ベッショ閉じ込めるという観点で、
0:01:33	グローブボックスの直近グループの工程室の中に、議案の配布のフィルターをつけるといった配置上の考慮というのが出てくると思ってますし、
0:01:44	330 ページの 20 番、これをシステム設計で書いてますがこれ
0:01:50	グローブボックスの吸気側に高性能エアフィルタをつけるという話ですがこれも工程数案に漏えいしたときに、従事者への影響を与えないようにということで、
0:02:01	ウエキ側グローボックス直近休憩ところ 2 フロアのはい、フィルターをつけると。
0:02:07	ということで現状システム設計だけになってますが配置設計も含めてこの後で説明が必要な項目だと思ってます。
0:02:13	こういったところをさらに整理を進めていきたいと思っています。
0:02:19	ということでございます。はい。
0:02:23	合っています。
0:02:27	ですね。はい。感じとしては、説明以上になります。
0:02:33	はい。それでは規制庁側から、関係のところの確認があればお願いします。
0:02:39	規制庁の荒井です。
0:02:41	一番最後に説明のありました、330 ページの、
0:02:47	20 番ですね。
0:02:50	システム設計に加えて、配置設計も入れるという話だったんですが、この書き方で、基本設計方針にはグローブボックスの給気口ニワっていうのが、

0:03:03	あって、配置設計なのか、構造設計なのかっていうのがいまいわからなかったんですけども、配置設計になるっていう理解でいいんですけど。
0:03:17	はい。いわゆる、場所のアドレスを指定するという意味で給気口側にもaアビルウタをつけると、こういうことを、配置設計として説明しようかなと思ってました。
0:03:30	了解です。だから、昨日の説明だと、例えば主排気塔
0:03:38	水を流せる構造にするっていうところがあってあつちはシステムではなくて、構造で説明できるんですけどっていうのを何か違いがあるのかなと思ったんですけど、今回フィルターっていうのは、
0:03:49	まるっきり別物なので、配置設計とするっていう理解でいいんですか。
0:03:54	はい。日本イシダでございます。はい。昨日のやつは整理も進めていきますがおっしゃっていただいている整理だと思ってます。昨日アノシオヤイトウのところに水が排水できるような構造を、
0:04:07	を設けるということからすると構造設計、ただそこにある場所を指定してこういう場所に排水すれば
0:04:17	いけないといけないという情報があればその設計情報を配置設計と説明するのかなという
0:04:24	アドレスというか場所というかそういうことを指定する必要があるれば、そういうものが出てくるということで認識をしています。はい。
0:04:31	はい、わかりました。
0:04:33	もう1点は、
0:04:36	えっとですね、システム設計と評価がごっちゃになってるところはあり、
0:04:43	それはそれでいいですけど 325 ページ目ですね。
0:04:48	0にして 325 ページ目のナンバー12 番を例にして、
0:04:54	設計項目としてはシステム設計評価で、IT風量の妥当性を評価で確認しますというところなんですけども、
0:05:02	ここは多分設計項目の考え方の書き方のところが少し、
0:05:07	工夫というか必要なのかなと思っていて、例えばシステム設計の設計項目の考え方のところで、負圧維持に必要な排気風量を有していることを、システム設計にて説明するっていうのは多分ここで、
0:05:23	評価の内容がごっちゃになっていてですね。
0:05:26	システム設計で多分説明できない部分は多分評価ですっていう意味合いなのかなと思ってんですけども。
0:05:33	例えばここは系統として機能を有するものであるもので、システム設計ですっていう、言い切り型にした方がいいんじゃないのかなと思ったんですけどいかがですか。

0:05:49	はい、日本イシダでございますはい。おっしゃっていただいている通りだと思いますのでここでやってるのもあくまで
0:05:58	ライフ単品という系統として繋がっているものの繋がりを踏まえた上で必要な風量を確保すると、いうことを排風機と対象物が一対一ではないので、全体の繋がりも含めて、
0:06:13	系統的な考慮ということの説明したいという趣旨ですので、それと評価側でのやることがちゃんとそれぞれ明確になるように記載を整理していきたいと思います。はい。
0:06:25	はい。そういう意味だとこれは、す、この 325 ページ目の 12 番に限らず、前のページにも、そういう設定根拠を示すようなところについては
0:06:37	同じような記載ですので水平展開をお願いしたいと思います。
0:06:42	はい、宮城西原でございます。はい、承知いたしました。
0:06:47	すみません、古作です。今のシステム設計と評価の器差いいの。ちゃんと色をつけていくっていうのはそれでいいんですけど。
0:06:58	先ほどのフィルターも含めてなんですけど、それぞれの構造設計っていうのは、ここではひもづかず 2、別途になってますけど、どういう整理になってるんですか。
0:07:19	はい。与儀ニシダでございますはい。これ一ちょっと私もまだちゃんと整理をして紐付けを関係性を明確にしなきゃねっていうのは、作ってる人たちとも話をしました。20 条の換気設備で廃棄、
0:07:34	施設でいうことと、23 条の換気設備ということで結構
0:07:39	同じようなことを言ったり、それぞれ仕分けをしていたりということで錯綜する感じになってますので、それぞれの役割分担なりどこでどういうことを書くのか。
0:07:50	いうことの整理が必要だと思ってます。
0:07:54	メンテナンス性みたいなものも含めて、フィルターの能力だったり除去性能だったりっていうのが今廃棄せ、施設側の条文でエントリーをしているものだったかな。
0:08:05	いいんでね、負圧を維持するような系統構成を確保すると、いうようなことが換気設備側の 23 条で言ってる要求ということで、
0:08:15	それぞれの要求との関係で必要な設計項目を取りすると、ただこうやって、何ていうんでしょう、演技してしまうと関係してるのがわからなくなってしまうので、エントリーした上で、ここについては構造設計は、例えば 20 条で説明しますとかですね。
0:08:34	挙げた上で、紐づけをして飛ばし合いをするということも一つの考え方としてはあるのかなと思ってました。はい。
0:08:43	古作です。わかりましたそうしていただいた方が、

0:08:47	統一感を持った作業になるかなと思うんでよろしくお願ひします。
0:08:55	規制庁大岡です。今の話に関係してなんです、第1回の時に、
0:09:02	第1回じゃないかもしれないですけど、閉じ込め関連条文どこどこで、どの条文で何を説明するっていうのを整理したと思うんですが、そ、
0:09:13	一応、その考えに基づいて今はそういう分類がされているということでしょうか。はい。人間のイシダでございます。おっしゃっていただ
0:09:24	いてる通りで0資料の、
0:09:24	人口があったかな。もう費用の頭につけていたアノからのがあったと思いますけどそこで、閉じ込め、換気廃棄のそれぞれの役割分担を整理
0:09:37	をしたと。
0:09:37	いうところに、ベースで、これも同じように展開をしています。そこで仕分け
0:09:50	をして展開をしたんですが先ほど申し上げた通り、何か大分リンクする
0:09:50	ように展開をする必要があるかなと思ってたところでした。はい。室長わ
0:10:00	かりました。
0:10:00	先ほどファームの配置設計必要ということはそれはその通りなんです
0:10:12	が、あと、先ほどちょっと出た20条で説明しているメンテナンスに関し
0:10:12	て、メンテナンススペースを、
0:10:12	こうやって取りますみたいなので、
0:10:15	配置設計とかで表現しなくて大丈夫ですか。
0:10:24	はい、ウエルシアでございますはい。午前中のやりとりで必要だという
0:10:24	認識をしていますので、フィルターのメンテナンスというところに系統構成
0:10:35	の話であったり、
0:10:35	構造の話であったりしていますが、あわせてそういった補修ができるような
0:10:47	スペースを確保するという配置設計的なものもあわせて、展開をする
0:10:47	という必要があるという認識をしています。
0:10:47	はい。社長からですかありました。そ今言ったようなそういう全体像。
0:10:53	どこの所、どこでどう説明するっていうのをこれから整理されるということ
0:10:53	でしたがそれでどうやって表現、
0:10:59	していきますか。
0:11:07	はい。日本原燃石田でございます。はい。
0:11:13	そうですね00一別紙オオノ頭につけたような絵を、これの参考としてつ
0:11:13	けながら、リンケージを図っていくと。
0:11:23	いうことも考えなきゃいかんかなとこうやって文字に見せても、わかりづ
0:11:23	らいところっていうのをそうやってサポートしていくっていうツールも、

0:11:32	いるかなというふうには思ってます。ちょっとそこも含めて考えたいと思います。はい。ティザー話したようなPTSGとか、内部発生飛散物とかそういうその 14 条で、
0:11:44	多く書いた後、個別で具体化しているようなところも同じかと思ひましてそういうのを少し見える化しておく、今おっしゃったように
0:11:56	ここの共通 12 の中のどっかのページにそういうのがしっかり明記してあると、助かるなと思ひましたので、あわせて整理のほどよろしくお願ひします。
0:12:08	はい。与儀に、池谷でございます承知いたしました。
0:12:21	規制庁上出です。今のは、今までの話に含まれてたかもしれないんですけど、
0:12:29	フィルタユニットとかって、どういう構造ですっていう資料 3 みたいなところで、
0:12:36	今後出てくるんですかそれとも、グローブボックスで大体説明できちゃってますって話なのか、その辺どうなんですか。
0:12:47	これ、日本ヨシダでございます。フィルター自体の構造設計がIT関係。
0:13:01	329 ページ。
0:13:06	少々お待ちください。
0:13:16	規制庁数 566 あたりから、
0:13:19	あります。
0:13:23	はい資料 3 はおっしゃる通り、多分今のやつだと、資料 2 で見えるかなっていうところです。はい。
0:13:31	10。そうだね。50329 ページ 29。違う。
0:13:39	こっちじゃない。違う。
0:13:41	城さん。
0:13:43	別個に行ってもいいね。
0:13:46	取りがたいこと自体は、
0:13:55	やっぱりわかりづらいんだよ。
0:13:57	小橋マツオはどこで説明していくと。
0:14:06	20 番。
0:14:09	吸気フィルターを割って 20 番から 330。
0:14:13	あります。それで、設定で僕はシステム設計、
0:14:19	ビル、
0:14:24	見てきたんじゃない。
0:14:46	白井大宮でございます。とすると 297 ページ、とかでフィルターが出てくると、これ建屋換気なんで、グローブボックスは、
0:14:58	どこだ。

0:15:02	30 番。
0:15:05	それぞれここで、データとしての構造設計を説明することにはして ます。はい。
0:15:14	はい、規制庁川満わかりました。とりあえず資料 3 にいるのはわか ったので、耐震的になるところは明日確認的では、どの位ずつ、
0:15:28	そうですねちょっと気に見てて気になったのは、329 ページの 19 番とかだと、ダクトはそのフランジとか溶接で、取りつけることで
0:15:44	核燃料物質を拡散しない設計と言っていつつ、次のページの 330。
0:15:52	ぐらいになる等、ただフィルターを設置するからいいんだみたいな感 じで、記載の程度感が合っていないとか、あればいいっていうのとつ け方まで指定してあるっていうのが、
0:16:05	ちょっと並ばないかなと思ってんですけど、そのあたり何考えありま す。
0:16:15	一番は漏えいしがたい構造。
0:16:19	ね。
0:16:20	アビル漏えい防止、
0:16:23	いえ、井川の方はフィルターの中に、
0:16:29	与えない。
0:16:31	その話は、
0:16:35	岩根機能との関係の結局、関係性をそもそもどこでも説明してない から見てもわかんないけど、
0:16:45	だからそもそもフィルターの機能からしてどういうことを説明しな きゃいけない人、漏れなく抜き出してますかっていうところが、
0:16:52	そもそもちゃんと整理してくれできてないと、これで全部で、
0:16:58	はい、日本インダでございますはいちょっと全体通して通級機能と の関係で何をどう説明すべきかというところも含めて、整理を進め ます。はい。
0:17:09	はい。規制庁、神谷です。
0:17:12	中で話をしても、こうやってますけどどうやってきどこで機能担 保してるかが結局耐震の評価部位との関係とかもあって、
0:17:24	大事になってきますからまた確認できればと思います。はい。私 の方からは以上です。
0:17:33	オカ規制庁側から、23 条関係、いかがですか。
0:17:45	規制庁甲斐です。特になければ次ですけど
0:17:51	各条文の基本設計方針に対する紐づけ整理結果というのはそのあ とあって更新されてるようなんですけど、これですかね。
0:18:11	と、ページ番号で言うと 333 ページになりますけど、

0:18:25	はい、日本イシダでございますはい。まず、基本、前の方の上位クラスの波及した耐震やりますけど、
0:18:36	合同設計とかだけじゃなくて配置設計上の考慮ということも含めて、説明が必要だといったことを追加をしたということだったり、
0:18:47	339 ページとか先ほどあった燃料加工建屋に収納するといった配置設計の話。
0:18:54	342 ページとかもそうですね、配置設計はの考慮ということを足したものが幾つか入っているということですね。
0:19:02	あと資料 3 を作って、342 とかでシステム設計が追加になってるところは、構造設計だけじゃなくて、その前提になるシステム設計もあるよねというところで、追加をしたことをこちらにも、
0:19:14	反映をしたと、いうことでございます。はい。
0:19:22	はい、規制庁コウミツイ。
0:19:24	そうするとあんまりないかもしれないですけど、規制庁側から確認ありますと。
0:19:38	はい。規制庁神です。特になければ次、3 個やりますか、原燃いかがですか、参考 2-1-2。
0:19:48	はい。乳井ニシダでございます参考 2-1 は、今後の資料 4 との関係も含めて、評価の項目だったり関連図添付書類というのを今一度精査をしたと。
0:20:01	ということですかね。あとは代表の方は資料 4 まで飛んでこないとなかなか経理が難しいですけど、現状考え累計をして、
0:20:11	整理をしていると。これもどっちみち資料 4 の展開をして、またここにフィードバックがかかるということで必要なことはあると思ってます。
0:20:21	はい。あと参考 2-2 は個別補足の一覧表でございまして、これは
0:20:26	連帯の補足として第 2 回、データからいくと、
0:20:31	今までの資料 2、2、3 の関係で個別補足を足したもののフィードバックであったり、あと 00 資料の別紙 5 で第 2 回の申請対象だと。
0:20:45	言った補足をピックアップして、
0:20:47	今言う 1 だっただけの 1 だっただけいいんだっただけということに関係する補足かという分類を示したと、いうことでございます。
0:21:05	はい、規制庁深見です。耐震絡みとかは下少し話を聞こうとは思ってましたが、他、
0:21:14	これまでのところで規制庁側から何かありますか。
0:21:25	規制庁コサクですけど、
0:21:27	これ、午前中ヒアリングでも、補足が足りん記載が足りないというようなことはありましたけど、

0:21:35	この作業ってどうやられていて、議論としてどう進めていけばいいんだと。
0:21:42	いうところがまだよくわからないんですけど。
0:21:46	補足として十分なものをつけてくださいねっていうのはこれまでも話をしてて、どういう。
0:21:51	対応状況でしょうか。
0:22:01	はい、日本イシダでございます。まずおっしゃっていただいているベースって資料 23 を、特にさんの見解をしながら、
0:22:10	補足説明資料として漏れなくエントリーできてるバック
0:22:16	作業をやりながら、追加があればこちらにも反映をしていくというやりとりだと思ってまして、現状まだ資料 3 での議論での必要な補足説明資料と、
0:22:28	いうのの整理が抜けがまだあるものでこの作業を進めながら、戸別所得セキネ指定へのフィードバックをしていく。
0:22:38	活動の内容を見どうするかというのを検討しながら資料 2 であったり、
0:22:43	の記載内容にフィードバックをかけていくということだと思ってまして現状まだ
0:22:50	一声したところでの、必要な個別補足の抜き出しというところまでできてますがまだ資料 3 の、
0:22:57	内容の、何て言うかと、充足性というか、これで十分かという整理を進めながら個別補足としてのエントリーをするものが本当にほかにないのかというチェックをさらに、
0:23:09	次のステップでしていかないといけないというふうには思っています。
0:23:16	はい。がコサクです。
0:23:20	どうなんですかね。
0:23:24	と資料 2 のところ記載が漏れてたみたいなお話っていうのは、00 資料の中で補足を作ることにしてて、
0:23:35	それとの関連がうまくつなげつけられていないっていうことだと思いますけど。
0:23:42	それで言うと
0:23:46	先ほどの説明で、00 で作ることにした補足を見ながら、関連するものをピックアップしましたというところの、
0:23:56	が適切かどうかっていうのも話をした方がいいと思うんですけど。
0:24:01	どうやっていきますかね。
0:24:09	はい。ちょっとそこはすみません考えます。IV、5、
0:24:15	別紙 3 も絡めながら、BCには基本、今の資料 2 と同じようなベースなので、そこも含めてどうやって、

0:24:25	充足性なりも含めて確認をしていくかということだと思うのでどの資料を使ってどうやってやれば、
0:24:34	これで十分だよね、抜けないよねっていうことが確認できるかやり方も含めて
0:24:41	検討させてください。
0:24:45	はい。補足です。
0:24:47	先ほども確認したように資料にはグループパーことではなく、
0:24:52	今回分一式ということであって、
0:24:55	さらに言えば、00 なりでわああ、
0:25:00	分割申請のそれぞれも含めて、
0:25:05	整理をして、今回はどこかというところの話もされてますから、
0:25:12	その点で
0:25:16	説明をこの部分でもできるんじゃないかなあとは思ひ、
0:25:21	ます。特に
0:25:24	資料番号で歯抜けになっているところろは、
0:25:28	耐震はちょっと物量が多いので、
0:25:32	別途考えた方がいいような気がしますけど。
0:25:35	他のものは、
0:25:37	もうそのまま上げてしまってこれはこの会でのなりこの後、
0:25:42	今回でもグループ4で説明しますよみたいになってるものもありますけど、
0:25:50	今回じゃありませんよってのがわかればいいとは思いつつ、案いうの04から06とか08っていうのは、
0:25:58	ここに書いていないってことは、第2回申請の対象外で、第1回で終わってるものとかってそういうことなんですか。
0:26:13	はい。日本原燃石田でございます。はい。
0:26:17	はい項目が抜けているものが欄だったのかを思い出すとちょっと時間がイトウなんで。はい。
0:26:24	全体を示した上での話は多分、おっしゃる通り別紙を使ってやるっていうのが一番、
0:26:30	はい。なぜそれが第2回の対象になってないのかっていうのもそれでいいのかっていう議論もできると思うので、それを準備した上で、のヒアリングの場に提示をさせていただいて議論をさせていただくということかと思ひますはい。
0:26:47	規制庁コサクです。わかりました。その種そうしましたらそちらで今回の範囲が明確になって、
0:26:55	それを踏まえてその中で

0:26:59	今回の申請のグループいつに説明するのかなぜならばっていうのをここで見ていくと。
0:27:04	いう形で体系を理解しました。
0:27:09	はい、宮城西田でございます。はい。そういう形でやらしていただければと思います。はい。
0:27:22	はい。規制庁加地です。どうぞ。
0:27:24	参考周りで確認がありますか。
0:27:33	特になければ、途中資料に沿って一通りだと思っんで、一旦振り返りたいなと思いますけど。
0:27:42	原燃準備できてます。
0:27:52	はい。できてますので、
0:28:01	続けてやりますか。はい。
0:28:04	午後、午後パートはさらっとでも仕方ないからって勘定する作ると、午前のメインに、午後のもうほとんど保管されてるような気はしますけど。はい。
0:28:14	はい。日本原燃志田でございます。はい。まず、
0:28:22	全体の中に、先ほどすみません、規制庁の飯塚が免許イワサキは、もうやんない感じですか。
0:28:30	ものはあるんですかねちょっと待ってください。
0:28:44	6ヶ所フォルダーの場所わかって、画面イメージでき、
0:28:49	はい、六ヶ所事務局で紹介フォルダの場所わかりますし、調整中のやつでよろしいですか。
0:28:55	大丈夫です。
0:29:13	はい。はい、ありがとうございます。画面に今共有ができていますと思いますが、
0:29:19	文言とかちゃんと直して、最終的にします
0:29:25	本間のところは、ガイドの関係ですね、の整理ということをして6日の日に提出させていただきますといったものを後は、他の説明グループとこの再処理の案件との関係も含めて整理していくということです。
0:29:40	2ポツが、資料1関係なんですけどこれ幾つか細かいことを挙げてますが、まずは申請対象設備等あと施設共通基本設計方針展開をしたものの関係。
0:29:55	いうのを整理をしていくということが、大枠かなと。まずは、あとは、②番とかですね、最初の議論の中で出ている溢水等閉じ込めの、
0:30:08	不具合、施設内漏えい石化との関係の整理っていうのも同じように整理をしていくということ。

0:30:14	あとは③番で二重管の話、これもMOXの特有のものなのか再処理との関係で説明をしていく必要があるのかというのを整理をさせていただくと。
0:30:27	ということかと思ってます。よ、四、五、
0:30:32	とかは先ほどの冒頭に言ったもの、限界を上げていると思います。はい。
0:30:39	あとは、
0:30:42	⑦番ですねステイタスちょっと今回の対象にしてが入ってなかったので、現状まだ最初の検討の結果っていうのも反映できてない状況だということなので今後、
0:30:54	第1の再処理の整理を踏まえながら、MOXに向けてはかけていく。
0:30:59	ということで認識をします。
0:31:04	その次⑧番が、個別補足説明資料等、それぞれの設計項目の考え方なり書いてることの関係性と、
0:31:15	いうのを整理をしていく必要がある。これはここだけじゃなくて他も含めて全体のものだと思ってます。
0:31:23	⑨番、これ
0:31:27	四条のSDPとの機能等影響を考慮した設計、ここ全体としてやはりここで何を語るべきかということの整理をしないといけないと。
0:31:36	ということだと思ってますこれも個別補足との関係で、整理の仕方というのを展開していくと。
0:31:43	ということだと思ってます。
0:31:46	はい。
0:31:49	11番は、内規の話はそうですね言うと、搬送の関係これ先ほど飛び込み関係配置の関係でもありましたけど、全体の整理をした上でどこで何を語るのか。
0:32:03	ということがまず、運営、明確になった上で、個別の設計の展開をする、個別の設計でリンクがある場合はそれぞれ、鳥羽さん飛ばされるじゃないけど関係が、
0:32:14	わかるように資料2上も明確にしていくということかと認識してます。
0:32:19	下行ってもらえますか。
0:32:24	あれ、動かない。
0:32:32	12番は、搬送設備じゃないの問題。
0:32:43	それから、内部発生飛散物の対象の話防護対象とそれ以外の関係ですね、これも、
0:32:50	仕分けの仕方、運用整理をしていくと、ということかと思っています。
0:32:56	はい。

0:32:57	これも全体像をちゃんとわかるようにした上でこの設計に紐付けていくと、ということ。
0:33:03	13番も先ほど話トダテ会見機器を含めた全体の整理をした上でこの展開をしていくと、義務づけもしていくということかと認識しています。
0:33:14	14番、
0:33:17	それぞれの設計項目のテンパイ
0:33:22	今回システム設計が前提に合った構造設計だということも、整理をしましたが、
0:33:29	それとの関係性、書いたらいいけど本当に関係がうまくリンク取れているのかということも含めて整理していくということでシステム設計構造設計配置設計をそれぞれ、ちゃんと上げて説明をするっていうものと、
0:33:43	何ら何かのところに紛れて説明をしてしまってるものが今までこういったことを整理していくと。
0:33:49	ということだと思ってます。はい。
0:33:52	16条搬送設備は、
0:33:59	何だっけ。
0:34:01	これは一番悪いから17番ですね。
0:34:03	その安全に1相要請を、それが無いって言ってるものの、対象と対象にしないものの関係性。
0:34:10	というのを明確にした上で、それぞれ要領との関係を説明するもの、そうじゃないものってのがなぜここで線引されるのかっていうのは、整理をしていくと。
0:34:21	ということかと思えます。それが18番との関係でもうちょっと整理をしていく必要があると思えますが、
0:34:28	はい。
0:34:30	19番は、
0:34:35	そうですね返そうじゃ貯蔵ピットタナカ等、機械装置搬送設備の切り分けのところをどういうふうに表示していくかということ、
0:34:45	全体の整理、整理の中に反映していくということだと認識してます。
0:34:58	地
0:35:01	と、
0:35:08	次下いってもらいます。
0:35:11	6名。
0:35:14	十七条の調合施設は
0:35:18	はい。
0:35:19	空気の流量の話だけをしてますが、余熱計算による評価みたいのがあるのか要らないのかと。

0:35:26	ベースは多分いるんだろうなと思いながらその説明をどうするかしていきっていくと、ということ。あとは、すでに議論は、
0:35:34	ラック自体の耐震設計みたいなのは耐震としてくるのは、1回、あとは、貯蔵状態での構造体ですね、中の仕切りとか、そういったものも含めて容器が地震時に何かしないのかと。
0:35:50	言ったことの設計上の考慮みたいなのは、どこでどう説明するのか整理をする。
0:35:55	ということかと認識をしています。
0:35:57	はい。で、
0:36:00	要するに、
0:36:02	この後、違うのがあるんだっけ。
0:36:15	20条廃棄施設が、
0:36:21	配置設計として書いてあるものシステム設計との関係というのを、
0:36:27	あれ、
0:36:30	どこの基本設計方針から展開するのかということの整理が今ひとつできてないところをしっかりと整理をしていくということと、
0:36:38	構造設計システム設計のところの記載の順番も含めた記載ルールは定めていきたいと。はい。
0:36:45	23条換気設備ですが、システム設計と評価のところの相互の関係性の期待の仕方、
0:36:54	ですね、あとはここは特に関係はITも含めた全体の、
0:37:00	どこで何を説明するのかっていう全体像と、それぞれ紐づけをして、全体を示した上での紐づけですね。
0:37:11	この部分はこちらで説明しますこの部分はこっちで説明しますっていうのが、まずは資料2条でもわかるように次ということかと思っています。
0:37:19	あとは24番メンテナンスのところの廃棄設計、これはおっしゃる通り必要な要素だと思いますと展開をしています。
0:37:27	はい。
0:37:29	あとはだく等、
0:37:33	であったりフィルターであったり、必要な要求事項を達成するためにどういう構造にすればいいのかってのが抜け漏れなくちゃんと展開できているかということ、25番のところは整理をしていく必要があると思っています。
0:37:48	ということ。26番は最後に出た個別補足説明資料、これで十分足りてるか、今回の説明対象が本当にこれでいいのかということ、資料別紙5が見ながら、どの部分でどれを説明する。
0:38:03	っていうのも含めてその整理が適切かどうかの確認を

0:38:07	ヒアリングの場でさせていただくということかと思ってます。以上です。
0:38:16	はい。規制庁、五味です。衛藤。
0:38:19	いろいろ盛りだくさんですけど、規制庁側から何かありますか。
0:38:33	はい。規制庁加来です細かいところはいつも思惑イシカワさんの説明も含めて、としては大丈夫って感じですかね。
0:38:43	はい。
0:38:44	では続けて、共通 12 の今度また資料 3 ですけど、これはどういう区切りでやっていきましょうか、補足あるしって感じで。
0:38:57	ちょっと進め方なんですけど、
0:39:04	はい、日本イシハラでございます。そうですね。
0:39:11	設計説明分類ごとに、
0:39:15	やらせていただくのが区切りがいいのかなあとも思います。そういう意味で、グローブボックスの
0:39:25	イマダとシステムセンター構造設計と配置設計。
0:39:29	一区切り換気設備のシステム設計構造設計を再設計抜きで、
0:39:36	6mmという形で、あと機械装置搬送棚みたいな順番ではいかがでしょうか。
0:39:46	はい。規制庁、田口です。特に異論がなければ、
0:39:51	はい。そういった形でまずグローボックス関係ということで、説明をお願いします。
0:40:01	はい、日本イシハラでございます。はい。
0:40:04	グローボックスの関係ですと先ほど資料 1 の関係でもお話をした。
0:40:10	シャッター関係の事故名の要求事項案展開をしたという部分の拡充をしたというのが、した構造設計がですね、
0:40:24	該当ページで 362 ページを修正をしています。
0:40:31	あと資料 2 でまた 363 ページの開口具の制限、交通の制限であったり、
0:40:40	不動の開口高さの制限みたいなもの、これは
0:40:46	実際の設計の要素と、
0:40:52	紐づけて、具体的な工夫を見つめられるように、説明を追加修正をつけると。
0:41:00	いう部分でございます。はい。
0:41:05	へえ。
0:41:15	はい。
0:41:17	あとは 363 ページが容器落下の関係式止めとの関係で記載を拡充した。すいません。
0:41:26	いうポイントでございます。はい。

0:41:30	お子さんがちょっと要件。
0:41:33	担当とか結構何だ。
0:41:37	うん。
0:41:39	うん。
0:41:46	はい。そういった修正を、364 ページの受け皿んともそうですけど、そういった要素を設計上考慮する必要があるかと。
0:41:57	というようなことを図の拡充をした上で、資料 3-①側にも反映をしたということでございます。
0:42:07	あと②は、
0:42:27	よろしいのか。はい。
0:42:32	回収はしてない。
0:42:36	あと、393 ページが、個別、3 の②ですね。
0:42:45	の中でのシャッターの話、どういった時にシャッターをつけるのか。
0:42:50	ということ等、境界にあるそのシャッターに対してどういった機能を、
0:42:55	期待するのかというようなことを展開をしています。
0:42:59	はい。
0:43:00	あとは 393 ページみたいに関連するもので他に、その設定を鳥羽なのは、米を贈答委員会を示していると。
0:43:10	これもう、今、大枠で飛ばしてますけど、ちゃんと指導体制だってこれ以上、ある程度増えないということになった時点では、どの部分にそれを飛ばしてるのかがもうちょっとわかるようにすると。
0:43:23	お互いの関係性も明確になるのかなと思ってます。そういうところも人事ブラッシュアップは、
0:43:28	していきたいと思ってます。はい。
0:43:39	はい。先ほどの
0:43:43	外構部の話はもともと 421 ページとか 422 ページにあるような設計を資料 3 の②で展開したんですが資料 3 の①側の設計の
0:43:57	別名が今ひとつこことリンクしなかったので修正をしたというようなことでございます。
0:44:02	オープンポートボックスの方が 421 ページ、仕様表の備考で通常時に開口部として考慮すべき等々の開口個数というのを、
0:44:15	徹底をして、開口部の風速とのリンクを取っていくということ。
0:44:20	422 ページがフードですこれも、
0:44:24	フラフープとしての開口部の風速を達成するために、考えなきゃいけない使用時の開口部高さというのを使用表の注記で展開してますのでこれが、
0:44:37	資料 3-01 でも、何を言いたいかを明確になるように整理しました。

0:44:42	ということでございます。
0:44:44	はい。これが構造責任として、
0:44:54	設計の方については、
0:44:58	428 ページからです。これも、
0:45:02	グローブボックスをどういう場所に置くかということも含めた展開になってます。
0:45:10	どちらかという耐震部分での下位クラスの波及影響で排斥を足したというのが、今回の主な修正点、1 年、はい。
0:45:22	図の方はもともとついていたものから徳田変更はしておりませんで、
0:45:28	436 ページの地下階に一般の露出した状態でブロック長取扱等ボックスを廃棄しますとか、
0:45:37	439 ページの上に
0:45:41	グローブボックスの閉じ込めに影響するような重量物を取り扱うような、クレーンなんかはボックス外側近傍には起きませんよといったようなことを、もともと配置設定として考慮していると、ということでございます。
0:45:56	はい。グローボックスのチームの説明は以上です。
0:46:04	はい。規制庁管です。そうスリーましたら、資料で言うと 439 ページまでの範囲かと思えますけど、規制庁から確認あればお願いします。
0:46:20	木崎大河内 規制庁コサクですちょっと全体として、まず確認させて欲しいんですけど。
0:46:28	等、
0:46:31	目次、最初の目次d、システム設計が随時になっているんですけどこれ何をするつもりですか。いつ何をするつもりですか。
0:46:48	はい、吉原でございます。対象としているのは、そうですね。ちゃんと書かなきゃいけないですね、定期通勤ところで、グループ 1 の対象じゃないためって書いてますが対象はですね今、
0:46:59	グループ 3、
0:47:03	丹波、
0:47:04	臨界で耐専とか阿久津伊井との考慮みたいのが出てきますんでそこで、
0:47:11	システム設計、特に核的制限値を管理するためのシステム設計への中で展開しようと思ってました。
0:47:23	はい。古作です。今言われたところでまず
0:47:29	対 1 のところはⅡ、
0:47:32	であるかそれがなぜかって言うのでわかるようにしてもらわないと何か、
0:47:39	混乱するなあということなので

0:47:42	検討をお願いしたいのと、先ほど配置設計D、大体見れるんではあるんですけど、
0:47:51	グローボックスの肝って一つではなくて、複数、
0:47:58	2A、
0:48:00	セットになって
0:48:03	昨日、
0:48:04	生産上の機能を分割していってるということだと思うんですけど。
0:48:12	そういったシステム設計については説明しないんですかね。
0:48:20	はい、日本イシダでございます。おっしゃっていることは理解します。もともとのこの安全設計でやってる前提私もよく、MOX燃料加工施設ってどういうふうに作られてるのっていう時に、
0:48:34	貯蔵系の設備が一番ど真ん中に施工下みたいにあります、それを囲むように、粉末を取り扱うところから、人事、
0:48:44	ペレットリベートからアノ堀江ところまでっていう、そういう流れで作っているっていうと、彫像の大枠の骨を挟むようにして、ここの機能を分けて、
0:48:59	一つ運用ステップが進むように、構成しているという。
0:49:05	私も布田人に説明するようなことがまず前提としてあるので、それが全く今書いてないところは整理をした上でそれが前提であって、今の説明の展開に繋がっていくということかと思ってます。
0:49:22	はい。コサクです。で、今言われたいうことっていうと、昨日ー昨日の花Cで、資料2まででは十分出てこなくていったところになると思うので、
0:49:34	側溝を、
0:49:37	当資料3では少なくとも入れて、展開していくといったときに、資料3の段階だと思うシステム設計構造設計とかが分かれちゃうので、
0:49:49	どう入れるんだらうっていうのがわかりにくくなっちゃうんですけど。
0:49:55	それはあれですかね、必ずシステム設計構造設計配置設計っていうののページは作り、その冒頭で
0:50:07	プラスの要求事項っていうのを明示して、その上で、
0:50:11	展開してくっていう感じで入れられるようにするんですか。
0:50:15	はい。野木ニシダでございます。はいそういう形がいいかなと思いつながら実際どうやっているかを考えています。
0:50:23	実際例えば先ほどの背骨があって両脇にそれぞれのと入れて、それが一旦必ず貯蔵設備に入る形で、今流れていく。だから、

0:50:38	グローボックスの繋ぎみたいのが発生してそれが、多分今の閉じ込めとかで言う、伸縮継ぎ手じゃないですけど、であったりシャッターだったり、そういう構造を担保説明しないといけないことに繋がると。
0:50:53	いうふうにすれば、ある今のシステム設計構造設計配置設計のどこかの前段にその生産上の考慮みたいのが入ってきて、つなげていくっていうこともできるかなあとも思いますので、
0:51:06	ちょっとどうやるかは考えたいと思います。はい。
0:51:10	はい。よろしくお願いします。ということもありですねやっぱり機能としての説明というシステム設計って非常に最初として大事なんだと思うんですよね。
0:51:20	で、図示するという観点でわあ、許可の時にも、加工の方法とかがあってフローがあるわけで、
0:51:31	それに似た形でグローボックスが対応してるんだと思いますから、
0:51:38	何らかつくれるんじゃないかなと思います。で、その上でその登場人物が具体的にこういう配置をしますよっていうので配置設計につなげて、
0:51:47	ということかと思うので検討いただければと思いますそうするとですね先ほど来少し話あったんですけど、システム設計と配置設計が離れてるのって、見にくいんじゃないかなって。
0:52:01	思ってたですね、特にここは構造設計が非常に長いので、
0:52:06	余計なんですけど、どうですかね。
0:52:11	はい。与儀ニシダでございます。はい。先ほど新井さんというのを説明しましたけど、
0:52:20	普通の設計考える時どうするかなって考えると、の構造設計って、一番最後かな。
0:52:26	システム設計配置設計を考えて、ここの構造を考えていくってことが、ベースの施工なんでしょうね。そうすると、順番は、それ、それに応じたものでないと、説明を
0:52:40	それがもう1借り換えわけがわからなくなってくるし聞いている方もよくわからないってということで、設計の関連性という意味の、順番を考えて示していくと。
0:52:51	ということかと思えますちょっと検討します。はい。
0:52:55	はい。コサクですよろしくお願いします。実質上はその大枠でも、
0:53:02	概数とかですね、設定しないと配置設計もできないしってということなので、並行して進むんだとは思いますが、今言われたように関連性というところで、説明、
0:53:14	のしやすさ成宮吸わないと。
0:53:16	いうことで検討いただければと思います。

0:53:23	はい、乳井西田でございますおきました。
0:53:32	はい、規制庁かみずほカー全般的なところで規制庁側からありますか。
0:53:41	特になければ、
0:53:42	今の話の流れだと配置設計なのかもしれないですけど資料上は、交通設計から、ついてますんで、どちらかでも、中身について、あればお願いします。
0:53:56	規制庁の荒井です。
0:53:58	ちょっと
0:54:00	疑問っていうか確認したいと思った点としては最後の方に説明のあった。
0:54:06	420、
0:54:09	1ページぐらいですか。
0:54:12	421ですね。
0:54:15	オープンポートボックスの話で、
0:54:21	このちょっとそもそもの設備の目的とかっていうところは、わからなくてですね。
0:54:29	例えばオープンポートボックス、真ん中の四角の
0:54:32	緑枠の中に、ある一定以上の風速を維持するって書いてあって、その目的は何なんですかっていうのと、
0:54:40	あと、それを達成するために多分4個以上開けるのかなと思ってんですけども、一番下に書いてある閉じ込め02という補足説明資料の中でもその辺の根拠っていうのがなかったんで、
0:54:54	そこら辺はどこでお示するつもりになるのかなっていうのを伺いたいと思っていますがいかがですか。
0:55:16	はい。はい、日本インダでございます。ちょっと少々お待ちください。
0:55:33	今ちょっと確認しようとしてるのはもともと確かに技術基準の要求だったと思うんですがあとは、それも含めてファクトを確認しますってください。
0:55:51	でしょうか。
0:55:53	はい。乳井西平でございます。まず技術基準の要求自体は、閉じ込めの第十条の準防火な、
0:56:03	5号か、密封されていない核燃料物質を取り扱うフードはって始まってますけどこれをオープンポートボックスにも展開を適用しているということです。
0:56:14	その開口部の風速を適切にし得るものであること、これの風速自体は許可で、どういう値をするかっていうのが書いた上で、それを満足するような設計をしますと。
0:56:26	言ってることを実際展開をしているということです。

0:56:42	音声切れてます。
0:56:46	規制庁あれです。オン関さん。
0:56:51	補足説明資料の中では具体的に数字が出てくるわけですよね、0.5 メーター/secっていうのが、それで、許可の中でも、0.5 っていうのが制限されてて、
0:57:03	それを遵守すればいいだけっていうのを説明すればいいだけなんですって。
0:57:15	すみません私も新居さんのご質問を適切に把握できてないかもしれません
0:57:21	仕様表にも 0.5 をメーターパーセクという数字を書いてこれをおりますと宣言をしてます。唯一、オープンポートボックスって
0:57:33	何ていうんでしょう。
0:57:34	形状はグローブボックスと似たようなものをこの 421 ページあるんですけど、この丸開けてるものをこれを、
0:57:42	実際グローブボックスがグループがついていてそこへ手を突っ込んで採用する。
0:57:47	オオクボ. ウダこのポートを外して人が手を入れて作業するっていうのが前提になってますということは、ポートの数がどれだけ空くか風速っていうのが維持できるかどうかを確認しないとイケない。
0:58:02	ただ
0:58:03	運用上も、ここ全部の等々を開けて作業するわけじゃなくて、その作業が決まっていますその開口部を風速維持しなきゃいけないポートの数って、
0:58:14	こういうもんですよというのが前提があった上での、風速の 1 ということなので、仕様表にも、※3 で通常時のポートっていうのは何個開けますよという話を、
0:58:26	展開をしているということです。
0:58:30	規制庁、金井です仕組みはわかりました。すみませんまどろっこしくて要するに 0.5 を維持するために 4 ヶ所空けますって言うだけってことなんですかね。
0:58:41	4 階、4 ヶ所あけますじゃなくて 4 ヶ所しか行けませんということです。
0:58:46	はい、そうです。はい。作業を考えてもこの 4 ヶ所しか開けることはありません。これが一種の西縁ですね。
0:58:54	管理上のその上で、0.5 というのは甲斐コガアリタとしても守れますよということ、設計で展開をしているということです。
0:59:05	はい。
0:59:07	ちょっと一旦、はい。こちらでも確認します。

0:59:11	以上です。
0:59:12	コサクです。今の点だと、話を聞いてて理解はしているものの、
0:59:17	※3 はあくまで
0:59:20	この数字の計算条件が書いてあるだけのように見えて、制限してるように見えないんですけど。
0:59:27	それってどこでどう対応してるんでしたっけ。
0:59:40	単純に言うと基本設計方針で運用で制限するっていうことが書かれてましたっけっていうことと、その時にこの個数についてどう扱うんだというところで、
0:59:53	ですけど、はい、えっと 421 ページの真ん中に書いてある緑の枠小例が、有休として立てているものになります。これ確か、
1:00:03	施設共通の基本設計方針に展開をしているものだったと思いますけど、ポート数ポートの数は、
1:00:11	これを制限しないと、結局何をかな、管理するポイントここぐらいしかなくて、それを整理しないと、風速との関係も維持できないということで、提言として運用しようと思ってます。
1:00:23	その上で、
1:00:26	この後は保安規定も含めた運用の中昔ありましたね濃縮下、
1:00:34	フードで扱う核燃料物のご用がどっかに書いてあるんだけどセキュリティの管理上も全員がかけられてなくて運用がうまくできてなかったというようなことで、うちも、
1:00:45	年齢としても保安規定上の疑義があるということ実績を受けたことがありましたけど、MOXも同じようにそういうところ制限がかかるものは保安規定も含めた体系の中でか、制限をするということと、実際、
1:00:59	決得常務、そういう呉ゴトウ数の制限があるよというのを明示して、採用上もそれをしっかりと加重していくことの展開をしていく必要があると。
1:01:12	はい。補足です。なので
1:01:15	この 10 条 3⑧っていうのを、資料 2 の方へ掛ければ基本設計方針として宣言されてますよということだと思んですけど。
1:01:27	この言葉が一、必要な開放ポート数っていう言葉になってて、それって何だよっていうのが、あまり明確にんな記載になってないんじゃないかなっていうことなんです。
1:01:39	※3 の表現と違ってることなんですけど。
1:01:42	そのあたり何とかありませんかね。
1:01:50	はい、日本イシダでございます。はい。ちょっと記載の、
1:01:58	見直しを考えます。はい。

1:02:01	今あれですよ、通常運転時に再の作業に必要な開放方法と数以上のポートの開放っていうと、何か何個でもあげられるみたいな話になるので、ここで言って、4本なら4個以上開けない。風速を維持するために、
1:02:18	2の条件にあるポート数以上の開放をしないというのが、制限だと思うので、そういった形に、実際の運用でも迷いが無いよう間違えないように、
1:02:32	方針上の展開の仕方も適切に考えたいと思います。はい。
1:02:37	はい。補足です。基本4こって変わらないんであれば共通のものとして、ここの方針に変えてしまえばいいし、もし、
1:02:48	9、オープンポートボックスごとに違いを設けたいのであれば、この※3のところを制限数になるように、
1:02:57	方針との要望を合わせて、変えていくと。
1:03:00	ということだと思います。
1:03:02	確かあれですよ。両側から雨量でっていうことでの4でしかないんですよ。
1:03:09	人間のイシダでございます株は、オートポートボックスによって変わるので、ただそういう分類があったはずで、奥川日が出て、手前でしか開けない人は多分2個っていう人もいたはずなんです。なので、
1:03:24	そういうことも含めて整理をしていきたいと思います。はい。
1:03:28	わかりました。
1:03:30	よう遅いほうがいいのか。
1:03:32	はい。よろしくお願ひします
1:03:40	規制庁岡です。今の関連で閉じ込めゼロに行って説明するような内容だと思うんですが、初めの方で補足は。
1:03:50	資料3と一緒に説明するっておっしゃってましたが、どういうふうに進めるんですか。
1:03:58	すいません忘れてました。ごめんなさい。はい。そうですねこれでいくと、今の
1:04:06	グローブボックスのエイチームの布田です。
1:04:18	①にいるよね。
1:04:21	コイケ 21-16、60%。
1:04:30	421人飛ばれても困るんだよ俺は。
1:04:34	資料3の①或いは、
1:04:38	①でもあんだよ。
1:04:44	レポートⅢです。
1:04:51	君たちにも、

1:04:53	見えないじゃないかは、
1:04:55	駄目だ。
1:04:56	どこだっけ。
1:04:58	サイトウの大徳。
1:05:00	これ、
1:05:01	以下、
1:05:03	しました 363 ページですね、紙に、各オープン化後漏斗ボックスにおける開放等と数の制限について、
1:05:11	というのがあって、閉じ込め 02 に入りますよということで、展開をしています。
1:05:19	閉じ込め 02、10 月 10 日ですかね出したリビジョン 1 ということで、全体の
1:05:28	ポートポートボックス内の考え方を書いた上で、それぞれの今回の第 2 回の対象になっているオープンポートポストフードに対して、
1:05:40	外構の作業としてどういうことを考えているのか、それぞれ何個ポートを開ける具制限なのかと。
1:05:47	いうことを、整理をさせていただきました。
1:05:53	これ見ていただくと、その閉じ込め 02 の、
1:06:00	5、5 ページだと、4 号同時開放 21、4 項、
1:06:06	となっておりますし、これも、
1:06:09	これもちょっと作業の流れがわからないぞ、ただぼかしてないっていうことで止めても、本当ですかって何だ。
1:06:18	規制庁アノまさしくそこをこの資料で聞こうと思っていたところで、この資料で不足しているのってそういうところだと思い、
1:06:27	はい。人間ニシダでございます
1:06:32	これ技術担当だけあったよね。
1:06:38	自分使ったらいいじゃない。
1:06:43	追ってるね。
1:06:45	はい、日本イデシダでございます
1:06:48	3 ページ以降寄付空間供給装置を分母とすれば作業内容がどんなものであって、その作業として、何個上げる可能性があるかということを書いてますけど、実際この物の流れが、
1:07:03	どうなっていくか一応 5 ページで矢印で書いてありますが実際どんな作業かってのが具体的イメージできないと。
1:07:11	なぜここにポート挙げてを入れて採用する必要があるかもイメージが掴めないと思うのでちょっと工夫を考えたいと思います。はい。

1:07:20	実際、カガワ、13 ページとかでいくと最大にこうなりますし、他のところで最大 3 コウってところもあったりしますのでものによって、
1:07:31	開け場所をどこに人が立ってどういう作業をするかで開ける個数が変わってくるということだと認識をしています。そういうイメージが伝わるようにちょっとさえ考えたいと思います。
1:07:49	規制庁岡です。わかりました。先ほどおっしゃっていたリポートの時は片面からとかそういうことも、結局作業の、
1:07:58	当市作業との関係ということで、その辺もわかるようにしていただきたい。
1:08:05	と思います。
1:08:06	基本的に全部ポート数は変わってくる。
1:08:12	ので、先ほどの議論で、
1:08:14	何ページですか。
1:08:16	共通 12 の方は、※で振るところというのは、
1:08:21	ちょっと記載が変わってくるということなんです。
1:08:31	日本原燃志田でございます。し、共通要因というか仕様表上の表し方ってのがちゃんと作業との関係の制限になるように記載を、現状だと仕様表の※3 ですかね。
1:08:44	何かこの 0.5 は引き出すための前提のある種、一つみたいな書き方ですけどこれが先ほど差によってが開口部の風速を維持するための、
1:08:56	イトウキシノ制限であるということが趣旨として明確になるように、記載を展開していく必要があるというのが先ほどの議論だと思ってました。
1:09:07	はい。清長官、私は理解しました。
1:09:16	あと、規制庁は、関連してなんですが、共通 12 の 422 ページ目こちら
1:09:22	ポートボックスの
1:09:26	レポートがポートじゃなくてフード版ってこと、負フードです、言われる。
1:09:31	フードだと思うんですが、
1:09:33	こちらも同じように
1:09:36	開口部っていろいろあるんですかそれとも今回の分析だけなんですか。
1:09:52	はい。二本木理事長でございます。分析試料を使うフードとあとはこの 422 ページの上にあります。
1:10:01	作業環境の放射線管理用試料の放射能測定。
1:10:06	といったものを、
1:10:07	これは第 3 回ですかね、2、放管の設備として登場しますので今回あくまでこの上に書いてある一番最初のサンプリング資料と、

1:10:20	並びの後にある汚染の恐れのある物品の汚染計算を行うといったものが対象と確か出てくるというふうに思っていました。
1:10:30	部長会僕ありましたんで補足説明資料の閉じ込め 02 は、とりあえず今回分は全部出てきてはいるものの、次回でいうと、同じ作りのものが、
1:10:41	説明されるということで、今回共通 12 で説明で、その工事会で出てくるものも全部説明し、
1:10:53	ができていますとそういうことで、はい、吉田でございます。共通の考え方になる部分になりますので設計としての説明は、全体的にできていますと、はい。
1:11:07	はい。成長ハヤシわかりましたちょっと 422 ページ目が二つ図があって、
1:11:14	おそらく、
1:11:15	ヤシが、
1:11:17	関わった状態だと思うんですが、ただ、
1:11:22	内装部分の高さがちょっと違ってたりして、この辺って、
1:11:27	どういうふうに見ればいいんです。
1:11:46	はい。二本木の石田でございます。空間的なものとゴコウの問題があると思ってまして、照明から見た数がおっしゃる通り右側、横から見た図が左側、D、
1:11:59	まとめてありません。はい。はいコサクです。多分これ、横から見てというよりは断面図だと思って見た方がいいんでしょうか。中身と、はい。そこに窓でいうシャッターのグレーの部分をうまく、
1:12:12	使う樹脂できれば、言ってることは、通じるのかなと思いますけど。
1:12:18	はい。それとあとは、おっしゃる通りで断面なので矢代まず書いていただいて、シャッターをちゃんと書いていただくというのが、基本的なところかなと思います。
1:12:28	はい。心コサクです。それで言うと、これ床面合ってます。
1:12:40	床面っていうか、
1:12:42	フード内の、
1:12:44	そ側面っていうんですかね。
1:12:48	開口部に辛い合ってるんですか。
1:12:51	これだよ。上コウ乗り越えてちょっと。
1:12:56	でもおかしいんだとソーオーダー液体が漏れないように、床面があつてですね。はい。ちょっとそこも事実関係確認します。はい。
1:13:10	そうですね。
1:13:14	多分、入口手前から見れば使つて、ついてるけど、中を見れば中へ取り扱うから漏れたときに、

1:13:25	段差をつけて、ちょっとした分クボんでるようなイメージなんです。
1:13:30	内田のイメージはね。
1:13:31	はい。
1:13:32	であればそう書いて欲しいなど。はい。はい。すみませんでした。はい。技術確認してはい、田上の方は修正が必要で、
1:13:47	サイトウオオオカですと閉じ込め 02。
1:13:50	もう今の説明で終わりかと思うんですが閉じ込め 02、個別で何かコメントある方。山路。
1:13:57	すみませんコサクです。
1:13:59	個別の具体というわけでもないんですけど、補足を作る際のサポ的なことなんですけど、
1:14:07	先ほど説明いただいたところにざっと見たんですけどこれ個別具体を全部説明してる形になってて、
1:14:15	概要で書いてるのを見ても、先ほどは説明はし切れてますと言いながら、
1:14:23	第 2 回のことしか説明してません第 3 回は入れていきます今後っていうことでしかないような書きぶりになってて、
1:14:31	これまで言ってたお作法と違うような気がするんですけどどうなってるんですか。
1:14:39	はい、日本のイシハラでございます。ちょっとそこは整理をさせていただきます。おっしゃっていただいたように今までは、1 とその概要後そのあと 2、2 泊いきなり具体的には全体の設計方針を変えて、
1:14:56	この考え方は、今回の議会だけじゃなくてコウ次回も含めて同じ考え方で適用できますよという説明をして、その基本的な考え方を、具体的に展開すると。
1:15:09	今 2 ポツで書いてあるような内容になります。
1:15:12	ちゃんと例えば 3 ポツの内容は順次対象物を工事課イワタしていきますよみたいな話が今まで私が個別補足させてくれてた内容な。
1:15:24	ご記憶もありますのでそういうふうに直していきたいと思います。はい。
1:15:30	はい。私もそういうふうに認識してますのでよろしくお願いします。
1:15:37	成長課です。もし、この補足後よろしければ、ちょっといくつか確認させていただきたいんですが、グローボックスの構造設計部、
1:15:48	393 ページ目で今回追加されたところ、窒素の生産系の話を少し押さえに書いていただいたんですが、ここ、
1:16:00	シャッターのクドウはエアシリンダということはわかるんですが、
1:16:04	あとシャッターがコウ、それぞれのグローボックスに埋められていて、で、

1:16:09	内装機器、これ搬送系がその部分で1回、完全に切れてるっていうことよろしいです。
1:16:29	はい、日本イシダでございますはい。30293ページ、大大さというかレールが途中で切れてる絵がありますけど形状的にもこういう形で途中で、演技されてる感じになってます。
1:16:43	実際運用要件は通っていきますけど、この幅よりも、間隔があいてる幅よりも容器の大きさが大きいということでここで落ちたりということもないようにということで、設計上の配慮をしているということです。
1:16:56	はい。規制庁笠野そこが聞きたかったところでした。あと、シール材だけ書いてあるんですけど、
1:17:07	防火シャッター、以前から出していたいてる防火シャッターみたいなものだとバタつき防止とかあと、結構クドウ系が少し限ってあったり411ページです。
1:17:20	これってこのシール材だけで高気密を担当していてエアシリンダがこう上がったときに、どういうふうに
1:17:28	そのシール材の部分、
1:17:31	なるのかとか、ちょっとわかりづらいなと思ったんですが少し説明いただけますか。
1:17:52	はい。日本原燃石原でございます。今これ書いてんだっけ。
1:17:56	%クボホウジョウ。
1:17:58	はい。Q393ページの※で振った衛藤今中の構造は、機械装置搬送設備と言いながら多分具体の形はあまり展開できてないかもしれないのでそちらの拡充も含めて考えます。
1:18:12	実際は製剤自体を、外側というか、教えてくれば、意味でその境界を維持するということで考えてますがそういった構造も含めて、見える化できればと思います。
1:18:25	はい、規制庁フナツアノシール材のところを押し付けて上に上がる時は少し離れるとかそういう、
1:18:34	今日です。はい。社長。
1:18:41	規制庁コサクです。ちょっとお話しを両方とも、今の2点確認なんですけど。
1:18:48	まずレールの件は、スキーマわあ、
1:18:55	容器よりも短くするとかですね、そういう配慮をしていることは明確になってますか。
1:19:02	要はどっかに書いてますかっていうと、
1:19:05	はい。人間のイシダでございます。書いてませんので、自分で言って、と思いはいたします。はい。

1:19:13	はい。コサクですよろしく申し上げます。落下防止というのかどうかはあれですけど、設計上の配慮とかに書いてあった方がいい。
1:19:22	思いますのでよろしく申し上げます。次のシール材を押し付けっていう話は、
1:19:28	どう、
1:19:30	いう形での押し付けなのかということで、
1:19:37	機械的なのかなのか。
1:19:40	ていうのはどんな感じですか。
1:19:52	はい。日本インダでございます。それもどうもパターンがあるようなのでエアーシリンダーというものと、いわく、
1:20:00	道具、電源、電気、
1:20:02	電気の市民団体に押し付けるやつとあるようですので、そこも明確にしていければと思います。はい。
1:20:11	はい。補足です。わかりました。
1:20:16	最長オカです。その辺よろしく申し上げます。あと 399。
1:20:21	から、崩壊熱状況、人数が続いていて少し補足としていただいたんですが、
1:20:28	例えば 399 ページ目の下のDB正面図、これで、
1:20:33	上向きだから大丈夫ですというような話もあるんですが、
1:20:38	その間にあるピットの数とか、
1:20:42	そのピット当たりどのぐらい風量があるのかとかっていうのは崩壊熱に応じて変わってくるっていうそういう理解でよろしいですか。
1:21:00	はい。日本インダでございます。何ていうんでしょう、普通に考えてもそうですね
1:21:08	ユキコウだったりこの管どう配置を、何国庫に入れるとかか早い人の関係どうするか、あとしつたに行った時にどのぐらいの
1:21:20	これは意見だっけ。なんか下だよ。その甘辛ど、どのぐらいの数の穴をあけて風を出すかといったことは、貯蔵されてる量とか、
1:21:32	その辺も含めて、設計上は考える。
1:21:36	だろうなどは思います。はい。
1:21:38	はい規制庁カセ私もそう思うんで、設計上の配慮ところまで書くかこの共通 12 の中でっていうところなんですが
1:21:48	例えば崩壊熱に応じて、そういうことを配慮しているというところは最低限まず必要だなと思ってるんですが、
1:21:56	あと、さらにヒラガ様。

1:21:59	はい。ここピットの下に穴が開いてるところの、空気の考え方とかですね、そういうところを少し拡充は必要かなと思ってんですがいかがでしょう。
1:22:12	はい。日本原燃須田でございます。はい。設計を考える上で必要な考慮ということはしっかりと示していきたいと思います。
1:22:25	経営機構のどういう配置だったりせ、
1:22:30	数にするか、あと、空気の流れを考えて、どういうふうの下から空気を出していくんだということも含めて、設計を考える上で必要な要素っていうのは上げていきたいと思います。はい。
1:22:44	はい。成長からです。後の方にある
1:22:48	か排気系かなとかでも同じような感じですのでまずはここで、とりあえず
1:22:54	しっかりグローブボックスの中で、ピットがあって、そのピットに対して どういうふうに、
1:23:00	吸排気を考えているかという、最低限の配慮、
1:23:04	お願いします。
1:23:07	すいません。どうぞ、規制庁コサクです。ちょっと脱線しちゃいますけど、この 399 ページの凡例で、空気の流れが赤と。
1:23:18	青で書かれてるんですけど、図では青しなくて、
1:23:22	んな、何ですか。
1:23:24	失礼しました。下で、
1:23:28	放射線上イデみたいのがこれがタケウチコウから入ってくるって、上に上ってる。多分千賀大井じゃなくてこれ赤だったんですか。こちらの間違いですいません。
1:23:40	はい。補足ですそうだろうなと思ったんですけど、そうだとすると何か給気口と廃棄コウノ色も気持ち悪いなっていう感じがしますけど。
1:23:48	はい、わかりました。ちょっと考えます。そうだな。
1:23:52	結局言ったら 400 円ていうたら逆ババの色が、
1:23:57	ちょっと考えます。はい。すいません。
1:24:03	規制庁からちゃんと引き続き防火者、
1:24:06	他のところ、少しだけ、
1:24:09	ですね。
1:24:13	411 ページ。
1:24:20	ここもう、土佐。
1:24:22	木野考えと、
1:24:24	同じで、ここ横開きでレールを使って開くと、そこはクドウARMD、クドウするということで、
1:24:36	閉じてる時はばたつき防止。

1:24:39	があって開いてる時はその筐体の中というか
1:24:45	なんか、当社取付部の中にあるから大丈夫、バタつかないとそういうことなんですか。
1:25:09	はい、日本イシダでございますちょっと開けた状態の絵も書いてみてお示しできればと思います
1:25:18	今言った 411 ページの振れ止め防止ローラーなんかは何もピンクとか赤い枠がないところに青い丸がありますけどこれ、ああいった時に抑える場所、
1:25:29	だったりするのでその辺の関係がわかるように、ああいった状態の絵も書けばイメージは伝わるのかなと思いました。
1:25:38	はい、規制庁からわかりましたじゃあ、そこを見て確認ということで、あとクドウWorkなんですけど、先ほど工藤家はいろいろあると言って
1:25:49	出ましたが、こちらの防火シャッターのクドウ系もいろいろ、
1:25:52	あるんですか。
1:26:03	はい。日本イシダでございます。こちらは、の種類はモータークドウぐらいしかないかなと思いましたけど、事実確認はしておきますはい。
1:26:13	はい。社長笠間。そのクドウ系が何かってところによってちょっとこういろいろ見方が変わるんじゃないかなと思いますのでさっきのその押し付けの、
1:26:23	考え方と同じなんですけど、そういうところも少し書いていただくとわかりいいかなと思いますのでよろしくお願いします。
1:26:38	規制庁下です。防火シャッター関係ほか、
1:26:42	何かありますでしょうか。
1:26:44	とコサクです。同じではあるんですけど、
1:26:48	磁性流体シールと書かれていて、それで閉じ込めを負っていたような感じではあるんですけど、
1:26:56	家、
1:26:58	よく
1:27:00	そのモーターがどこでとか、
1:27:04	どこでどう貫通してとかっていうのが、
1:27:07	ぱっと見てわからないんですけど。
1:27:12	これはど、
1:27:14	どう見ればいいのかっていうのでだ何ですか、なくなりました。
1:27:18	はい、日本イシハラでございますちょっと絵をいくつか分けてるのでその関係性を示しながら全体構造もわかるようにと考えます。414 ページ以下というのが、

1:27:28	それを曾田武藤、今実際のグローブボックス内外のIC関係と自制渋滞飯野、シールがどこにあるかということですけど、実際これが、
1:27:40	シャッターとの関係も含めてどうなってるかだったりあとクドウARMっていうのを動かすものってどうが、どうついているのか、そういうのも含めて、全体ちょっとわかるように絵を工夫しますかね。
1:27:55	それぞれの関係性も飛んだりするところが本当はないのかっていうところは、現行はっていうことも含めて整理をします。はい。
1:28:06	はい。補足ですよろしくお願ひします。あれですよ。
1:28:10	左、
1:28:12	から右に行くに従って、内部構造的なことを示す形になる。
1:28:19	て言って、緑が躯体になり、
1:28:23	その中を1の右のものに変えてるということだとは理解をする。
1:28:29	ですけど、
1:28:31	へえ。
1:28:33	閉じ清流た
1:28:35	ここで白してるっていう。
1:28:40	あとで言うと、グローブボックス等、このシャッターの筐体は、
1:28:48	どう、
1:28:50	いう関係になってる。
1:28:53	先生、
1:29:03	はい、日本イシダでございますはい。そういう意味で、私もすいません、いろいろ、
1:29:09	議論をしながら、絵にしてもらいながらも、まだちょっと低いとかぱっと見わかりづらいなと思っているのが、グローブボックスの業態と関係する部分が真ん中411ページの真ん中にある、防火シャッター取付部と云ってる。
1:29:27	緑の枠でその中に、
1:29:29	シャッターが入っていてこれがスライドするということと、ガイド部の構造だったりフィルムを示すために、緑の絵を、井戸を消しながら、中の構造物がこうなってますって示してるんですけど、
1:29:45	これを外側から押さえている磁性流体シールみたいなのが、矢印で書いてあってさらにそれを、
1:29:53	414ページで、あの時清流渋滞で抑えてるんと、グローブボックスの関係みたいのを書いてはくれてるんですけど、
1:30:04	その位置関係とか関係性が今ひとつ家が飛んでいくごとに、
1:30:09	その詳細な部分だけをピックアップしてかかるというところもあって、

1:30:13	実際そのグローブボックスのフレームとどういう関係で繋がってるのかってのがわかりづらいところはあるんだと思っていて、そういったところを見る化する努力をしていきたいと思います。はい。
1:30:28	はい、麻生です。そうですね。
1:30:32	藤。だから私がまず第1に気になったのは、412 ページで書いているガasketの部分と、
1:30:43	ということ等で、これの接続上、
1:30:50	はい。
1:30:51	いえまずシールここで入れますよ。
1:30:55	いう。
1:30:56	のが外との関係ということであってその次に、外との関係は問題ないけど、隣のグローブボックスとの、
1:31:07	境界を構成するということから、次の、ごめんなさい、413 ページもあれですね、
1:31:15	はいメンテナンスの関係からの外からとの境界、
1:31:21	外なりグローボックスの強化
1:31:23	になっているということですけど、自制渋滞云々のところになると、隣のグローボックスの関係という感じになっていてと。
1:31:33	いうことが、まずそういうそのポイントがありますよっていうのを3、411 ページ。
1:31:41	なりで何らか触れていただけると、次に繋がるのかなというふうには思います。
1:31:48	はい、わかりました日本インダでございますはい。閉じ込めの境界として考えていっちゃいけないポイントってのが、この防火シャッターのところをどこを、
1:31:57	の境界を考えなきゃいけないのかっていうところを、ちゃんと全体が押さえられるした上で、ここのその境界の閉じ込め機能を達成するためにどういう構造にしているのかっていうのが、
1:32:09	4 展開されていくと、というような感じで、全体を構成できればと思います。おっしゃっていただいたように1、411 ページの一番左側でグローボックスの間に、防火シャッターがフレーム排取りつけるが入っていて、
1:32:24	これが真ん中側はグローボックス間の取り合いお話をしないといけません。
1:32:29	上に行けば、外との関係の境界を考えなきゃいけない。
1:32:35	し、真ん中へ行くと去ったがってちゃったこれ、
1:32:39	この協会はグローボックスなんかちょっと、これはプロジェクトということだよ。だからそこも外との関係で考えなきゃいけないとかこういうところ

	がありますようなことを協会どこの協会の話をまずしてるのかっていうのがわかるようにして、
1:32:52	ここの設計に展開していくということだと、今、
1:32:56	何をしゃべんなきゃいけないかもわかるし、伝えてるかっていうところもチェックはしやすいと思うので配布へ行きます。
1:33:05	はい、尾崎です。よろしくお願いします。このオカシャッターは、
1:33:13	先ほど触れ止防止ローラーはアノヒライたところですよっていうことでしたけど、そうしたときに固定する理由をする状態にし、
1:33:23	するための押さえっていうのは、
1:33:26	このロック機構っていうのが、
1:33:28	になってるんですか。
1:33:42	あんまり
1:33:45	第一課としては、NUL構造での、
1:33:50	チームが難しい。それは、それはどうやって説明を書いたらわかってもらえるかが、
1:33:57	難しいな。はい。ちょっと要求員としてこれ当然協会にbigの枠があって出てきて、これが途中の演技にもなったり、これが動いてということも含めて、全体しまったときに、
1:34:12	どこでバウンダリーを形成してますか、閉じ込めとしての境界ってどこで考えてますか。
1:34:18	隣のグローブボックスのアノ園切りなのか、どういうことを要求しますかってところをちゃんと書いた上で、だからこういう構造にしていますみたいな。
1:34:27	前回ですかね、ちょっと工夫して考えていきたいと思います。
1:34:34	はい。よろしくお願いします。
1:34:39	開いてる時は振れ止めっていうところで、落下防止的なことの話だけで済むんでしょうけど、しまったときに、今言われたようにどの要求がありその、それが運営ができていのかどうか、そのための構造って何かというのがわかるようにしてください。
1:34:55	以上です。
1:35:01	はい。日本原燃志田でございます承知いたしましたはい。やっぱり全体の要求の整理とあと、ああいった時絞った時っていう状態を、両方全体変えて、協会として考えるポイントっていうのを押さえたいかないと、
1:35:14	なかなか説明も繋がらない気がしますので全体、そういった意味で整理をします。
1:35:25	木曾医長わかりやす防火シャッターに関してはぽかー。
1:35:29	再整理されるということでまたそれで確認したいと思いますので、

1:35:33	あとちょっと私から、ついでに 420 ページ目。
1:35:37	機械装置搬送装置のちょっと差分。
1:35:41	目的なところということで、このつつがちょっと微妙によくわかってないんですが、
1:35:49	まずグローブボックスのなかに、
1:35:54	横、
1:35:55	に動くようなものがある、
1:35:59	それがその焼結暴動を運ぶ。
1:36:04	搬送設備だということなんですよねまずは。
1:36:09	はい。まずは、そうですねそういうことではいい。はい。清長官、それで。
1:36:14	藤氏、喜多と上にレールがあってそこに挟み込むかみ込むような感じDC、焼結暴動の、
1:36:24	装置がまず立っていると、間に、
1:36:27	かみ込むような感じで立っていると、そういうことですよ。
1:36:31	はい。やってることは、それこそモノレールとかアノエンドウやってることは変わらないかな。
1:36:37	挟み込む形で、
1:36:40	触れないようにとか転倒しないようにしているということです。はい。わかりました。それで、
1:36:46	今おっしゃっていただいたようにどうやって進めているのかっていう部分、つまりどこがクドウ分に、
1:36:54	になってるのかというのがちょっとわかんなくて、どういう、
1:36:58	仕組みになってるんですか。
1:37:12	うん。はい。宮城伊勢でございます。ちょっと図示しますねはい。左側の絵でいくと、下側に、
1:37:21	層厚装置って書いてあるものこれが回転体みたいところで回転する駆動力を使って物が動くと、ということなんですけどそれが、
1:37:32	走行方向との関係でどういう状態でこれが走行するのかというのがわかるようにします。はい。はい。コサクです。ごめんなさい。右の図のB部詳細の層厚装置って書いて矢印を入れている。
1:37:48	青部分が、
1:37:51	タイヤなのか、車輪なのかよくわかりませんが、そういうものですよ。はいそうです。はい。それを層厚装置と言ってるところのモーターで
1:38:02	まわしていくということだと思っんですけど。
1:38:04	これ底装置、アノ部材は何ですか。
1:38:13	タイヤなのか、ゴムだとか、金属なのか。

1:38:19	なので、
1:38:20	すいません人間でした。ちょっと確認させてくださいアノタイヤであることは確かなんですけど、ダイヤが本当のゴムのタイヤのか、金属製なのかちょっと確認をします。
1:38:31	はい。補足ですそのあたりですね、具体の仕様がわかればいいんじゃない
1:38:41	はい、規制庁勝アノありがとうございますちょっとそれで、わかってきたところでした。あと、
1:38:47	これ、軸方向というか、上下方向にも動くんですね。
1:38:54	焼結ボード入出庫装置自体、
1:38:56	のその焼結ボードを押さえているところは上下方向にも動くというそういうことでもいいですか。
1:39:02	はい、そうです。比嘉イノウエでいくと、真ん中辺に、左側に飛び出ている。これが上下に動かすための装置というか、はい。はい。そこら辺をちょっとよくわかってなくて、
1:39:16	横尾は今の説明でわかったんですが、タテ側はどういうふうに動かしているのかっていうところも、
1:39:23	ちょっと今、理解できてないところなので、少し補足お願いします。
1:39:35	はい、弓削西田でございますはい。
1:39:39	はい。か検討しますはい。はい。
1:39:43	小コサクですけど左の図面の、
1:39:47	左側に飛び出てるやつがモーターD、チェーンか何かで、上下させてるってということですかね。
1:39:55	はい。その通りです。はい。
1:39:58	はい。そうすると、その落下防止みたいなものってどうなんです。
1:40:02	はい。関沢議会装置搬送装置で展開をした
1:40:08	これも、何の差分を説明しているのかをちゃんと書かないと手が出てきて、
1:40:15	不思議ですね。はい。機械装置搬送設備、設備側の要は搬送としての考慮みたいな、その関係を整理をして、それぞれの役割分担通りの書き方で、
1:40:29	整理をしていけばと思います。はい。
1:40:31	当然、はい。
1:40:33	コサクです。それで言うとイマムラみたいなものは全部そっち側でこは、それを、

1:40:38	指示するというか、それから、グローブボックスの筐体側にどう伝達するか の境界を説明しているということです。そうですね。はい。その通りです。 はい。はい、わかりました。
1:40:50	はい、規制庁から今、まさしくそれを聞こうと思っててそのサブっていう のが、途中ぽつんと出てくると、結局どこからの差分土工見りゃ、
1:41:00	良くて、ここでは何を説明したいのが、下が、今、これがグローボックス の中で突然出てきたわけで、そういうところの説明っていうのが必要で すよということなのでよろしくお願いします。
1:41:16	はい、日本イシハラでございます。はい。420 ページの上の将来で説明 した気になってたところはちょっと
1:41:24	もうちょっと拡充します。はい。
1:41:28	規制庁下です後ちょっと 423 ページ目、すみません自分。
1:41:33	今回漏液受け皿の説明をここでして分関井形が出てるからだ。
1:41:41	思うんですが液体状の放射性物質って分析計だけですか。今回、
1:41:49	はい、与儀西田でございます。定例系の廃液を取り扱う設備が説明グ ループさあんだったかな。
1:41:58	2 だっけ。三田さんで他に出てきますはい。はい。社長。こっちは、と同 じような作りなんです。
1:42:13	セガワ失礼しましたグローブボックスってオープンポートボックスが両方 ともだ。だから、それ自体は、説明グループ 1 か。
1:42:23	ゼミ自体はグループ 3 で以外の設備はグループなんだけど、それを収 納してるオープンポートボックスは全部グループ設備グループ 1 杯。は い。私が勘違いしてましたすみません。社長。
1:42:35	なかったのはそこです。
1:42:37	明日で、大分少量、どっちも少量なんですよ。
1:42:45	はい。はい。
1:42:47	はい。
1:42:48	はい、わかりました。
1:42:56	この全量が受けられる高さを有した設計っていうところ。
1:43:01	所。
1:43:02	カガワで説明されるという、この後の
1:43:08	高さがどこで明確化されるのかっていう話なんです、
1:43:12	そこはどういうふうに展開される。
1:43:23	下にある通り資料 4 で評価でちゃんと明確化するっていうそういう理解 でよろしいですか。
1:43:31	少々お待ちください。

1:43:54	日本原燃志田でございますちょっと整理しますというのは、私のイメージは、構造設計上評価で最終的には、
1:44:04	全量受けられまして評価するんですけど、その中で、ここで説明したいのは、高さがポイントですと。
1:44:13	なぜなら、用語センミョウて面積は、閉じ込めのグローボックスで生産工場の考慮も含めて、大きさが決まって面積はそこで必然的に決まると。
1:44:24	その上で、高さ増益受け皿としての高さを設定することで全量が受けられるかどうかのポイントになりますよねと。その高さの、どう設計するかって、
1:44:36	高さんに、の設計を考える上での考慮事項は、資料 3 のところで、説明した上で実際大丈夫ですって評価を、資料 4 側に預けると。
1:44:47	ということかと思っていたので、実際の高さに対する考え方は資料 3 で展開するのかなあとと思いながら今具体的な数字が一切書いてないのは、マスキングになるから外したっていうようなので、ちょっとそこも含めて、
1:45:02	どこかで何らか、どう説明するか線引きをしておかないと何か足りないような気もしてきたので整理します。はい。はい。はい、わかりました。おっしゃる通りで、どこからが、
1:45:15	資料 4、評価になって、どこまでがこっちで説明しなきゃいけないのかっていうその考え方を伺いたかったんで。はい。また整理の方よろしく願います。
1:45:28	ブロックの構造私からは以上なんです。
1:45:37	規制庁の荒井です。ちょっと最初にまた戻ってしまって恐縮なんですけど、
1:45:43	421 と 422 の 422 の方は、
1:45:48	開口部がストッパーという形で制限されるっていうのは理解してて、で、オープンポートボックスの方は 4ヶ所
1:45:58	を超えないようにっていうところで、どのように制限かけるのかっていうのは多分閉じ込め 02 の補足か、
1:46:05	或いはこちらにも少し言及するのかなと思ってるんですけど。
1:46:09	その辺りはいかがですか。
1:46:13	はい。日本原燃石田でございます先ほど話で 421 ページの、
1:46:18	結局、風土も、ストッパーがあるんでストッパーで押さえればいいんですけど、これ前回でも使えるように、
1:46:27	結局このストッパーの欄のところ止めて、あの中で各電力費取り扱うときは、この突破のところ、高さを抑えてっていうことは、

1:46:37	何らか、同じように制限しないと駄目で、そこを、さっきの 221 ページのポートという仕様表のところの、書き方でまず制限だということがわかるようにした上で、
1:46:50	運用上の規程類の体系の中でしっかりとそこを制限として管理をしていくということかと思えます。それは濃縮でいけばフードだったらフードでの取り扱い上の制限みたいのを、
1:47:06	フードのところに確か銘板の横にペタッと何か貼ってたような気がしますし、実際扱う人がわかるように、
1:47:13	そういうことも含めてやっていかないと制限が守られないことっていうのもあるかもしれないんでそういう制限をかけていく。
1:47:19	ということかと思ってます。はい。はい。規制庁荒井です。そうすると、また閉じ込め 02 の方、
1:47:27	資料あんまり開かなくていいんですけど、
1:47:31	例えばポートが何個も穴があって、例えば中断のみをこの作業では使いますとかっていう間、こともあるので、ただ、
1:47:41	孔の制限の数というよりも、位置の制限っていうところも結構重要になってくるのかなと思っていますので、最初の方の議論で、作業の流れとかその際の留意点がわかるように整理し、するっていう話だったので、
1:47:55	そこも併せて説明をお願いしたいと思います。以上です。
1:48:00	はい、日本インダでございます。実際何が風速確保に効くのかということも考えて西縁をどうしていくかは、整理していきたいと思えます。
1:48:12	高沢アマヤ家もともとの重量とかの評価の中でも関係なくて、数が一番効いてくるような気もするので、そこも含めて整理した上で、
1:48:23	適切な制限としての管理ができるようにしていきたいと思ひ
1:48:28	はい。
1:48:29	規制庁あれそういう意味だと、この後の換気設備の方で、その風量の設計の、
1:48:36	根拠みたいなところで、例えばコアのオープンポートボックスの開口面積とかあったところを流れる流量の関係で、多分流速を出すんだと思うんですけども、
1:48:49	そういった条件も踏まえて、先ほど檀の開ける段の違いとかも踏まえて、0.5 以上を維持するっていう説明がなされるって理解でいいですか。
1:49:01	はい。乳井イセでございます。オープンポートボックスの風量、もう積み上げの中に入ってますので、おっしゃっていて、積み上げの根拠としてそれぞれの状態は前提としてあげて、

1:49:17	実際の風量がどれだけのかっていうカウントをしています。実際、現状やってるのはあくまで先ほど言ったポートの数が空いた状態で、開口風速を確保するために、
1:49:30	オープンポートボックス単位で必要な風量を出し、割り出して、それを全部のグローブボックスオープンポートボックスに対して合算をして、
1:49:40	負圧維持に必要な風量ってのはこんだけですということタダグローブボックスとかオープンポートボックスそれぞれによってクワタ値を考えればいいのか、換気回数を考えなきゃいけないのか崩壊熱液を考えなきゃいけないのか、いろんなケース、
1:49:55	確か5個ぐらいポイントがあったと思うので、それぞれ必要な風量を割り出して、その一番大きいものを、そのグローブボックスオープンポートボックスに対して必要な風量と、
1:50:06	ということで割り当てた上で全部を合算するという、その合算値よりも上回るような風速をも確保できる排風機を設置しますよってのが、
1:50:17	全体の設計の流れだと認識をしています。先ほど申し上げた通りその時のオープンポートボックスは、負圧ぐらいしかないので、風速を確保するためには、
1:50:27	ポートの数から割り戻したときの、呉則だけがあれば、別に1は、特段どこであってもあまり関係ないというのが、今、もともとの設計的な考え方です。
1:50:39	規制庁新井です。了解しました次の段のところでそれはまた詳細に確認したいと思います。以上です。
1:50:54	藤規制庁カミデです他、
1:50:57	クローブボックスの関連で、いかがですか。閉じ込め01とか特に話が出てなかったようですが、それとまた別のところですか。
1:51:14	はい。またこれも私が忘れておりましたすいません。
1:51:17	取り込め01は、
1:51:24	6番、
1:51:26	先ほどで言うと363ページの
1:51:31	MOX取り扱うグローブボックスはということで、粉末容器による発見または転倒により閉じ込め機能を損なわないよという、
1:51:40	設計、パネルが実際損傷しないよという設定を当たっているところになります。
1:51:47	それに対して、構造上の考慮というところは、当然ながら資料3の①②で展開をしつつも、実際、細かい配置構造はどうなっているかということ、
1:52:00	閉じ込め01では展開をしています。これも先ほどと同じように、

1:52:05	全体の話と設計方針の共通項をちゃんと語った上で、実際のものに対しての考え方を展開をしていくと。
1:52:15	いうところではまだ、補足としての掲載、言いなりは記載事項は見直しが必要かと思います。
1:52:22	実際は搬送設備側の搬送としてのいわゆる機能を
1:52:30	達成することで、容器の落下転倒みたくないのもないとすると、グローボックスのコウアノパネル化、2、影響を与えることはありませんというのが前提で設計を展開させていただいているというのが、
1:52:45	閉じ込め 01 になります。以上です。
1:52:53	はい、規制庁管理です。閉じ込め 01、関連で何かありますか、規制庁側。いかがですか。
1:53:04	いや、ごめんなさい、規制庁コサクですけど、ちょっとよくわからなくなりましたんですけど。
1:53:13	これ閉じ込めなんですよ搬送じゃないんですよね。
1:53:18	はい。とじ込みです。
1:53:20	で、
1:53:21	書いているのが何かどっちつかずな感じがしてよくわからないんですけど、おっしゃっていることはよくわかります。私も作らせていてすごい悩んでね。はい。閉じ込めとしての設計って一体どういうことかっていうのをちゃんと前段で描きつく
1:53:38	岩相との関係っていうのを書き下していかないと、このままいくと、一体これは搬送の補足説明資料なのかっていうところになっちゃうので、閉じ込めで考慮しなきゃいけないことがない、担保しなきゃいけない意向が何で、それと、
1:53:52	実際、そのパネルに影響与えそうなものとして、何がユリされて、それがいわゆる乾燥側の設備へのエントリーされてるものが、パネル影響与えるイシダと、
1:54:04	いうことまで展開をした上で、初めて設計管がこうなっているから、実際パネルショートするようなことはありませんというような閉じ込めとしての考慮っていうのをちゃんと書かないと、
1:54:16	今おっしゃっていただいたんですが、何の説明だっけみたいな話になるかなと思いますので整理を進めたいと思います。
1:54:25	はい。
1:54:27	お願いします。それで土佐。
1:54:31	これは内装機器の、
1:54:35	ていうこと。
1:54:38	そっけど説明はその内装機器の中の、

1:54:44	10 数、
1:54:45	中身のやつ、先ほどのそのレールで固定しててみたいなところに入ってない。
1:54:53	はい、ヤギインダでございます容器が落下してみたいなことに着目しているのでおっしゃってて搬送設備自体の層厚だったり
1:55:05	何でしょう、言い方としては走行する範囲をそもそも限定しているの、あなたの関係でいけば一定の間隔が空くので、直接影響を与えることはありませんとか、
1:55:15	そういうことにかかなり限定した説明になっているところがあるのでそれも多分要求事項との関係で、どういう範囲を説明したいのか、かという。搬送設備本部の説明は、
1:55:26	搬送側の補足で展開をしますよ。そのエッセンスを、その要求に従って持ってきてますというような関係をですね、前段でちゃんと説明しないと、何が説明したいのかがよくわからなくなってしまうと、いうことだと思います。
1:55:42	はい、古作です。わかりましたじゃ、整理をしていただいて、それで
1:55:49	先ほどのレールのところで言うと、0 ルーでガイドがありますだけになってて、ガイドが本当に機能するのかっていう構造設計が見えないんですけど、どうなってます。
1:56:09	要はガイドを持つんですかっていうことですよ。
1:56:17	ああいうエリアでございますちょっと全体的に、そうですね構造として、そういう形状になってますっていうことに大分特化しているので、実際
1:56:29	強度が持つかどうかってところまで触れてないところがかかるので、そこも含めて整理したいと思います。
1:56:38	はい。
1:56:39	これって、耐震設計上そういったところの強度ってどうなるんですか。
1:56:48	はい、乾瀬谷でございますはい。ちょっと確認をさせていただきます実際はおっしゃる通りあれですねグローブボックスの
1:56:56	耐震上のクラスに応じて、内装機器例えば右下 5 ページでいくとこのフレーム全体は当然
1:57:07	AsSのブロックであれば、
1:57:11	Ssに対しての波及影響を及ぼさない設計をしますというのがナイトウキクチの考慮になりますので、そういった点で、どこまでの構造物を、地震に対する考慮として構造設計しているのかと。
1:57:26	そういうところをブレークして示していく必要があるかなと思います。はい。
1:57:31	はい。

1:57:32	やっぱりあれですねその時の転倒至りませんよってのはこの該当で、
1:57:38	荷重を伝達するってということになるんですよ。
1:57:46	そうですね。日本原燃石原でございますそうなりますがその説明まではしきれてないところは拡充をしないとイケないと思います。はい。
1:57:57	はい。姑息ですよろしく申し上げます。
1:58:04	規制庁笠野閉じ込め 01 関係ちょっと背景と、ちゃんと明確にするっていうことでしたが、
1:58:13	回転機器なんかは今回入ってなかったんですが、ど、どこまでの範囲がこれ、
1:58:20	含まれているって考えればいいんですか。
1:58:38	要はあれ。
1:58:40	はい、乳井西平でございますはい。回転自体は網羅してるとは思います、そうやってもらっているというかね。
1:58:51	はい。みんなにたくさんあるわけではないところもあるのははい。
1:58:58	ちょっと示し方を考えたいと思います。はい。はい。わかりました。前提のところをしっかりと書いていただければ、
1:59:21	規制庁ヶ月ほか、閉じ込め 01 なりこれに関連した、資料 3 の黒、GB だったってのもいかがですか。
1:59:31	規制庁の荒井です。
1:59:34	少し、先ほど閉じ込め 01 の層厚のそのガイドのお話で、ガイドの耐震強度の話が出たところなんですけども、
1:59:44	保管容器に対するガイドの高さみたいなところの考え方もあわせて説明いただきたいと思ってるんですが、いかがですか。
2:00:05	日本原燃瀬谷でございます。その高さというのは、どこを指しておられる。
2:00:11	ですね。
2:00:13	15 ページ。
2:00:15	ロジコム 01 の、
2:00:19	ちょっとあんまり、ずっとして見えないので、
2:00:24	一層防止として、
2:00:30	例えば一番右、右側の断面図の話なんですけど、
2:00:38	CC 断面で言ってる。
2:00:42	あれですかね。はい。要するに、C、D 断面で囲ってる容器の脇にある、ああそうですかはいわかりました。はい。はい。
2:00:52	そうですね。やっぱり容器の重心の方が高かったら落ちていきそうな感じがしたので、ちょっと高さの考え方が、

2:01:10	うん。はい。ちょっと設計上の考慮何かあるのであれば、示していきます。はい。
2:01:16	あと先ほどすいません飛んで恐縮ですけど 420 ページで、
2:01:22	タイヤみたいなもの層厚早期とかノダ意識は、
2:01:27	機械降雨構造用短足をまたあそこ、
2:01:31	岩相コガ層厚装置とかの第一種になります。はい。
2:01:47	あ、規制庁笠野その関係で、この図ではそこは説明することじゃないんですよね。0 ルー
2:01:55	上の役割分担をして、そこに必要なものを書くということで考えます。はい。はい、規制庁それでその層厚装置で端側を使って、
2:02:08	というのは、
2:02:09	後のコウノ、
2:02:11	書かれているんですか。
2:02:14	書いてないと思うんで、書くように、こちら側で役割をしてはい展開します。はい。はい。わかりました。
2:02:23	コサクです。よろしくお願ひします。で、そのついでというか、でき、今、図面で気になっちゃったんですけど、これ一番左の固定機構って何ですか。
2:02:42	これは
2:02:43	倉庫をしない時に止めておくってということで、棒が下側におりていって、それで固定をするっていう装置になりました。
2:02:56	はい。それはあれですか荷重は、
2:02:59	アキモトんんでもあったの。
2:03:02	その
2:03:04	そうこうしないときに止まってる状態ではそこが固定点になるので、耐震上はそこがポイントにはない。はい。
2:03:13	はい。わかります。
2:03:15	とそうすると伝達点としては、これも説明しないといけない場所ですかね。
2:03:22	はい。日本原燃石田でございます。はい。全体含めて、
2:03:26	そういった考慮が今、なかなかできてないところあるので、はい。絶対けんかしていきます。はい。
2:03:49	1 井清協管理です。岡。
2:03:52	01、あとは、
2:03:55	共通遵守用参画結果がですか。
2:03:59	あれでしたっけ、グローボックスの

2:04:03	配置設計はまだこれからなんでしたっけいま構造で困ってるんでしたっけ。
2:04:09	説明は配置設計まで一通りしてますので何かやりとりがあるんであれば、お願いします。はい。
2:04:17	はい、規制庁、梅津規制庁場で特に後背地として何かあるかといいますか。
2:04:26	規制庁岡です。ちょっと、439 ページ目の図の話なんですけど、結構、
2:04:34	いろいろ拡充がされてすごくあるようにはなったんですが
2:04:39	クレーン等を直上に設置しないとか、あと、グローボックスの外側の話ですね。
2:04:44	結局、
2:04:46	ブロックの外側からコウ、
2:04:48	閉じ込め性能に影響を与えるようなものは、
2:04:52	ここの1枚で説明されてるってそういうことなんですか。
2:05:00	はい。荻野池谷でございます。はい。おっしゃっていただいている部分でございます。はい。ちょっと
2:05:08	ないものの証明もしてくれないなあとって前にもお話ししましたがこれもともと
2:05:14	安全審査国の設計基準事項の抽出のときに、グローボックスのパネルを損傷させる可能性って何かあるか。
2:05:21	ということで、あらゆるときに、グローボックスの、
2:05:26	近傍にですね、そもそもそういう重量物を取り扱うようなクレーンとテッキしないということを前提にすることで、グローボックスの外側から金を損傷するというモードは、事故事故モードとしては想定しなくてもいいでしょうということで、
2:05:42	設計上の配慮との関係で考えていたところの具体的話をどうするかということなんです。
2:05:51	なかなかはいない。
2:05:54	設計しないっていうのを前提に説明を、設計を展開してたので、
2:05:59	本当にないですっていうのをどうやって説明しようかなっていう悩んだところでは、
2:06:03	はい、規制庁笠野その通りだと思っていて結局こういう標識みたいな感じになっちゃってるなっていうところは、ちゃんとわかるんですが、こういうのを、
2:06:18	その設計する人たちはこういうのをちゃんとどこかで、
2:06:24	認識した上で設計しているっていうことって、どういうところで
2:06:30	表されてるんでしょうか。

2:06:45	難しい。規制庁蘇武ですはい。加古コサクです。まずは、基本設計方針、担保を取ってるっていうのが我々のスタンス。
2:06:56	です。
2:06:57	で、その上で、実態上ちゃんとそれが展開できてますか、っていう、上流から下流へっていうことだと思んですけど。
2:07:07	そういった点でいうと、
2:07:11	基本設計方針で述べられたものがこの工事の要求事項としてちゃんとピックアップされてますかということに、
2:07:19	工事、工事の前段なるだからですね。
2:07:22	QMS説明書の中で言う設計さんの段階でちゃんと
2:07:27	グローボックス回りの工事をするものについては、非安重なりなんなりも含めて、この要求事項がピックアップされているかと。
2:07:36	ということになるかと思うんですけどいかがですか。
2:07:48	はい、日本イシハラでございます。ちょっと確認をしていきます。はい。具体的になってなかったような気もするので。はい。
2:07:59	設計のベースである。
2:08:03	イノウエ木曾催促っていうか、ルールで、どう決まっているのか。あとその実際工事も含めた今後の廃炉としてのポイントとしてそういったものが、です。
2:08:18	ルール上展開できているかということも含めて、ちょっと確認をさせていただきます。はい。
2:08:24	はい。補足です。さらに言うതുですね、それが使用前事業者検査での確認項目になると。
2:08:31	ということですし、その後の維持管理での設計要件としての管理もしなきゃいけない。
2:08:39	ということで、それを維持することをウォークダウンで定期的に見て、
2:08:44	ということになりますから、しっかりと漏れのないように対応し、
2:08:50	はい、金石田でございます。はい。承知いたしましたまさしく。そうですね。
2:08:56	方針検査なるものでしっかりとそういうものが押さえられているかを見ていく。
2:09:02	ということも含めて、整理をしていきます。はい。
2:09:11	規制庁カミデです。今の話、耐震だけだと、耐震にまず方針があったり、
2:09:19	補足があって、どういう取り決めで
2:09:26	チェックしてますよ、完全に見てますよっていうなチェックシートが何かあって、現段階の結果ですと工事やっていく中でも当然今日つきますと現段階でベストアップしたものはこれこれですというのがあり、

2:09:40	経産省も
2:09:42	耐震がついていることではあるんですけど多分、明日もお話をすると思うんですけど、チェックの視点が耐震ってということだけだと
2:09:53	他の設備への悪影響みたいなのところオカダと他の条文要求への影響みたいなのところの視点が、おそらく拾えつきり拾いきれてないようなやり方になってるんだと思うんでその辺も含めて、
2:10:08	また話ができればと思います。
2:10:11	ちなみに、このイワマ 439 ページのところ
2:10:17	波及影響とその検討だったり、
2:10:22	支店等みたいな感じで別々に設計しているものをイメージしてますけど、一体として、設計しなきゃいけないものもあると思うんですけどその辺の配慮ってどうなってますか。
2:10:54	岸。はい、与儀西原でございます。
2:10:58	まずは、ここで書いてること自体がまず網羅的なのかと。
2:11:03	あと、あと別々の要求をひもづけて、1枚にしていますけどその関係性は、
2:11:09	個別に書いただけで関連性を持って整理できてますかっていう点の整理が必要だと思いますので、
2:11:20	ここで
2:11:25	ですね。はい。そういったところを整理していく必要があると思いますので、
2:11:30	この 439 ページ、※4 米を、もうあと右の四角もかなり取ってつけたみたいな感じになってるところ、かつ、
2:11:40	クレーン等を直上に設置しないと言っているところに対しての波及影響の話を書くと、
2:11:49	何か何を指しているのかもよくわからない。
2:11:53	ということも含めて全体ちょっと整理をしていきます。はい。
2:12:00	はい。規制庁上井ですよろしくお願いします。
2:12:04	そっか。
2:12:05	はいGBの配置関係で確認かありますか。
2:12:14	はい。特になければ、一応グローボックス関連の資料 3 としては以上ですかね。ええ。
2:12:23	ちょ次は関係になりますけど、再開して 2 時間ほど経過してますんで一旦休憩で良いと思いますけど。
2:12:33	日本原燃よろしいですか。はい。お願いします。
2:12:37	はい、じゃあ、
2:12:39	今 43 分なので、殊、

2:12:43	うん、50、
2:12:45	55万回収にしましょうか。3時55分再開をお願いします。本庁がこの停止してください。はい。
0:00:01	録音を再開しました。
0:00:04	はい。規制庁深見です。それではヒアリング再開します。次は、共通中に、資料3の
0:00:15	換気設備になるんですかね、その前に
0:00:19	補足説明として案909っていうのがあるんですけどこれは搬送設備と一緒に説明されますか。
0:00:34	本件にいかがですか。はい。さっきの新野会長の関係なんですけど、これもさっきの話で、要求との関係でどう整理するかを、
0:00:45	もうちょっと考えないと、何を説明したのかっていうのがはっきりしないかなと思いますんで、
0:00:53	こちらは先ほどの整理とあわせて、補足としての内容というのも記載文をさせていただこうかと思います。はい。
0:01:04	はい、規制庁か述べつつ、
0:01:08	ということで再整理ということですけどああいうテロップに対して、一言物申したいというのが、規制庁側であればお願いします。
0:01:23	特にないんですかね。はい。それでは
0:01:28	T設備の方ですか。よろしくをお願いします。
0:01:33	はい。井上西原でございます。換気設備の方、443ページ、その前から、システム設計、
0:01:42	はい。思います。具体分144ページからになります。
0:01:46	こちらは全体の換気設備の構成とそれの前提になる生産上の考慮ということも紐付けつつ、整理をしているところでございます。
0:01:58	また、
0:02:01	23条の3だから455ページが、換気設備としては負圧維持が要求として展開されますので負圧維持に必要なシステム設計上の考慮と。
0:02:15	いうことを展開させていただいているということでございます。
0:02:21	また、
0:02:23	先ほどの生産上の考慮で出てきたリスト中間みたいなものですねこういったものをグローブボックスの
0:02:30	負圧維持に係る配慮事項みたいなものもある場合はこの446ページのようなシステム設計の単位で展開をしていると、いうことでございます。
0:02:43	はい。いえ。
0:02:48	あとは同じようなものが、工程室とか建屋換気に展開されつつ、
0:02:57	450ページ、4、449ページから、

0:03:04	グローブボックスの不安定だったり、甲斐先ほどあったオープンポートボックス、フードの外コウカードふ地球な風量を、
0:03:13	確保するという観点でそれを上回るような系統上の排風機の設置と、いうことと、評価での、
0:03:21	負圧維持が達成できていることの確認と、というようなことを紐づけて整理をさせていただいております。
0:03:29	またちょっと今回のケースでいくとシステム設計の中に入れてるものとして、系統構成だけではなくて、451 ページにあるような、移動順序みたいな経験みたいなことも、
0:03:44	このシステム設計の中で、23 条の 14 番の指導順序、23 条の 16 番の予備機への切り換え、
0:03:55	そういったものを、システム設計の中で展開をしていると、いうことでございます。
0:04:04	はい。あとは、以前あった、
0:04:14	フィルターの交換に対する考慮から、構造設計じゃなくても、アノだけではなくてシステム設計上の、とのリンクも必要だと。
0:04:24	いうことで 453 ページの 20 条の 12 番。
0:04:28	これはフィルターの交換に対しての系統構成上の考慮ということを経計上、今、項目として挙げて展開をさせていただいているということでございます。
0:04:40	はい
0:04:43	掘家がいいかな。
0:04:54	ただ配置設計と系統機器、システム設計の関係をもうちょっと整理をしなければいけないのはPuた工程。
0:05:07	回った。
0:05:09	あれもあるの。
0:05:18	ちょっと待ってください。
0:05:23	いいんじゃないですか。これは書いてくれたやつは、
0:05:27	20 条の 25 万 458 ページみたいなものはシステム設計としての閉じ込めと換気の関係ですね、条文の関係を示してますがこれも、
0:05:39	どちらでどう説明をするかという全体をまとめた上で、さらにこの肥後池関係が明確になるようにということで、引き続き整理を進めたいと思います。
0:05:50	はい。
0:05:52	それがシステム設計の 3 の①の中身でございまして、イシタ後は系統構成の方は、以前からあまり変えてませんで、
0:06:05	誰か日本語の配置を大分変えたのか。

0:06:10	構成を大分いじっているので 474 ページコウダイゴアオキになってますけど、これ位置関係を大分変えたりしてるので、青字にさせていただいてます。言ってることはさっきの 3 の①で言ってる系統構成上の配慮を、
0:06:25	展開をしていってるということでございます。
0:06:29	474 ページでいくと、
0:06:32	これも順番の問題だな。
0:06:35	生産上の考慮が一番下側によって、上流側には系統構成の話で、フィルターをつけたイトカワと順序が深くなるようにするというような系統構成上のファイルと、
0:06:48	いうことを展開をしているということでございます。
0:06:54	はい。
0:06:55	あとは、
0:07:05	40589 ページですかね。フィルターの切り換え時の、開催する系統の切り換えの話を展開をしているところ。
0:07:18	は、489 ページだったり、
0:07:21	490 ページだったりというところに展開をさせていただいているということ。
0:07:27	加えて 491 ページはフィルターの圧送によって真崎と見て、ベーターの交換時期を判断しますので、そういう系統構成上、
0:07:37	データの差額が図れるような系統構成にすると。
0:07:41	いうことを展開をしていると、いうことでございます。
0:07:45	はい。そういったものが順次、フィルターのタイプごとであったり傾聴のタイプごとに記載をさせていただいていると。
0:07:54	いうことでございます。
0:07:56	はい。
0:07:58	で、先ほどあった崩壊熱除去に関しても系統構成上崩壊熱除去が必要と小西甲斐様関係の系統をつなげていると。
0:08:08	いうことが 498 ページ。
0:08:12	すかね、はい。
0:08:15	そういったことで必要なアイテムを並べて電気展開をしていってということでございます。
0:08:23	はい。あとは、職種が 0 ページで、クドウ上 504 ページのところ、労働関係のところの不破ページに関する考慮ということで、
0:08:34	ダブルドアの両方を同時に開けないといったようなことの、
0:08:38	秘密の管理枠の管理と、
0:08:41	というようなことを設計上の郡として書いているということでございます。

0:08:47	へえ、この
0:08:50	後いろいろ工夫して作ってもらったんですがちょっとまだわかりづらいな と思っているのが 508 ページとか 509 ページ。
0:09:00	これをもう少し意図が酌み取れるようにちょっと工夫したいなと思ってま す
0:09:06	排気吸気の関係の設置のための空気の流れを確保するためにどういう 構成で組んでいくかということでございます。
0:09:18	毎月、
0:09:19	と。
0:09:21	前、実線が設計側はそう言ったことで整理をしております。構造設計の 方はどちらかというと、2 点から書いていたものを、より種資料 3 として の、
0:09:35	今回の設計として、趣旨がわかるようにということで文章のブラッシュア ップをしたと。
0:09:41	ということです。
0:09:44	はい。構造設計も以前から説明しているものから変えてない。
0:09:50	はい。はい。これも、それぞれの構造設計としての図を展開をさせてい ただいてます
0:09:59	例えばですけどラップしながら拡充しているのは 570 ページのフィルタ ーのホシノところ、ビルバックで取りやすいようなところといったことを設 計上考えているのか。
0:10:10	そんなことが実質的にわかるように、拡充をしていると。
0:10:14	ということでございます。はい。
0:10:18	同じようなフィルターの保守性という意味でフクマはコガ武居他のタイプ については 574 ページ、こちらも落ちてるところ及び、いずれもわかりや すいより、
0:10:28	展開をしていっていいということでございました。
0:10:32	はい。あれこれって何か、
0:10:36	お得なかった。
0:10:39	何だっけ。
0:10:44	なくていいんだっけ。
0:10:54	はい。一応報告はないようですが、個人的にはないと駄目なんじゃない かなと思いながら、
0:11:02	こちらも検討を進めますかすみません、中途半端な説明以上です。
0:11:12	はい。規制庁上井です。それでは、

0:11:16	まずはところから、後はシステム設計的なところがメインだと思いますけど、規制庁側からお願いします。すいません、西原でございます。配置設計を説明するの忘れてました。
0:11:29	あ、じゃお願いします。はい。596 ページから配布設計の話が集まりまして、これが
0:11:38	絵を見ていただくと、今
0:11:41	598 ページですね。
0:11:44	これも排除システムとどう書き分けるかというところも含めて、またさらに検討は必要だと思っておりますが、
0:11:53	配置として具体で示さなきゃいけないのは、真ん中下側にある、
0:12:00	肯定しない月グローブボックスの近傍に置かなきゃいけないといったこれは確かアドレスの話を説明しないといけないと思ってまして、系統構成上は伸びるたは読んだかな。
0:12:12	頑張ってるということで、その 4 だとカウントのうち 2 段は、隣県採択域に各電力と閉じ込めるということも含めて、工程室の中に配置をする。吸気系のフィルターんところについては従事者への影響を考えて工程室のところのブロック直近につけると。
0:12:30	というようなことがレス、配置上の考慮ということであるのかなと思っています。そこ愛知の話と系統構成の話っていうのをちゃんと仕分けをして整理をしていくと。
0:12:41	いうことがさらに必要だということで認識をしています。
0:12:45	はい。すいませんでした。説明以上です。
0:12:50	はい、規制庁管理です。それでは規制庁は、確認をお願いします。
0:13:03	規制庁岡です。ちょっと、
0:13:05	下確認なんですけど、474 ページ目。
0:13:17	先ほど説明があった一番下の換気設備の設備構成で、生産管理上の観点ということで、
0:13:28	次、窒素を冷却するための窒素循環で脚を有したっていうその冷却っていうのをどこでやってるのかなというのが、
0:13:37	ちょっと見えてなくてですね、どこで説明されてますか。
0:13:53	少々お待ちください。
0:14:28	これ、はい、与儀瀬谷でございます 511 ページですね。
0:14:35	ピンクと青の線に若い。
0:14:40	はい。ここで窒素循環ファンの手前に冷却器が行って、
0:14:46	ここで下のボックスでいくと真ん中ですかね。

0:14:51	グローブボックス内をず核燃料室に崩壊熱及び内装機器の電気負荷発熱ですねこういったものを受けて、循環性腔の温度が上がるということ を考慮してこれを冷却して元に戻すと。
0:15:03	ということで設計をしてますということです。はい。あ、失礼しました。わかり ました。その冷却のメカニズム
0:15:10	っていうのはどういうことをやってるんでしょうか。
0:15:18	冷却器っていうのはどんなものだったっけ。
0:15:22	はい。こういうのは何かナカをふやしたりバイオナカに入れてそれを循 環させて冷却するタイプです。はい。そうすると、構造説明とかで何か説 明展開ってあるんですか。
0:15:37	ここでも、ここで説明でもいいのかもしれないですけど、
0:15:41	その仕組みが少しわからないなというところでした。
0:15:50	はい。日本のイシダでございますここでの冷却器としての構造といった ものを、
0:15:57	この中でやるかこの系統の、
0:16:02	リスト循環設備自体はかけて、
0:16:05	米田から換気設備の構造設計でやるか。
0:16:09	そうしましょうか。処置側の構造設計側で展開するように、提示します。 はい。はい。それでは、わかりました。それでその、
0:16:20	今、結局換気設備系を見てると冷却しているのがこの許可冷却機能窒 素だけっていうふうになって、空気側の冷却っていうのはしてないん ですか。
0:16:42	はい、日本エリアでございます今言ったような外気の取り入れのところ の話をしてますかね。はい。そうですね、一気通貫で流れていくので外 気取入口には確か、
0:16:53	吸気だけ冷却だけ兼ねてもらう。
0:16:57	加熱冷却でマイページ
0:16:59	はい。あると思いますが普通の構造としてあると思うので。はい。
0:17:06	規制庁カセわかりました。だから、循環させてるのが窒素だけなので、 窒素循環だけさせると熱が上がっちゃうので、それをつけてますって そういうこと。
0:17:17	はい。はい。空気は取り込んだら機を流れていって一方通行で流れて 排気流れていくだけですんで、吸気系での、入ってくる空気の温度バラ ンスを管理してれば大丈夫。
0:17:30	ということです。はい、清調査役わかりました。
0:17:33	あとちょっとだけ軽微な話ではあるんですが、484 ページ目。
0:17:40	のところで、

0:17:43	乾燥ポットのお話があってスタック乾燥装置。
0:17:48	こここって、まず、今回の申請対象としてはスタック乾燥だけなんですよ。
0:18:05	今言われてるのはさ、スタッフ管ソウノ毎にグローボックスとかもう今回の対象だと。はい。はい。はい。
0:18:16	だから、スタック乾燥周リー式のこの構成は体育館層に特化したものですよ。
0:18:24	はい、そうです。はい。特殊な事例として書いてます。はい、規制庁さんわかりましたそれであれば向こう廃棄してるんですけど、 α -9 キーみたいなものって、どっかないんですか。
0:18:44	はい。稲毛ニシダでございますはい。としては示してないので、スタッフ自体に、有賀そういえる呉きアノ。
0:18:55	何だ、配管が。
0:18:57	確か繋がってると思うのでそこをもう見える化しますかね。はい。はい。秋田医長わかりました。これ感想ボードだけで。衛藤。
0:19:10	このボードって、
0:19:12	何に使ったボードなんですか。
0:19:15	麻生某。
0:19:23	なんだっていう説明をすればいいでしょうね
0:19:27	ペレットが乗っかっている。はい。ナガタ波波形トレーを、
0:19:33	入れてる野瀬てるとね、サポートが岩相コードですはい。わかりました。
0:19:40	なんすかね。言っていないかわかんないですけど、タングステン化とかモリブデンとかそういうやつですか。
0:19:59	すいません今、
0:20:01	調べます。1点があるだろうとキタノなんで、ある場所でしっかり乾燥させなきゃいけないかっていう、
0:20:10	ここの部分だけあるものを使ってるのって何ですかっていうところだったんです。
0:20:24	はい。ちょっと確認をします。はい。
0:20:28	乾燥させるときの媒体みたいなものとして何を使うかってことも含めて、多分設計上の考え方があるはずなのでそこを確認させてください。はい。社長わかりました。
0:20:42	今、現時点で気になったのは以上なんですか。
0:20:52	はい。規制庁管です。オカ規制庁ワダアベますかね。
0:20:58	規制庁コサクです。
0:21:02	どう、どう、どこの話をしなきゃいけないのかが、
0:21:06	迷子になってしまう。

0:21:08	なんですけど、
0:21:12	どうしようかな。
0:21:17	土肥今野、菅宗の話、ワー、突然そこで出てくるような感じがしますけど、どうなってるんですか。
0:21:34	はい。与儀ニシウラでございますこれ
0:21:37	そうですね。ちょっとなぜこれが出てくるかの前ふりもちょっと考えます。
0:21:45	系統構成を聞いたときに、3回出てくる焼結炉だったかなとかも同じなんですけど直接グローボックスからアノとの関係でというよりもそこに装置が跨っていて、
0:21:58	1レーン、廃棄の系統との接続の仕方が若干特殊事例だということも含めて挙げましたので、そういった
0:22:09	構成の違いとかを考えてこういうものをピックアップしてますよということが全体の系統構成との関係で、抜き出した時の考え方がもうちょっと前に書いてあると、今おっしゃっていた突然出てきたハタケみたいな、ニワ、
0:22:24	ならないかなと思うので、配慮していきたいと思います。はい。
0:22:30	はい。補足ですよろしくをお願いします。
0:22:34	同じく全体構成の関係なんですけど、
0:22:39	等、
0:22:42	通し 481 ページとかを見ると、循環があり、
0:22:49	管貫通ん完了っていうんだっけ。
0:22:53	アンリュウってあって空気があつてと。
0:23:00	循環のほうは循環のものがグルグルもありますよっていうふうな絵になってるんですけど。
0:23:06	一方
0:23:08	そのあとのナツメを見ると、
0:23:11	その流れがようわからん。
0:23:14	下流で全部合流していつてますっていう絵になってて、
0:23:18	流れがよくわかんなかったんですけど、どうなってるんでしょうか。
0:23:25	いうことは、すみません、どのページらで、それがあれと思ったのかわからなくなって混乱してるんですけど、
0:23:31	はいちょっと待ってくださいすみませんはい。
0:24:05	はい、481 ページの、そうですねそもそもこの循環型のグローボックスっていうのが、最終的にさっきの循環、
0:24:17	のポンプ、呉とか、
0:24:20	と繋がって、ループを組んでるということの絵姿も含めて、明瞭化しないと。

0:24:29	全体の構成の関係がわかりづらいかなという気がしますので、
0:24:34	ちょっともうちょっと、系统工程の絵を工夫する必要があるかなと思います。135 もそうだな。
0:24:43	うん。
0:24:46	でもこれ妥当、474 ページ妥当。
0:24:52	リークとはこれだけ施設循環の関係示しただけなんだよね、ちょっと中間の。
0:24:59	ここは緑のときの合流点。
0:25:02	逆に入れなくて、
0:25:04	いや、この子の関係が、ここ見えないよね。そこは見え、
0:25:10	ちょっとすいません全体の真ん中関係性だったり、流路というか、流れがどうなってるかがもうちょっとわかり、
0:25:19	います。はい。
0:25:21	はい。ちょっと全体見渡しておいていただければと思うんですけど。
0:25:25	516 ページとか、
0:25:28	10、
0:25:29	7 ページとかだと矢印で書いてあって、
0:25:35	流れとしてわあ、抜き出して行って廃棄に行ってるっていうようには書かれているんですけど、それがそう見えない図がどっかにあつ。
0:25:46	はい。ですね。
0:25:48	その辺りは気をつけていただいてそれに、それを調整する。
0:25:53	のはどうしてるんでしたでしょうか。
0:26:09	単純に言うと、巡回の方が制約になって、
0:26:14	制圧っていうか、
0:26:19	いうので、
0:26:23	逆流というか、入ってくることはないよっていうことだったりだと思うんですけど、はい。
0:26:29	流してる窒素の流量と、圧力の場で、窒素側に空気が逆流しないようにってことを考えてるんだと思いますけど。
0:26:40	そういったところを設計上どう考えているのかってところはまだ、ほとんど書いてない等しいのでやらせるところの配慮も、
0:26:48	していきたいと思います。はい。
0:26:52	はい。
0:26:53	よろしくお願いしますそれで言うと、
0:26:56	518 ページ。
0:27:00	わあ、
0:27:05	この分岐点のところの下流に、

0:27:10	これは何ですかねダンパーの絵なんですかなん。
0:27:13	あるんですけど、学校はですね背弧の改良アノコウ調整して、
0:27:21	多分あらかじめ決めておく全体のバランスで決めてあるし、固定だと思 いますけど、その時には当然チーフとして入ってくるものマートだったり 有用だったりとか。
0:27:33	インリークとの関係を考えて、どこかでガイド聞いて固定をするというこ とだと思えます。はい。そこも、どういう考え方で設計してるのかというこ とがわかるように掲示をしていきたいと。
0:27:46	はい。
0:27:47	はい。この位置でやるのがこういうふうな圧力バランスになってどうで すとかっていうのを説明いただければいいんだと思うんですけど。
0:27:55	よろしくお願いします。
0:27:59	今のがこのページだとそれがわかるんですけど、ここに説明すること は、マエダホンダおかしいですね。はい。はい。整理します。はい。
0:28:17	規制庁の荒井ですけど。
0:28:22	たまたまページ美的 514 ページ目で、
0:28:28	労働のお話があったと思うんですけど、
0:28:32	左上の図を見ると、道道って、
0:28:36	強いOne市立区域に入るっていう理解でいいんですよ。
0:28:43	はい。そうですね時、一体そうですねCはシーツ区域に入ります。はい。
0:28:49	そうすると、厳密に書くのであれば、左がぽっとなんか入れて、黄色く塗 るのかなとは思いましたけど。
0:28:56	他のページでそこは示されているようであれば、
0:29:00	それに合わせていただくのかなと思っていたというぐらいです。
0:29:05	はい。日本原燃石原でございます。はい承知しました。はい。
0:29:11	はい。労働。はい。受けます。はい。
0:29:14	はい。
0:29:15	あとは、機密。
0:29:19	ダンパの話で、
0:29:21	510 ページ。
0:29:26	510 ページ目で、
0:29:28	排風機の出口に出てる逆止ダンパ等、管理区域の手前にあるダンパっ て、使い分けはもう決まってて、
0:29:38	その考え方も示せるってことでいいですかね。
0:29:43	日本原燃志田でございますこれ吸気系なので、送風機ですね、この早 期から、

0:29:52	Aのところにコイケランパートある管理区域側の境界にある呉Bシバサンパ
0:30:04	これ管理区域との境界のところは管理区域側の雰囲気は逆にしてこないっていうのが目的なので、当然ながら目的が決まっていますと。
0:30:12	ということですね。あとは排風機の後には、これも送風機より下流の雰囲気が逆にしてこないっていうことで、設置をしているということです。
0:30:25	はい。今では決まっていると思ってます。はい。はい。そうすると、業者のダンパの構造の違いっていうのが、
0:30:34	説明が、
0:30:36	あればいいなと思ってたんですけど特に
0:30:39	機密逆止ダンパ、
0:30:42	基準適合性に使う設備なので、ここでちゃんと、
0:30:48	漏れませんっていうのは、後ろの方で何か説明があるんですけど。
0:31:00	いえ。はい。与儀西原でございます。今、構造設計側徳田述べてないです。
0:31:07	はい。どうやって示すか考えたいと思います。はい。はい。
0:31:12	おそらくもらえるか何か違うのかなとは思ってんですけども、本当にお名前前で返ってくるんじゃないの。一般的にこれ利用してる。
0:31:21	はい。だよ。そうだよ。逆決め手逆転何%って商品名。
0:31:27	そういうことはわかります。はい。ちょっと考えます。はい。
0:31:31	はい。
0:31:37	コサクです先ほどの話あったんですけど、再処理との切り換えの話をしてたの、ページとところです。
0:31:46	ちょっと待ってくださいね。
0:31:50	評価。
0:31:51	504 ページ。
0:31:54	504 ページ後ちょっと 504 ページです。
0:31:59	コサクですありがとうございます。で、これ、
0:32:03	何か説明が中途半端なって気がして、
0:32:07	これ、通常時の負圧維持するっていう古藤なんですけど、
0:32:13	その意味からすると再処理に切り替えるタイミングでは1回閉じ込めモードになるんですよ。
0:32:24	これはイノウエニシダでございますはい。右が一番右側ですね、これで閉じ込めモードに1回入ります。はい。
0:32:31	ですよ。それって、
0:32:33	うん。
0:32:34	閉じ込めモードっていうのがあるよっていうのは、

0:32:39	通常はお金もありますけど、何でいいんでしたっけ。
0:32:43	あと通常維持してるっていうのとの関係でなんですけど、
0:32:50	閉じ込めモード自体は、負圧を維持すると、いうことを、究極求めるために、送風機っていうような息だけは、
0:33:02	そうだよな。
0:33:06	いいのか。
0:33:07	いやコサクです。閉じ込めモードって、吸排気なしで隔離状態にするっていうことだと私は思ってるんですけど。
0:33:15	それって取り扱い作業してないから許容されているっていうことだと思ってて、
0:33:22	だとしたら、どうどうで通常特別に閉じ込めでいいんじゃないって思うんですけど、何でしょう。
0:33:33	ちょっと私の
0:33:34	を、
0:33:35	結局だけだと最初に言ってる閉じ込めモードとMOXで閉じ込めモードが若干違うような気がするので、その辺も整理をします。最初に言ってた閉じ込め物は、送風機止めて排風機だけを、
0:33:49	ふやしてる状態、いわゆる負圧を、
0:33:53	徹底的に確保するんだみたいな状態のモードが、閉じ込めモードだった気がするんですけど、今回だと、
0:34:02	木内は止めないんだよね。
0:34:04	止める吸気とめて、排気はグローブボックス排風機動かして、工程室を
0:34:11	スペースも、建屋換気も止めるの。
0:34:15	何かそれっていいのか、俺が言っちゃ駄目か。
0:34:20	んやろ。
0:34:22	ハードウェアによる、ちょっと整理しますすいませんはい、加来です。そこら辺の考え方を、
0:34:31	説明されるのかなと思ったんですけどその肝心なところが抜けているので、その点を整理いただけると思います。で、そこを踏まえて、結局再処理の管理と、境界になるわけ。
0:34:46	いや、再処理はこの扉を開けるときに、どういう管理をするのかっていうこともあわせて説明。
0:34:56	はい。日本インダでございますはい。承知いたしました。
0:35:02	はい。
0:35:12	規制庁のあれですけど現地確認の時に説明を聞いた限りだと、
0:35:17	ここの道道の

0:35:19	開閉の管理って、MOX側がするので、再処理がはっきり落とした場合には、MOXが燃料加工建屋側の人に、まずは、
0:35:31	なんていうか運用上は連絡をして承認を終えてから開けるとかってそういう作業になるっていう理解でいいですか。はい、そうです。はい。ただ先ほど古作さんの時に換気のモードなり管理ということと、通常との関係っていうのは木材だけではなくて、
0:35:49	再処理側での、いわゆる、
0:35:53	一番右側ですかね、CB側の機密状態Eの状態の話。
0:36:00	これは、最初に今までの負圧管理という意味ではどうなってるかというところを、ページするそれがPAガードの永久吸排気のダンパの閉止ということのモードとの関係の整理で、
0:36:13	思いますのでその辺、
0:36:16	関係性も含めて整理してお示しをしたいと思います。はい。
0:36:21	はい、わかりました。
0:36:30	はい、規制庁カミデ須賀ほか規制庁側からありますか。特に今はシステム設計のところかと思うんですけど。
0:36:39	規制庁をオカですちょっとたびたび申しわけないです。507 ページからのところって、一応貯蔵。
0:36:47	の図とかを少しわかりやすいものに変えるっておっしゃって、
0:36:52	ましたけど、
0:36:54	ちょっと、
0:36:54	ちょっとわかんなくなる。
0:36:56	できたのがラックピット棚の方でも似たようなご説明をして、
0:37:01	具体的に何の差分をそれぞれで説明しようとしてるのかっていうところ、ちょっと以前も聞いたかもしれませんが教えてください。
0:37:27	はい。与儀ニシダでございます。現状の仕分けは給気口廃棄コウの1の設定だったり、系統構成上何か考慮することがあるかということの配慮を、神吉側で、
0:37:42	全体都道のラックピットだなと。空気の流れの関係崩壊熱除去との関係は、109ピットタナベというのが現状の仕分けなんですけど、
0:37:54	それがわかりやすいかってことも含めて、整理をさせていただきます。はい。引き離された結果、それぞれ、逆に言うところこっ側で何説明したいんだっけっていうのが、
0:38:06	よくわからなくなる可能性もあるので結局この位置関係が空気の流れとも関係するのね。
0:38:12	いや厳しいって話すと何を説明したいのかもここ、ちょうど中途半端な感じ。

0:38:18	ちょっと考えますはい。はい、規制庁河津 後の方、まだ
0:38:23	出てないんですが 648 ページ目以降に、今度はバックフィット他の痛風 の関係の話があって、
0:38:31	そこと比較してたらな、何がコウ。
0:38:34	説明の切り分けポイントになるのかなっていうのがだんだんなんか曖昧 になってきたのでどっちかで説明でもいいような気もするので、
0:38:44	似たような図を別々に違う表現で、
0:38:47	するよりは、同じ表現した方がいいかなと思った次第ですんで、その辺 整理よろしくお願いします。
0:38:55	はい、梅田でございますはい。ちょっとその辺は私が全体構成で考えな いけんでは、検討させていただきます。はい。
0:39:05	規制庁コサクです先ほど言われ、言ってた流れが変に見えるっていうの を見つけました。598 ページ。
0:39:14	です。
0:39:23	コサクでした。これは、空気雰囲気そのままきずなの設備に入るよう になってない。そうですねように見えるっていうイメージですよ。はい。 はい。はい。ありがとうございます。はい。
0:39:48	はい、規制庁カミデです。他はいいですかね。
0:39:54	と、トップがよければちょっと構造のところで聞きたいところがあったんで すけど。
0:40:01	563 ページ。
0:40:04	辺りで、CG。
0:40:07	これはあれ、あれかな。
0:40:11	原動機パンの指示埋めかなとか、なんかその辺の話なんですけど、こ れが、
0:40:20	6 町の関係で示されてて、
0:40:24	似たような説明って、グローボックスでもあって、
0:40:30	あと、どの範囲までを、どの設備で代表して説明するっていう整理が、
0:40:38	ちょっとよくわからないなと思ってるんですけど、何か前段の表とかで何 かここで整理してますとかってあります。
0:40:59	はい。次ニシウラでございます。資料見てない。
0:41:03	資料 2、ハウジョウ。
0:41:05	いやいや、代表同士の関係上、
0:41:10	ミイシタの梅川に関しては、管野進藤の考慮。
0:41:14	平均の考慮としてポイントとして、進藤で、
0:41:18	ぜひ、それでは、当資料になった指示方針他でして指示方針の詳細の ところで、

0:41:28	の後背地のファイル機構のところの塩化一緒。
0:41:33	細かいし、資料の 8 は、
0:41:37	以下、
0:41:42	機器の指示方針で、運用ボックスに飛ばしてるところもあれば、排風機というところもあるIT機器がなかったんですね。
0:41:54	鹿野として、加地。
0:41:59	ふうんました。
0:42:00	よく言うと 10 ページもう、
0:42:03	右首藤 。
0:42:05	の、
0:42:07	勤労を考慮して、支持構造物の共同設計を行うってポイントが、排風機を抜き出したポイントだと、もうそれが資料 2 で見えなかったら、箕輪から、
0:42:19	はい、与儀ニシダでございます代表だったり、説明をどこで豊川資料 2 で展開をしている、そこで、多分今、いても、明示的にされてないと思うのでその整理をして、資料 3 との関係のリンクがあると。
0:42:37	ということかと思えますはい。
0:42:41	規制庁菅です。今中進藤危機だからみたいな話ですけど、でも 563 ページだったのか、単純にその材料を、こういうのを使いますとか何かそれは別に関係ないような気がするし、
0:42:56	1 次のページの、
0:42:59	話も何か別 2、
0:43:02	換気設備特有って感じもしなくなんかバラバラと書かれているような印象になっていて、できたらそのまとめて、最初に出てきたところなるべく確認終わらせちゃいたいんですね。いろんなところでトントンじゃない。
0:43:20	ということでもう少し整理なのかと思えますけどこういうのが昨日、
0:43:27	溢水の問題意識も伝えましたけど何かこれ目的谷また最初に説明するように、いうのがまさにこういう感じなんですよ。なんで少しシュンくんになるよう、お願いします。
0:43:41	はい、日本イシダでございますはい。支持構造として一連のものをパッケージしようとして 663 ページ、展開してますけど、おっしゃっていただいたように、右下ぐらいかなあとはみんな共通項で出てくるものなので、
0:43:56	仕分けをしてどこで何を説明するのかを明確にしていきたいと思えます。はい。
0:44:04	はい。規制庁甲斐ですよろしくお願ひします。あともう 1 個言っても 583 ページとかの、支持構造物をどう選定するかっていうんで、

0:44:17	配管のスペックはこれぐらいだから、安価だったり、ロッドいうバンドっていうやっていますけど、とは言っても、結局、
0:44:27	グローボックスだったりそういうのにくっつけてるわけで、その辺の関係もちゃんと説明されてないですから、
0:44:37	てんでなるとあれなんすやっぱ換気塔グローボックスで切り分けもだんだん難しくなりっていうところがあるので、ちょっと整理をしてください。
0:44:55	はい。荻野医長でございます。はい。ちょっとその仕分けも今管台までが土木側それ以降が、神吉側とやっていますけど、おっしゃってて支持構造としたら
0:45:07	耐震性っていうのが1年繋がったもので、多分考えないと、設計がうまく語れないのであれば、その辺のコラボも含めて、どこでどう進めるかを、
0:45:19	提示することが必要だと思います。設計で考慮しなきゃいけないポイントがどこかと、いうことを考えてどこで説明するかを整理すると。
0:45:28	ということかと思しますので検討を進めますはい。
0:45:33	はい、規制庁亀井ですよろしくお願ひしますちょっと耐震だけが特殊になっちゃってるのか何かいろいろあるんでっていう感じもしますけど。はい。
0:45:42	ちょっと引き続きよろしくお願ひします。
0:45:44	他、規制庁側から、構造設計だったり、あと配置設計とかもありますけど、いかがですか。
0:46:01	はい、規制庁川満特に。
0:46:04	なさそうですかね。
0:46:08	はい。それじゃ換気設備は、以上ということで次が、外装地搬送設備ですか。そちらの方お願ひします。
0:46:22	はい。宮城ニシダでございます。はい。
0:46:27	603 ページからが、資料3の①になっています。
0:46:33	こちら先ほどの閉じ込めとの関係で境界になる部分の話というのも、先ほど資料2で追加をしましたよというところが一番トップバッテリー下リンクを張っているものです。
0:46:47	はい。あと、
0:46:51	必要な容量というところを書いているのは基本、どういうことを設計で考えるのかっていうところを記載をさせていただいています。
0:47:02	ただちょっと具体的な数字を書いているところをもうちょっと扱うものによって扱うものとの関係で、ちゃんと重量を考えると、いうことかなと思いますのでタイプとしては、運ぶものそのものを考えればいいものを、

0:47:17	箱物だけじゃなくてその事業も含めて考えなきゃいけないもの、あとは取扱量、その後、ある種まとめて運ぶものは、その全体のまとめて運ぶよう数量というかそれも考えて、
0:47:30	単品の容量掛ける取り扱い終了ということで、重量を考えなきゃいけないもん。
0:47:36	いうものを、これらの考えられる重量を上回る容量を確保するというのが、設計上の考慮ですというのが、展開としてわかるように、期待ということで今、書いてます。
0:47:48	あとは前回もありました左で見た時の16条の1出てくる登場人物の関係がまだうまく記載しきれないの、そののさらに下の整理を進めるとのことと、
0:48:01	※書きで出しているのは今回の対象物に入っていないものがあるので、1回1の関係にはなりませんというのがわかるようにしているということでございます。
0:48:12	iPadは、
0:48:16	603 ページの下側でいくと、前回の審査会合かなぜその油谷リンクありですけど、
0:48:24	チョウゾウ側との関係でスズキアノガイドピンなんかでの落下防止みたいなものを、この中で展開をしていくということで整理をしています。
0:48:35	はい。
0:48:37	605 ページが、破損しない高さでの取り扱いということ、これも
0:48:44	まずは、どういうことを設計上考えるのかということのを、ある程度具体的に言わないと、ただそれ以下に取り扱うと言われただけでは、何の設計なのかわからないので具体化を図ったということと、
0:48:58	あと先ほどと同じで※で、今回の対象にならないもの見左側の形を設計ホシノた分がわかるようにしているということでございます。
0:49:08	具体的な設計の説明が607 ページ以降でございます。はい。
0:49:17	こちらの前回の、先ほどの話でいくと612 ページのシャッターのところの構造はもうちょっと考えるかな方は、
0:49:28	はい。あとは、
0:49:35	年かそっか。シャッターまたは弁みたいな弁は613 ページが、ボールペンみたいなもので
0:49:46	入れる前と入れたときの関係性を書いていると。
0:49:50	ということでございます。
0:49:52	で614 ページとか615 ページ、重量計画の容量が確保できますよということで使っているものでございます。
0:50:02	616 ページ以降落下同士、転倒防止とか旅客機落下防止か、

0:50:09	のところで審査会合でも説明したものを、具体化しているのとあとは、623 ページで、
0:50:20	これでもわかるかと言われると難しいな、大きいのが、左側のように、貯蔵だなあとの関係保管だとか形で、どういうふうに手当をしているかというところをつなぎのところがわかるようにということで、
0:50:35	経営整備をさせていただいたということ。
0:50:39	あと何て言うかね、ある容器というかボックスみたいなものだけ燃料棒みたいなものも、固定をするときのやり方が 624 ページとかが 625 ページ。
0:50:54	いうことで配慮をしているということでございます。
0:50:58	はい。
0:51:00	で、627 ページからが一層防止に関すること。
0:51:06	エアシリンダでの配慮であったりメカニカルストッパーみたいなものが 628 ページということでええような説明を準備、展開をさせていただいてます。
0:51:20	はい。631 ページ、632 ページとかが、633 とか、高さの精鋭によって落下しても、破損しない取り扱いと、
0:51:33	いうことで、整理をしているということでございます。
0:51:38	631 が図面だからこれマスキングな。
0:51:46	これも書けそうじゃない。
0:51:50	上でも書けそうです。
0:51:52	変化で、
0:51:54	はい。
0:51:55	いいですかね。はい。
0:51:58	あと 635 ページ側からが、内部発生飛散物としての搬送側の考慮ということで、
0:52:07	これもあれですね先ほどの全体の整理との関係をもうちよっとして、ここで説明することが抜け漏れなくできてるかということを考え、整理させていただくと、ということかと思ってます。はい。
0:52:20	説明は以上です。
0:52:26	はい、規制庁コサクアリタごめんなさい、補足が、感想の。
0:52:34	搬送 01、これも 10 月 10 日に出しているもの。
0:52:39	この中で、先ほどあった、
0:52:43	ここで考えるべき搬送設備の定義に入るもの、それ以外のものも、全体示した上で、どれを対象にするかという話を書かなきゃいけないので、それを出した上で、

0:52:54	重量として考慮しなきゃいけないものに対して必要な容量がありますということ、あとは落下防止転倒防止とかの具体の構造というのをさらに
0:53:04	これずっとしてる館セキネ。
0:53:06	今、A3の丸に書いてる以上に、追加するような個別のことがあれば、ここに具体を展開させていただいているということでございます。はい。すいません。説明以上です。
0:53:21	はい。規制庁有井です。それでは規制庁側から、確認あればお願いします。
0:53:26	それ超過です。まず搬送0イチーの方で、先ほどの話も踏まえて変更するというふうにおっしゃってたんですが、
0:53:38	確認したかったのは、結局、U、
0:53:41	の貯蔵、衛藤。
0:53:44	浦の粉末缶とかって、同じような配慮されてるのかっていうところで、例えばガイドピンに対応したような粉末化になってるのかとか、
0:53:55	その辺って、
0:53:56	明確に違うものになってるんですかそれとも、この中で取り扱えるものになってるんですか。
0:54:18	はい。上西瀬谷でございます。取り扱いの仕方が、外から持ってきて搬入するときに、装置だけでは使ってるものではないっていうところも含めて、全く同じような考慮が全体的にできるというわけではありません。
0:54:36	取り扱いの仕方によって、一つ同じような考慮ができるものであれば同じように、A班、
0:54:45	コンベアーで運ぶときは、やっぱ付けてんだよね。
0:54:48	何か戦闘防止みたいなもの。はいということはやっているというところがあります。はい。それから、それが結局朝言っていた内部発生飛散物としての扱いとしては、大事なのかなと思っていて、結局どこまで、
0:55:03	配慮されてるのかっていうところは少し確認しなきゃいけないなと思っていましたので、明確にさせていただければと思います。
0:55:13	はい、乳井西原でございますベースでいくと、あれ、地上1階地下1階、
0:55:20	入ってきてざっと見、
0:55:23	以上2回から1回から、
0:55:28	はい、内部発生資産ズーであったり搬送としての落下転倒での相手方になるような重要な機器が周りにいないっていうのも基本あるとは思うのでそういった排除の関係も含めてどう、
0:55:42	説明していくかってところを考えたいと思います。はい。はい。社長。

0:55:54	市田今朝聞いにやっしまいましたでしたがこちらって1 概要はどういう、先ほどまでの
0:56:03	議論を踏まえて、1 ポツ概要は、
0:56:06	やっぱり変えるんですよ。
0:56:13	倍変えないといけないと思います。はい。こちらは前のやつから来ると1ポツにかなりいっぱい書いて、2ポツの関係もよくわからなくなっている
0:56:23	ので、設計方針、基本設計をシンボた要求事項が何で、それに対してどういったところ、考慮しなきゃいけないのか、どういった情報を、説明しないといけないのかという展開をして、
0:56:35	具体的話を持っていくということで同じように整理させていただきます。はい。その認識で、
0:56:43	大丈夫ですので、ちょっと流れがやっぱり今悪いってところもありますので、今ので流れも整理されると思いますのでよろしくお願いします。
0:56:52	あと容量に関しては、こちら朝、
0:56:58	バッチとの関係とか、その前提として何が必要なのかっていうところも、少し補足がいますので、その辺も
0:57:07	認識されてるとは思いますがよろしくお願いします。
0:57:11	はい、日本エリアでございますはい。全体のスキームをちゃんと決めて大きい枠から順番に流れを作って説明していくということで整理をしていきたいと思ひます。
0:57:22	その中にはどういったものが全体取り扱うものであってそれをどういう形で取り扱うのか、あとはそれを連続なのかバッチなのかバッチで取り扱うときをどういう形態でどういう単位で扱うのかみたいな、
0:57:36	情報がまだあって、MOX燃料加工してる説明みたいなってますけど、そういったのがあった上で、搬送として考慮するものがどうなんだというところで展開していくということで考えます。はい。
0:57:49	はい。清長官、よろしくお願いします。
0:57:52	普通の話で確認したい。
0:57:55	ですが、
0:57:58	取り扱う容器等が頭に粉末缶というのとかがあって、これはどの粉末化も全部該当するっていうそういうことなんでしょうか。例えばですね。
0:58:09	これは、
0:58:11	10 ページ目の貯蔵施設の原料MOXマツノ1 互換設備のところの取り扱うものって、
0:58:18	粉末缶となっていて、何か個別に限定かけてないんですが、
0:58:24	ここはもう全部はもう済んだとか、はい。

0:58:28	まず、原料MOX粉末買う一時他の設備はこれ再処理から受け取る。
0:58:33	貯蔵容器、3段積みになってる中の粉末缶を指してますので、特段、何らか、その下にくる粉末一時仮保管設備出てくるようなJ60みたいな振り分けはありません。
0:58:47	ただそのあとに、おっしゃっていただいているように、国家の資料見ていくと、これも粉末缶って呼んで、何を指してるかよくわかんなくなる時あるので、その辺はちょっと全体整理をさせていただいて、
0:59:00	個別のものを対象に語ってる場合の粉末缶と言ってるものと、ここで再処理からもらってくる粉末缶の話をしている場合が、ちゃんとわかるように、
0:59:10	整理をしていきたいと思います。はい。はい。清島海です。粉末缶だけじゃなくてさ。
0:59:18	どう言えば、ウラン燃料棒って作るんですよね。ウランだけで構成された燃料。
0:59:26	クボオオヤネウラン燃料棒、ウラン燃料棒自体を買うんですよ。だから変えます中で、混合するウランの粉末だけを、昆購入するということですか。
0:59:39	いや、何かあったよね。入園者でございます。なぜ込むための運松も買ってきますし、燃料棒の中に井浦燃料棒も買ってきます。はい。はい、わかりました。
0:59:55	お金燃料部追ってやってるのも、結局嘘。どっちも使えるものと、どっちなしか使えないものが変わるんですか。はい、そうですね粉末を固めてペレットにして、呉と入れて作り上げていく一本一本語ってるところは多分、MOXマツオカ
1:00:15	ナベタペレットが入ってる燃料棒の話をしてるんだと思います。集合体くみ上げるときでてる燃料棒には確かに入ってるかもしれないですね混合して、それをちょっと整理をして、
1:00:28	いければと思います。はい。はい。社長の青井さんが少しあってですね、何でい終了が変わってるのかとか、
1:00:38	ちょっと
1:00:40	取り扱うものをもう少し明確にすればわかるようなところが結構ありますのでそこはよろしく願います。
1:00:46	あと、今回ここを出してるものっていうのは、
1:00:50	第2回申請のものだけですか。
1:00:55	ちっとも前、第2回のものでいいですね、とはいえずね。
1:01:05	第3回に送られてるやつがほとんどを粉末で取り扱うメインの地下3階にあるグローブボックス、

1:01:12	になるので、そういう意味では周りの
1:01:15	多分重量物扱うやつはほとんど出る第 2 回で、
1:01:20	A、
1:01:21	すごい。
1:01:23	そういう意味では第 3 回は入ってないから、それが何かがどっかでわかる。
1:01:29	はい。ちょっと整理をして、
1:01:32	日本の
1:01:34	申請対象は、地下 3 階にある目、連携って言い方がおかしいと、粉末を混合したりとかいう部分が第 3 回になっていて、
1:01:47	ペレットになった以降とかあと貯蔵関係ですね、が第 2 回でユリされているので、ほとんどのものが第 2 回に入って担い、一部が第 3 回に、
1:01:58	別途いただいているものがあるので、その辺の関係がわかるようにしていきます。はい。はい。そう。まさしくそこを知りたかったところなので、次回に出るものはこういうもので、それは、
1:02:09	次回ですとか、第 2 回で出しても、どういう関係で第 2 回で出しているのかとかいろいろありそうなので、そこは明確化しておいていただければと。
1:02:20	思います。
1:02:22	3 ポツの方にちょっと進ませていただいて 14 ページ以降のところ、
1:02:27	こっからが落下防止総合し、
1:02:31	どんな転倒防止かになると思うんですが、こっって、その共通 12 の枠組みの中で説明するものとの差異っていうのは、
1:02:42	どういう考え方でこっちで説明する共通順位で説明するってなってますか今、
1:02:49	はい、与儀西田でございます。まず正直に現状申し上げますと、大分よくわからなくなってきたのが現状です。大分共通のさ、資料 3-02。
1:03:00	これも説明しないとわかんないだろうって言って、こんな結果ですね、この個別補足との関係がわかりづらくなってるのが現状だと認識をしています。私が大分
1:03:11	後で、資料 3-0 に入れた結果、これももともとは資料 3 の②では構造としてこういうところを押さえていきますみたいな概略が書いてあって、
1:03:22	もうその概略わかる程度の絵にした上で個別補足で細かいが
1:03:28	ダテシステム的なアノドウ的なものを展開しようかなと思ってたんですけど、概略書いてもらってもようわからんなということでもんどもんどもん資料 3-02、

1:03:39	付加していた結果が現状ですのでちょっとそこ野瀬の整理も、引き続きやらしてください。はい。はい。
1:03:49	細かい手当でさ、最後の方にそれがどう、どの設備になって、
1:03:54	出るのかっていう、
1:03:55	明確化がされてる。
1:03:58	でした。
1:04:00	どの設備がどの防止対策をやってるかっていう部分は、
1:04:06	文中に書いてあるのを読み込まなきゃ今は、
1:04:10	駄目な感じなんになってるような気がするんですが、そ、
1:04:15	この補足で知りたいのはどちらかというと、そのどの設備がどの防止設計まで含まれてるかだと思うんですが、その辺はいかがですか。
1:04:28	はい。日本原燃志田でございます。それもですね。はい。
1:04:32	正直、申請した申請書の添付 2 者に表が載っています。
1:04:38	それを共通順位でどう出そうかなっていうところを出しづらくて入れてなくて結果この個別補足が具体的話を展開していたのに、三の丸にどんどん情報が移ってきて、
1:04:50	一体何だったっけみたいな話になってしまってるので、その交通整理します。はい。はい。そうですね。
1:05:00	共通 12 年経つか、こちらで出すかはちょっと。はい。いろいろ重複しているところもありますし、どこで何を書かかというところをかなりしっかり整理していただいて、補足説明資料としての、
1:05:13	位置付けを考えていただければと思います。
1:05:18	あと、搬送 01 について私からちょっと確認したかったのは以上であと共通 12 の方で、メカニズム等は確認したいんですが伴奏樹 01 の方で、ほか、規制庁側からコメント等ありますでしょうか。
1:05:33	コサクですけど。
1:05:35	類してるかもしれないですけど、
1:05:40	要領の設定根拠って言われちゃうと、
1:05:44	これは 2-1 の説明でしょうかっていう感じがし、
1:05:48	徹底。
1:05:51	一方先ほども少し話しましたが、それぞれ構造としての説明、妥当性って意味だと評価が必要で、
1:06:03	これ、
1:06:03	不足ってどこまでの説明をしようとしてるのかって強度の方の説明は別途作る予定なのかっていう、ちょっと教えてください。
1:06:20	はい。上西田谷でございます新野井戸 2 と 2-1 の線引きはおっしゃっていただいたようにもともと、

1:06:31	報道、このイ、イ、
1:06:33	ある。
1:06:35	重要なものを、運べるだけの定格容量があるということの説明なので、ある種単純な話かなと思って二ノイチ入れてましたが、
1:06:45	2-2 との関係で大杉の他の容量と名のつくところは 2-2 でやってるよね、なんでこれだけ 21 名みたいなところの整理はしないといけないと認識をしています。あと強度の関係でいくと、
1:06:56	先ほど来あった、搬送設備だったりMaaS。
1:07:02	取り扱ってるときの、地震に対する教育オノダテの構造上の強度とかね、そういったものだったり、このあたりでクラックピット頼もうアノグループ、
1:07:13	キャンプ、
1:07:14	共同やりますけどそういったときの、落下防止みたいなものが実際本当に機能するのかっていうのの共同的なものってというのが、
1:07:24	委託とって入っていないのでそれは午前中來の話の中での追加要素だと思っています。
1:07:31	それで、そこを含めて全体どこ井野同会計イクノCore検討して個別補足の必要性も含めて整理をしていきたいと思います。はい。
1:07:41	はい。補足ですよろしくお願ひします。ここまで話しているので大体どこの評価について求められてるのか分かっているとは思いますが、
1:07:50	この補足で言う等、いっぱいありますが、一番危なそうのところ、32 ページ。
1:08:01	ガイドピンがあつてですね、ガイドピンにより転倒防止ってな。
1:08:07	ていて、途中にもう途中とか前の議論でもアライから
1:08:13	転棟大丈夫ですかみたいなことを言われてたと思うんですけど、
1:08:20	これの強度なりです。
1:08:24	何ですかねクリアランスというか、の状況によって、転倒の評価どういふふうにするのか。
1:08:34	ていうこともあると思うので、
1:08:37	これで本当に転倒モーメントを佐伯れるのかっていうような、当然抑えられるように作ってるんですけど、
1:08:43	これだけではとても説明がつかないので、考えていただきたいと。
1:08:49	その時に
1:08:52	最終的には 2-2 の資料 4 で説明なんだと思いますが、
1:08:57	引き継ぐにあたっては寸法はこっちに書いてないといけないんだと思う。

1:09:03	ということだったと思うんですけどどこにもそんなのが見えなくてっていうのは、
1:09:08	あるので、そういうのも含め、整理をお願いします。
1:09:15	はい、日本インダでございますはい。集計いたしました。評価のフラグを立てていきたいので、評価として、前振りが必要な、
1:09:25	構造設計なりの考慮事項というのも展開できてないというのが現状だと思っておりますので、そういう視点で整理をして展開をしていきたいと思ます。はい。
1:09:45	成長オカです。搬送ゼロイチに関しての、
1:09:50	規制庁荒井です。
1:09:54	ノー。
1:09:57	この扱いはどうするかっていうのは、また整理っていう話なんですけどちょっと内容だけを知りたくてですね。
1:10:05	低角。
1:10:07	加重以下に、
1:10:10	抑えますっていう話が、5 ページ目から書いてありまして、
1:10:18	この定格荷重っていうのは何で決まっているのかっていうのを教えていただきたいくて、メーカーの仕様書なのか、それとも
1:10:31	何ていうか、
1:10:34	すごい疑問に思った点としては、7 ページ目見ていただくと、
1:10:41	ローラーコンベヤっていうのが 15 体並んでいて、
1:10:46	たまにローラーコンベア六、七っていうのが、三、四でもそうなんすけど、
1:10:51	重いものを運びますっていうところになったときに、
1:10:55	この定格荷重っていうのも、一見同じような設備に見えるんですけど、なぜ変わってるのかっていうのを知りたくてですね。
1:11:03	ローラーの数を、
1:11:06	多くして割り戻して味を分散させてるのでっていうことなのかもしれないんですけど、ちょっと事実関係を教えてください。
1:11:21	はい。石田でございます。震災は別途調べて、次の補足を出すときに、記載の確認を、
1:11:30	していきたいと思ますが一般の方からすると当然、ガイドローラーで抑えるということは、ローラーの太さだったり、アノ数だったり、アノっていうのを変えて、
1:11:42	与えられる重量を変えるということだと思っております。それを実際どうやってるかとは調べた上で、特に同じような名称で並んでいるもの。

1:11:55	ローラーコンベヤみたいなものは続けて、施設、繋がってどんどん繋がっていくのに、途中でこう急に重量変えられるのかっていうところは整理をして記載を拡充していければと思います。はい。
1:12:20	社長からです。かーないようでしたら共通 12 の方に戻る。
1:12:26	ます。どうぞ。議長。すいませんニュートンなってまして申し訳ないです。もう 1 点ありまして、先ほどのはいよろしく申し上げますというところで 10 ページ目で、
1:12:38	梱包出荷設備っていうところで、クレーンのところで、
1:12:43	最大荷重約 1.2 トンで、定額荷重 1.2t というところで、非常にかつかつなイメージがあって、かつ、容器等の最大荷重約が気にしてるんで 1.2 士で考えると、超えてるんじゃないのかな。
1:12:58	とかっていう疑問に思うところもあるので、そこら辺は確実に超えないって説明をお願いしたいと思います。
1:13:23	貯蔵梱包くれってやつですか。
1:13:25	はい。10 ページにですね入ってここも書き方の問題ですね。はい整理をしていきます。
1:13:35	超えないの確認だと思ってますがここで言う、
1:13:39	燃料集合体の重量が多分、
1:13:43	風間氏をして薬で、多分上げてるんじゃないかなと思いますんで、そこも含めて、整理をしていきます。はい。
1:13:55	アライで好きになっては以上ですよろしく申し上げます。
1:13:59	社長から、今の観点で何かそのけた処理の話って、関係してくるのかなと思いますので、今、戸田処理ってどういう。
1:14:08	ことで
1:14:09	考えられてますかここ。
1:14:13	全体を全体的に統一したポリシーでやってると思うんですが、どうなってますか。
1:14:28	はい。日本原燃石田でございます。ポリシーなさそうなのでこちらで全体の書き方、整理をして、
1:14:36	展開します。はい。多分設定図面とかに書いてある容量数字を、
1:14:42	書いたよね。そのままね。はい。ちょっとこちらで整理をして、書き方せ、合わせていきます。はい。はい、わかりました。
1:14:55	じゃあ他よろしければ共通 12 の方、戻らせてもらって、600、
1:15:02	9 ページ目から座間、ちょっと、②の方で、609 ページ目から、
1:15:08	さっきもあったようなシャッターとか弁の構造設計が、
1:15:16	少し書いてあるのが 612613 なんですが、

1:15:20	前のポンプの書きは形というか考え方さっきの崩壊熱条件の話でもないんですがまた同じことを書いてるような感じになっていて、ここは何か書き分けの、
1:15:33	考え方ってあるんですか。
1:15:51	さっきのシャッターと野原君、閉じ込めの負圧で書いてたところと、この関係。
1:15:59	多分同じようなこと書いてて、でも変わんないんで、
1:16:03	多分、破る等、閉じ込めの境界ですね、その考慮事項みたいなのは、取り込みがあります。
1:16:11	実際のこの深い装置としてのシャッターの動きとか、
1:16:17	機械装置としての話はこっちで書きましたんだろうけど、
1:16:21	そんな形できてない。
1:16:24	煽ってくる。
1:16:29	LED、
1:16:30	遮断する話は、
1:16:32	うん。
1:16:33	業界との関係でいくと、多分、取り込みで書ききれてないところをちゃんと整理して書かない。
1:16:39	変えたことによってさらに同じ重複感が、
1:16:42	さらに浮き彫りにつきまして、
1:16:44	多分整理だけ、役割分担をやるか、どちらか全部受けるか。
1:16:52	はい。日本原燃車でちょっと考えます。はい。
1:16:56	どちらでどう書くか、その役割分担を整理した上で、それぞれで必要なことを書くと。
1:17:03	ということか。どちらかに寄せるか。それも含めて考えたいと。はい。はい、規制庁河津 どちらかに寄せてもう全然説明はつくと思いますので臨空としてちゃんと成立していればいいと思うんですが、
1:17:18	ちょっとさっきから気になってるんですが、この辺で、その担当者は別で、
1:17:24	市原さんは全体像を見ているってそういうことなんですか
1:17:31	ちゃんと。
1:17:33	はい、与儀西浦でございますはい。それほどチームがいっぱいいるわけじゃないので、換気閉じ込めと機械装置は、明らかにチーム分かれてるよね。
1:17:46	はい。あとちょうどラックピット頼もう、機械装置側と同じかな。

1:17:52	になっているところで仕分けになってます。で、全体みたいのは私は常任委員会業務課長ですけどその協議会業務課にいる人間が、全体見て最終的に私も見てジャッジを進めて、
1:18:05	全体的なシナリオとして整理しなきゃいけないものが全部上がってきますんで、その都度全体整理をして、指示をしてやってもらってるというような構成になって、
1:18:15	はい、清町笠野まさしくなんかそこで分かれてるなっていう印象で同じことを説明してるのがそのこの境界になってる気がしていて、
1:18:24	やっぱり同じことを説明して違う、似たような、さっきもありましたように多様な説明を別々のところでしてかつ、違う。
1:18:33	図を何か出してくると。
1:18:36	何の書き分けだろうという意味で言って結局同じことを書いてあったりしているんで、ちょっとそこを少し明確にするっていうのはこの共通中に全体の
1:18:46	今後の課題かなと思ってますのでよろしくお願いします。
1:18:51	はい。弓削ニシウラでございます。はい、ありがとうございます。まず少なくとも、全体として必要なパーツをまたちゃんとピックアップして、変えていくということをやった上で、全体のシナリオを組んで、
1:19:05	どこでどう変えていくかというステップで、順次、展開していくものだと思いますので、そういった意味で、全部上げるんだということではそれなりにみんなやってくれてると思うので、私の方で委託全体のシナリオ組んで考えて、
1:19:21	それぞれの役割分担だったりどこで何を説明するのが要求事項との関係でいいのかということ整理してまた展開できればと思います。はい。はい。すいません。よろしくお願いします。
1:19:33	あと、すいません。補足です。せっかくこのページなので、あれなんですけど、
1:19:40	ここで書いている理由は、次のページとかを見ると、
1:19:46	搬送にあたっての機能を確保するための工夫と、
1:19:52	ということなのかなあと思ったんですね。
1:19:56	613 ページだと、開いてると、ボール弁のような形で
1:20:03	燃料棒が通れますと、
1:20:07	いうことの説明であって、612 ページであればそこはよくわかりませんが、輸送容器、
1:20:15	輸送容器が通れるような開口部になってますということだと思うんですけど、まあ、そうだとすればここに新法なり何なりがあってもいいんじゃないかなってことに、

1:20:28	なるんじゃないかなと思いますが、言いたいのはそういう、もうそれこそ今単なる前座なんですけど、
1:20:36	もう一つは搬送設備Daily一番先ほどの補足でも論点にしたのは落下防Cであって、
1:20:44	シャッター、これ、シリンダーでってなると、エアが抜けた場合は落ちるんですよね。
1:20:59	はい。4 イシダでございます。いや死んだ場合はどっかでロックがかかるはずなので、それがどっかで同じような機構の話をしてた気がしますが、
1:21:11	はい安全が確保できる方で多分6あるようにしていたと思います。そういったことも書いてないのは、多分わからないところですね。はい。
1:21:22	はい。
1:21:24	それから度、このシャッターっていう機能をオダ、どこでどう説明するのかって落下防止、それを踏まえてどうですかによると思うんですけど確実に見れるようにしてください。
1:21:37	はい、伊勢でございますはい。承知しました先ほどの1の固定、あとはこれ自体の協会としての、
1:21:48	あれですね、押し付けだったり含めて、構造がどうなってるかというところも含めて必要な要素も出して後は先ほど岡さんから、どこでどう説明したいか。
1:22:02	説明する場所での必要な要素をちゃんと展開をしていくということだと思ってますので整理を進めます。
1:22:14	はい。規制庁甲斐ですよろしく申し上げます。
1:22:17	初めに、
1:22:19	午前中資料2の中で聞いた時ってこれ、
1:22:23	資料2じゃないか、資料3だったかもしれないですけど、
1:22:27	これって、機械装置だから、グローブボックス内に入ってる機械装置だから、ここで説明するっておっしゃってませんでしたね。はい、そうです。
1:22:38	はい。輸送節、
1:22:42	Bは、前閉じ込めの方では書いてあって、こっちで書いてなくて、そういうアンバランスさもちよっとあって、その辺も整理されると思いますがよろしく。
1:22:53	お願いします。
1:22:55	はい、宮でございます承知いたしました。
1:22:59	超過ですって、あと613ページ目がこれが、さっきちょっと説明受けた日、
1:23:07	要望を流していくっていうものだと思うんですけど、

1:23:12	これ、
1:23:13	遠方が、
1:23:16	は、向きが元がふさがってるところになってそれで閉じ込め性能を確保して、被覆管とか燃料棒が来たならそれを更改来ると回転させて、
1:23:29	その間を通すことで、
1:23:32	その時に搬送すると、だから負圧管理は、それで担保してますとそういうことなんですか。
1:23:46	はい。与儀ニシダでございますそれが説明したいことなんですがこの絵で本当に伝わるかと若干疑問が残ります。はい。はい。それでシール材がどういうふうに動くのかなってというのがちょっと気になったんですが。
1:24:00	これシール材ってどういうふうについてるんでしょうか。
1:24:08	はい、日本イシダでございます桐生ザイゼン田井は多分固定だと思って、これがボール弁とのどういう接触の仕方になってるか、多分これが回転する時も含めて、
1:24:20	境界が多分イデきてますっていう説明を多分構造としてしないと、ただこれがぐるっと回っただけじゃ何言ってんのかわからないということかもしれませぬ。はい。
1:24:30	はい、規制庁、はい。その感触でした。よろしく申し上げます。
1:24:36	あと 614 ページ目から、そのはじいたまず容量ですね。
1:24:42	はい。先ほどの議論も一緒なので、
1:24:46	もう、
1:24:47	割愛しまして、615 ページ目は、これは燃料棒をコウ、
1:24:52	次に挿入するっていうその、
1:24:55	一つだけのものを、
1:24:59	説明しているということなんです。つまり類似的なものはなくて、それだけのものを説明しているということでもよろしいですか。
1:25:18	はい、日本イシダでございます。
1:25:21	これが 614 で先ほど 3-01 であった例の一番が 610 の右上、例の丸 2 番が、
1:25:32	左房で 615 ページで 0-03、容器等をかける取扱数量みたいな、容量のカウントをしなきゃいけないものを上げていると、ということです。はい。
1:25:52	はい。清調査役わかりました、これって聞いwあるとBWRの燃料、
1:25:59	として、それぞれ持ってるんですよ。
1:26:06	人間のイソダでございます。重い方だと思いますね。はい、燃料棒を組み上げたときに、一番奥田です。はい、清調査役わかりました。
1:26:19	リーダー思い、
1:26:20	橋口議長もそう。そいから、ちょっと、

1:26:27	チームだっけ。
1:26:29	の燃料と10と77とかPの方が多い。
1:26:32	僕もやっぱ、
1:26:34	棒が細いからか、これでマガジン組むと。
1:26:38	縦書きが一番低くて、おっきい。
1:26:44	その辺も説明しないとわかんないね。はい。瀬下はい。すいません。はい。はい。社長おっしゃる通りで、P
1:26:52	あと1077だけど、細井とかですね。
1:26:56	いろいろ、どれが代表になるのかというところは、
1:27:00	ちょっと間説明いただけるとわかるのかなと思いましたので、
1:27:04	よろしくお願いします。
1:27:06	616からラック防止、磯子支店と防止ということで、今まで聞いてきた内容で、かなり図でわかりやすくなって、
1:27:15	出る。
1:27:17	ところだと思います。
1:27:20	ですね、いずれも鍛冶
1:27:25	技工を説明されているということですよねまず落下防止なんです、
1:27:34	沢井日本インダでございます。恥を説明しているチームと、
1:27:40	さっきのは大体ガイドピンみたいなもので、622ページですかね、言っているものと、
1:27:48	あるかなと思います。はい。パターンは、
1:27:54	後はあれですね624ページこれも燃料部押さえていることで、マラッカっていうのか、ここどっか行かないってだけで、
1:28:04	はい。というものと、
1:28:07	ですね。はい。ちょっとこれもまた626になるとは次の章以外の結城の固定とって、
1:28:15	燃料集合体全体を中に収納して、
1:28:20	ちゃったじゃないけど、扉を閉じて落下しないようにするみたいなもんパターンも、
1:28:26	ありますんで全体多分パターンお前書いた上でこれを書かないというわからんかもしれないね。はい。はい。
1:28:39	あなたたち会計で見てもわからない。ホンダトガサキ。
1:28:47	これ、
1:28:48	保険保険契約の注意事項です。
1:28:52	616ページのこの青字、
1:28:56	もう読めないんです。

1:29:00	社長からそこは認識してましたけど、結局そのもうちょっとこうブレークして、何を話してるのかっていうところ、例えばですね、
1:29:11	618 ページ目、燃料集合体のはじ機構なんですけどこれ、
1:29:16	BWRのハンドルだけですよね。
1:29:28	そうですね。はい。甲斐
1:29:32	補足で書いてるのはそういうことをおっしゃる通り、
1:29:38	最初のプールでも考えても、Bは上にハンドルがあるんで使いますし、Bは要するに、多分使う引っかけるところがあるんで、そこに、
1:29:49	内側から爪を伸ばして、そこで抑えてアカセないようにするというところでPとBで扱いが若干違う、自分のところで多分変えるんだと思うんですけどそこで変わってくるのかなと思いますはい。
1:30:01	はい。規制庁値そのもの、
1:30:08	先ほどの補足の方と、こちらでどこまで示すかの話でもあるんですが、
1:30:15	そ、そういうその対象が何かっていうところをしっかり、
1:30:19	明記してもらってここからここまではここで説明してますんで、
1:30:23	今みたいなBしか書いてないとPはってなっちゃうので、そういうところの、
1:30:29	網羅性みたいなのを少し補足いただけるといいかなと思ったんですがいかがでしょう。
1:30:37	はい、西平でございます。はい。あれですね、搬送 012 回行って 18 ページですかね右下のかいという通り、
1:30:48	燃料集合体の搬送の流れ、掴むときの流れですね落下防止みたいなやつは確かに、右、左のところに書いてある事業を形は変われど、
1:31:00	やってることは逆側の検知をして、あとは次の検知をして、そこで落下しないように抑えると、いうことは共通的なやり方だと思うのでそれを言った上で、例示として、Bの例示を書いていますとか、
1:31:18	いうことでつなげていければいいかなと思います。はい。はい。その対応で結構ですので、
1:31:26	来週、
1:31:28	あと、
1:31:29	すいません 620 ページ目、これ一も前から帰っていただいでいてで、
1:31:34	来結局、これ、
1:31:37	粉末一時保管搬送装置は、すべての間に対して、同じ
1:31:45	把持機能を持つということは、上の、
1:31:49	粉末缶の上部の構造っていうのは全部同じになってるってそういうことなんですよ。
1:31:57	はい、おっしゃる通りです。

1:32:00	はい。後で超過して、結局その、
1:32:04	粉末缶ごとに変えないということだと思うので、
1:32:09	設計配慮としては、粉末缶側の配慮なのかなと思っていて、その辺ってどっかで書いています。
1:32:24	はい、日本イシダでございます今書いてないのと、
1:32:30	グループ 3、
1:32:33	ちょっとグループさんでの説明もどこまでするかっていうとこれとのリンクをちょっと考えないといけないですね。はい。はい、規制庁はその前から言ってる通りそのグループさんで説明することのうち、この部分まではこっちで担保地。
1:32:49	説明して担保してるので、それとちゃんと整合するようにグループ 3 で説明しますの一つの例だと思っていてですね、そういうところをわかりやすく、
1:33:00	説明していくものなのかなと思ってたので、
1:33:03	配慮のほどよろしくお願ひ。
1:33:09	はい。与儀ニシダでございます。はい。承知しました。はい。
1:33:13	はい。規制庁岡です。
1:33:15	と、621 が何かよくわかんないんですが、これは何を、図では、ガイド、概略図では、
1:33:26	どの部分の何を説明しようとしているんでしょうか。
1:33:49	はいわかりませんねこれね。
1:33:56	これどこで開けてんだっけ。
1:33:58	これなんかで見たところの青いところ帰って、例えば、
1:34:04	はい。
1:34:05	なんで、これか。
1:34:08	かえ 617 ページにある。
1:34:17	単独で個別補助じゃなかったっけ。
1:34:20	奥田。
1:34:22	うん。
1:34:23	3 層 01 の、21 ページですねここで書いてたほど私記憶をしてて、
1:34:32	この青い部分が閉じて、カガワに投じてる部分以外の方向での落下っというかこれがずれていく中の、搬送物がずれていくことぐらいで抑えていると。
1:34:45	というようなことで、それが逆に左側だったりにある図との関係がどこを指してるのかっていうのと、

1:34:53	全体のハヅキコウとの関係の整理をうまくできてないので、いきなり右の図を書かれてもようわからんと、ということだと思いますちょっとその辺も整理をして、何を説明する部分でどこの図とどう関係なのかと。
1:35:09	いうことを整理していければと思います。はい。
1:35:12	はい。規制庁深田です。はい。よろしくお願いします。
1:35:15	あと 622 ページGで、ここも
1:35:20	以前からあるんですが、二重ワイヤーとか、じゃあ、吊りワイヤ釣りチェーンを二重化するっていうのが、図で示されてないと思っているんですが、
1:35:31	そこら辺はいかが。
1:35:42	はい。与儀ニシウラでございます。はい。日本池はい二重化できてるのがわかるようにします。はい。はい。それです。ねこのフジイだけで二重化を表現しようとしたらやっぱり、
1:35:57	家じゃ本切れたら大丈夫になるので、ちょっとユキも考えた上で、大丈夫ですっていうことを担当するところかなと思ってましたので、
1:36:07	はいヒロザワヨシダ背弧の武器で書くと、両方のワイヤーは所アノオクとオク手前に並ぶので、一本しか見えないので、ちょっと考えます。はい。はい。室長、よろしくお願いします。
1:36:20	623 会合とかで言っていた、貯蔵状態。
1:36:26	貯蔵のところに移し込むっていうことで追加していただいたものと、
1:36:30	理解してるんですが、そういうことですよ。
1:36:33	はい、そうです。これが実際の動きを見た上で、あの絵を見るとわかるかなっていうのはあってですね、書いてある通りなんですけど、実際は州のパイプが左の方に書いてあるように上がですね。
1:36:54	乗っかってる部分が、左側にスライドして行って、岡村の方に領域に入って行ってそれを下げていくと、実際ガイドピンとパレットが合わさって、これは、
1:37:09	水色の部分が収納されて、
1:37:14	完成するという形なんですけど、
1:37:17	みたら、
1:37:19	結局行かなくてもパッと見わかるんですけど、これがこの絵を見てわかるかと言われるとなかなか難しいなっていうふうには思っていました。はい、光岡様、
1:37:29	わからなくはない気がしていますが、
1:37:33	わかりづらいなという感想はありました。
1:37:37	落下防止的な観点で、
1:37:41	貯蔵棚にこう置いた後に、その前をコウしめるような、

1:37:46	ものとか、そういうのってあるんですか実際のところ。
1:37:51	ないですね。はい。宮城ニシダでございますそこは開放状態になってちょっと記憶をしています。はい、わかりました。
1:38:01	ちょっと午前中の話でもありましたが、
1:38:05	ちゃんと落下しないように、
1:38:08	するとか、耐震上も、
1:38:10	何か考慮するとかそういうのをちょっと確認していきたいので、またその辺の整理のほどよろしく願います。
1:38:19	はい、日本ギリシャでございますはい。いたしました。はい。
1:38:24	はい。室長、岡です。
1:38:27	あとはですね、上期、
1:38:30	627 ですかね。亀井。
1:38:34	これは、
1:38:38	どう、どう動くのかっていう、そうしない設計、これ、どういうふう、
1:38:45	一層防止してるのかというのがちょっとわからなかったんですが、
1:38:51	ちょっと説明いただけますかこの紙機構がどう動いて、どうなっていくのかっていう。
1:39:12	はい。乳井ニシダでございます。はい。
1:39:15	麻生 01 の 29 ページですかね、見ていただいて、確かに 627 を見ても、何を言いたいのかよくわからないと、いうことだと思うので、
1:39:30	はい、加茂自体を改定することで、この長計の部分の分だけ押し上げられていくと、これが上にやはり限界ですということで、制限かけているというような構造になってます。はい。すみません。
1:39:47	見落としてたというか、こっちはわかったんですが、今日ツジにはわからなかったの、はい、理解しました。ちょっと。
1:39:54	共通 12 側への反映というか、どちらでもいいので、しっかりわかりやすくせ、再整理した結果、どちらかになった場合、
1:40:03	そこでしっかりわかりやすい方法を説明していただければと思います。
1:40:09	はい、日本イシダでございます承知いたしました。
1:40:13	はい。
1:40:14	成長を下ですね、
1:40:17	は、手数、
1:40:19	あ、すみません、古作です。
1:40:23	全般的に言いたいこといっぱいあるんですけど、
1:40:26	今、ちょうど補足と共通中にとって話があったので、
1:40:32	話をしておきたいんですけど、まずさっきの繰り返しにもなりますが、どっちでも足りないんですよ。

1:40:40	お祖父で書いてあるやつが共通 12 で書いてあって、十分じゃないか、マスキングの部分とかは要らないですけど、
1:40:48	ということで、一方で捕捉妥当、先ほどの寸法なりなんなり、全然示されていないということで補足たり得てないと。
1:40:58	ということだと。
1:41:00	思うんですね。特に
1:41:04	さっきの言う等、
1:41:08	今の噛むワー
1:41:10	ことが書かれてればいいだけなんですけど、
1:41:14	等、
1:41:16	共通 12 側で言うと 624 ページであれば、これ何で落下防止できんのってというのは説明し、
1:41:24	できてるとは思えなくて地震で転げ落ちないって何で説明できんですかと。
1:41:29	ということですし、
1:41:34	等、
1:41:35	621 ページであれば、そもそも書き足りないということをご認識いただいているところではありますけど、
1:41:45	他のところではまだす 618 ページとか詰めがあって吊り上げてる状態では荷重がかかるので開きませんみたいなことは、
1:41:56	何、一応わからなくはないんですけど、
1:42:01	爪が外れないための工夫みたいなところろは、
1:42:06	もう少し何とか何かなあとということだしさっきの
1:42:13	書き足りないと言っている 621 ページだとまず、
1:42:20	Hatchする。
1:42:22	水色側が開かないっていうのは何ですか。
1:42:26	ということと、ガイドがガイド足り得るといのは何ですかと。
1:42:31	ということもわからないというので、
1:42:35	すべてにおいて触れてはいるけど、説明ができてないという。
1:42:40	音かなあと。
1:42:42	思います。ここまで言えば、拡充何したらいいかをわかっていただければと思うんですけど、大丈夫ですかね。
1:42:53	はい。与儀ニシダでございます。はい。そういう意味ではまず、
1:42:58	共通 2 側で説明を、一連必要なものをしっかりとしていくと。
1:43:06	何か防止というのであれば落下を防止するということはどういうことを考えて落下防止なのかということだったり、それぞれの機構に対してどういう動きをするのか。

1:43:20	植野クドウいうの。
1:43:23	工藤元何なのかということも含めて整理をしていくと。
1:43:27	ということかとも思いますので、そういったことをまずちゃんと整理をするということ。補足の方はそれを具体的に展開するときに、
1:43:37	寸法だったり、構造の細かいところだったりがあるんであればそういったところを補足していくということで、全体的な書くべきことの整理と役割分担と、1例、していきたいと思います。はい。
1:43:51	はい、小迫ですよろしくお願ひします。で、634ページは、その点では配慮できてる方だと思うんですけど。
1:44:02	藤下の図の右側の吹田Cでは、
1:44:07	動力供給停止時、空気空気圧が抜けるってということだと思いますけど、
1:44:18	空気喪失時にもってなってる状態を維持できるようにエンドロック機構を設けるといって図でエンドロックでは書いてあるんですけど、
1:44:29	高齢化非常に見にくく。
1:44:32	でですね、
1:44:42	これは、
1:44:44	エンドロックはどう動くのか。
1:44:50	というと、
1:44:57	一応
1:44:59	近年はナカタジリイデをイシコ嫌がられ、動きが変わるってということだとは思うんですけど、水があつて特に余ることでそれが固定されるということを、
1:45:11	言いたいんですけどわからないですねこれを見て、はい。というのもエンドロックを解除しないとまた開かないわけで、
1:45:20	その解除がどうされるのかそれは働かないことでちゃんとなってる。
1:45:25	ということもないと思う。
1:45:28	説明が収束しないのかなっていうのもあつてですね。
1:45:32	もうちょっとっていう感じかなと思います。
1:45:35	はい、日本イシハラでございますはい、ありがとうございます。エンドウオクノこの会場は多分空気で押し上げて、多分解除するんだろうなと思ひながら当然空気の供給がない時にはこの解除ができないのでアノ会方向にいかないと。
1:45:48	ということも含めて一連の機構の説明を達成できるように、
1:45:55	解説を、あと構造の担保みたいのも含めて整理をして変えていくと。
1:46:01	ということかとも思います。はい。

1:46:06	はい、加来です。良いところでのプラスアルファのことを言いましたのでそれに沿っ他の部分もですね、同レベルで説明できるようによろしくお願いします。大庭さん、お願いします。はい。社長。
1:46:19	はい。補足と添付というか共通 12 で書くべきことの整理も、何か今の議論で、
1:46:26	大分できたのかなと思ひまして、
1:46:28	あと、635 ページ目、回転機器なんですけどこれが、
1:46:34	やっぱりどう見ても抱展望式を何となく説明してるのはわかんない結局地層循環ファンの、
1:46:46	ど、どういうふうにもまず
1:46:48	迷惑かけるのかとか、
1:46:52	ですね、回転して迷惑かけるのかとか、何か、
1:46:57	もうちょっと図をしっかりとここは書いていただく必要があるなと思ってるんですが、
1:47:03	そこら辺の認識っていかがですか。
1:47:13	はい、日本イシダでございますはい。ちょっと全体、この内部発生飛散物の関係の、
1:47:21	ステージ全体整理をしますよというのが午前中の資料にもありましたけど、
1:47:27	そこでの手当も含めて考えます。はい。内部発生飛散物加害者側を設計上担保をとって、被害者に影響を与えないようにするというのは、
1:47:40	おっしゃる通り配置の関係も含めて、設計上の考慮していくというスタートがあって、
1:47:46	最終的にここに来て、個別の具体としてはこういう配慮しているので、改定としてその羽根が飛んでいくとかそういうこともないですということに繋がって、
1:47:57	内部発生飛散物により機能喪失はありませんっていう流れかと思ひますんで、ちょっと全体のストーリー考えて、これどういうふうに説明すれば理解できるようになるのかと。
1:48:09	必要な要素が説明し切ったことをやるのかってのは、検討したいと思ひます。はい。はい。課長補佐です。よろしくお願いします
1:48:16	海津。
1:48:18	一応な感じですが、結果成長側から、
1:48:28	規制庁のアライですけど、
1:48:30	例えば図の示し方の中で 624 ページとか回転機器を使うようなところってというのは、なるべく

1:48:39	買い回転はどの方向になるのかっていうのを、不謹慎していただくと非常にわかりやすいので、お願いしたいと思うんですがいかがですか。
1:49:00	これ、日本イシハラでございます。これ一設備自体赤粹んなくて中身が全然説明されないままにいきなり詳細ってくるので、何のこっちゃって話ですけど。
1:49:11	これ一、
1:49:13	あれだねどっちの方向だ。
1:49:15	多分、オクから、
1:49:17	向こうから奥川に代わり赤間押田。
1:49:24	ローラーでオクってどこ。
1:49:27	そういうことを面倒くさいわかんねえよこれじゃ何か意見だけ。
1:49:34	一方、
1:49:35	広いものが何ですかって言いたくなるぐらいの、はい。ちょっと回転機器でそのクドウの仕方とか全体の流れっていうのもわかるように伝えたいと思います。はい。はい。お願いします。
1:49:58	規制庁からストッカーないようでしたらつギイ。
1:50:02	廃棄ですかね。
1:50:04	もしも、
1:50:07	はいじゃない。RAPIDだな。
1:50:18	はい。野木清でございます。ちょっと待ってください。私の資料のラック言ったからどっか行っちゃいました。
1:50:25	そうです。
1:51:01	ありましたすいません。
1:51:03	643 ページからがね。はい。
1:51:12	これも前回の審査会合でもお話があった、吸排気との位置関係だったり空気の流量だったりということで崩壊熱除去ができるかということはどう説明していくかと。
1:51:27	いうことだと思ってます。はい。
1:51:31	それぞれのタイプごとに空気の流路になるような場所をどう設けていくかということも含めて、詳細なものを、
1:51:43	示すようにしましたが、ほとんど赤粹等でもう一つと。
1:51:49	への工夫は要るかもしれません。
1:51:53	ね。
1:51:54	だよね。いいよね。
1:51:56	はい。
1:52:00	そうですねこれも今、
1:52:03	あれこれって細川金井。

1:52:05	649 ページみたいに今、先ほど、上から空気を入れて緑のラインを通過して下に行くと空気が下から出てきてというような流れ、
1:52:19	赤で送ってるからしゃべっちゃいけないのかもしれないけど、これぐらいでいいのかな、ああいうコサクです。
1:52:25	それで言うと、これ、前の閉じ込めの方だとマスクングなしの本作ってるんですね。はい。なのでそれも含めて考えます。はい。細田です。それで、それと違ってらるんですよ。
1:52:38	そういうことですか。が流れ、
1:52:41	何つうんすかね、ポンチ絵だから概念上作ってるってということではあるので、ドイツじゃなくてもいいんですけど。
1:52:49	私にはコンセプトが一緒のように設置すると、見えない。
1:52:53	です。
1:52:54	先ほど言ったように均等にちゃんと流れますかみたいなのところとか、その配慮というのが徹底されているようには見えないので、その点でどう考えてこう配置してんだと、いうのはわかるように、
1:53:08	はい。
1:53:09	してください。
1:53:10	はい。承知しましたその辺の関係も、見えるようにしていきます。はい。
1:53:17	はい。
1:53:19	そうですね原版的にバックフィットタナオカそういう意見ですか。はい。整理をして、も含めて、拡充していく。差し替えていくことも含めて考えます。はい。
1:53:31	概念的なことだった。国井。
1:53:34	もう1回できんだよ。
1:53:37	うん。はい。
1:53:39	はい。
1:53:40	すいません以上です。はい。
1:53:46	小阪です。横やりを入れてしまったのであれなんですけど、それで全般対応していただき、
1:53:55	ないんですけど、
1:54:00	そもそもこれ何ページかに渡って、このパターンこのパターンというのはありますけどそのパターン分けがなぜそうなってるのか、どういうものはどうするのかっていうのって、
1:54:12	どこでどう書かれてるんでしょう。
1:54:16	はい、家田でございます。それを多分しないと駄目な気もするのでおっしゃってたじゃの吸排気江川旧木下側だったり、

1:54:29	構造上の問題もあって送風機というのか、配布しているのかをつけたりということが、
1:54:40	その中に入っている所動物のことを考えたり、
1:54:45	棚の構造を考えたり、下からパターン分けをしてるはずなので、そこまでちゃんと書くということかなと思います。はい。
1:54:56	はい。補足です。大枠でお聞きすると、
1:55:01	648 ページは、上でそのままでもいいか、要は下側に持ってこなくていいか。
1:55:10	いうもので、下側に持っていきましようというのが、つギイの 649-50 トン。はい。
1:55:19	その下ですかね。なって、649 と 650 の違いは、フロアを入れていると。
1:55:29	はい。15。
1:55:31	あれは何でだと、いうこと。
1:55:33	のその使い分けの考えということだと思んですけど、ここはどういうことですか。
1:55:52	単純に言うと、今日強制循環的なことを考えるのか、単純に吹出し乗りあるわけですが。はい。いうことではあるんですけど。はい。グローボックスの奥行きっていうんすかね。長さその解析の問題で、区域が長いところに置いているものは、多分これで、
1:56:14	450 ページみたいなパターンのもの。
1:56:20	グローボックスのフレームだけは
1:56:24	どこかで見ていただいて、しますが奥行き長いものをあと1、一つのグローボックスで完結してるようなものは、649 ページみたいなパターンでいけるということで全体の解析なり、
1:56:40	ペーパー含めて考えているということです。はい。
1:56:45	はい。補足です。D5 呉
1:56:53	それだけで本当に説明なのかがちょっとよくわかんなくて、午前中とかも話し合っって、
1:56:59	いましてけど、よう木下カラーの流路っていうのをどう考えるのか、これ言っても大丈夫です。
1:57:07	関連。
1:57:08	はい。構造細かく言わなければそういうのがあるというのは大丈夫です。はい。はい。はい。
1:57:13	ていうこと等の確保の仕方とかっていうのも、何か違いがありそうですし。ええ。

1:57:23	そういうところがしっかりと説明できるようにしておいていただきたいと思 い
1:57:30	雄で、
1:57:33	等、
1:57:36	651 ページはそういう点で言うと、
1:57:39	どんな特徴がある。
1:57:47	はい、野木西尾でございます。これがー、先ほどの容器とイワマ上が、 あれか、開放状態、料金値上げによってか箱。
1:57:58	が、今谷金である状態なので空気としては流れる空間が、
1:58:04	大井ちゃ大井。
1:58:06	他に比べると、いうのも含めて、構造考えてるんだとは理解をします けどそういったことも前提としては、
1:58:13	わからないのでそういったところを明確にしていくということかと思っ てます。はい。
1:58:20	はい。これはですかね。どちらかというと、
1:58:25	コンセプトとしては 649 ページと、はい。神田ウエダけど、吹き出し口を 下に持ってきてと。はい。
1:58:35	はい。いうことで、その形状が違うだけってことですか。
1:58:39	はい。今日です。はい。
1:58:41	はい、わかりました。そういったところでその違いを持たせ、今の形はち よっとあれですけど、
1:58:50	吹田市のさせ方みたいなどころでの考え方というのを整理して、
1:58:57	言っていたきたいと思います。以上です。
1:59:00	はい、上西でございますはい。全体的な考え方というかコンセプトとい うか、そこから臨時順番に説明していくという上でのパターン分け。
1:59:12	とか、それぞれのパターンでの設計の基本的な考え方であったと言 うのを順番に書き出していきような形で形ができればと思います。検討しま す。
1:59:25	はい。補足ですね時に、これも午前中言ったと思いますけど、評価との 関係ということで必要な事項をしっかりと説明すると。
1:59:39	評価の内容に応じてどこまでっていうことを、今後聞かせてもらえれば、
1:59:50	はい、与儀西田でございますはい。午前中との評価との関係も含めて 定義していく。
1:59:57	評価で必要な前提になるような情報っていうのを、どうやって考慮事項 として、設計側 2-1 アノ資料さん側で展開したのかということも、整理 をして説明できるようにさせていただきます。
2:00:23	成長オカです。もう全部言っていたいたと思うんですが、

2:00:31	あとですね、648 みたいなところで、会合のときの説明で、グローブボックス自体の
2:00:42	作りとの関係みたいなのもあったと思うんですが、
2:00:46	グローブボックス、
2:00:48	までこう図示して、そういうところの配慮っていう、
2:00:53	ものが必要なのかなと思ってたんですがその辺で河津。
2:01:07	はい。飯尾容疑者でございますはい。それぞれA案に置いている場合と、にその空間のある場合と、グローブボックスの中に入っている場合、
2:01:20	それぞれで、その状態がこの中でもちゃんとわかるように、図示をしていきたいと思っておりますはい。
2:01:27	はい。
2:01:29	そのときの空気の流れっていうのは部屋の場合とグローブボックスの場合でいろいろ変わってくると思いますし先ほどのアノオクユキがあって、ブローを
2:01:39	使いますとかそういうところも
2:01:42	サインになるのかなとこの6種類ですかね、説明が全部できてるのかっていう観点でまた見ていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。
2:01:58	はい。与儀ニシダでございますはい。
2:02:02	ほぼここに書いてちょうど設備ぐらいしかものがないので、これが全部だと思っておりますけど全体の分類も含めて整理をしていきたいと思ひます。はい。
2:02:14	はい、規制庁岡です。他貯蔵。
2:02:17	関係がピットだなって。
2:02:19	ありますでしょうか。
2:02:23	規制庁の新井です。一つだけ確認なんですけども、
2:02:28	除熱が必要な量、
2:02:31	確保するっていうところで、
2:02:34	説明が今回あって、それで
2:02:39	通路の、
2:02:41	こういうように、こういうふうには確保してまっすっていう話があるんですけど。
2:02:45	そもそもその、
2:02:47	除熱をする熱源のインプット条件となる崩壊熱の熱源ってどこで評価してるのかっていうのがわからなくてですね、ちょっとそこを教えてください。
2:03:19	はい、与儀西田でございますちょっと全体整理をしていきます。評価としての条件にもなりますし、

2:03:27	あとは
2:03:31	これは行き、
2:03:32	20条でやってる廃棄の数量は全体廃棄できるんだよね。そうです。9月は換気崩壊熱が、ちょうど、
2:03:43	それを足し合わせて他の要素は、以下、
2:03:49	ピックアップしてやってんだよね。
2:03:53	もう添付であんだけ頑張って整理したんで今、共通要因だった点で見えたかって言うんだよね。多分それが、
2:04:01	あそこカー。
2:04:03	あんなに苦労したのに、何も見えると今、はい。
2:04:07	はいちょっと日本イシダでございます全体整理します。
2:04:12	排風機の容量を設定するときに考えないといけないポイントは、添付資料をどう組み上げようかって考えたときには、どこで全体をハンドリングするかは2、廃棄の適合説明の添付書類側で前回はカバーしますと。
2:04:29	ただその中で全体カバーするといってもう五つの要素があって五つのうちの負圧は換気の、
2:04:40	適合説明の中で間、関係する崩壊熱除去は、貯蔵施設としての説明の中で展開をする。
2:04:49	ということで整理はして全体の紐づけなんかをしていくということでやったんですが、
2:04:56	今完全にシステムとか構造とか分けたことによって廃棄で全体カバーしてるっていうのが全く今見えてない。
2:05:05	見えないよね。というところも含めて、吉成を考えて展開の仕方を考えます。はい。
2:05:15	規制庁の荒です。それよろしくお願ひしたいと思うんですけど、例えば648ページ目とかに、貯蔵量から計算できる崩壊熱量っていうのは、ワードはあるんですけども、そっから、
2:05:27	上流はどうひも解いてここに来たのかっていうのがわからなかったの、はい、そう、そうですねそこは役割分担をしたというところがあればその崩壊熱除去に必要な風量の、
2:05:41	前提の考え方は、共同する、いうものの、発電量から決めて風量を決めるんで、その紐づけをしてどこでどう整理するかということと、排気での風量の説明とのリンクということも含めて整理をしていきたいと思ひますはい。
2:05:59	はい。以上です。
2:06:06	社長下です。そしたら、
2:06:10	古作です。ちょっと先走って2-2っぽい質問になっちゃうんですけど、

2:06:16	崩壊熱踏まえて必要な風量っていうので、
2:06:22	何をせ、
2:06:23	コンセプトにするのかなっていうことなんですけど、どこがしかの ΔTt を抑えるってことだと思うんですけど。
2:06:32	どこでとってるんですか。
2:06:46	給排気の入口出口のそれぞれの温度で出たときなんですけど、実際、評価する上で考えなきゃいけない。
2:06:55	温度の上限値なりがある場合はそこでもう、温度差みたいのを考えなきゃいけないと思うので、評価上どういうところを押さえているかっていうところは確認をした上で展開をできればと思います。はい。
2:07:08	はい、コサクニツアノまさにそこを確認したくて、
2:07:12	単純に出口温度、
2:07:17	はい。
2:07:18	一定程度に抑えておきたいっていうだけであれば単純に
2:07:23	トータル熱量との比、
2:07:26	掛川割り算ですかね、で計算をすればいいと、いうことなんですけどそれで本当に除熱できるのかっていうのが、容器なりの側の話であって、
2:07:38	それで除熱できるように風速を稼ぐようにっていう、
2:07:44	ことで済む場合もあれば自然循環で大丈夫ですよというので、容器側の表面温度、ここまでで十分冷えますと。
2:07:55	いうようなことだったりすると思うんで、そこら辺のコンセプトを整理をしていただける
2:08:00	いうことになるか
2:08:06	はい、与儀西尾でございます。はい。
2:08:09	承知いたしました。
2:08:19	はい、規制庁鏡です。オカ。
2:08:22	DACピットタナカン。いえ、いかがでしょう。
2:08:27	何ていい、あんまり。
2:08:29	特になければ一応これで、一通りですかねこれ一方ですね、一通りですか。
2:08:40	はい、規制庁上津振り返りはどうしましょうか。
2:08:45	明日も進め方はありますけども、ってありますかそれとも少し。
2:08:51	共通的な話も結構あるんで要はこういうことですよっていう感じで、明日まとめてもって感じもしますが、
2:09:00	はい、宮城西田でございます。かなりの数があるのでちょっと全体まとめてポイントを押さえて明日、お話できればと思い。
2:09:11	はい。

2:09:15	はい、規制庁管理部それでは一通り整理をした上で、結構共通的なところがあるのでそのポイントを、
2:09:25	こういうところにありますという話をした進め方部屋の中でまた聞いて、それをどうしていくかという話もあわせて聞ければと思います。
2:09:36	その他全体を通じて規制庁側、あと原燃側が何かありますか。
2:09:46	柘植。
2:09:47	はい。特にはないですかね。なければ、これで今日のヒアリングは終わりたいと思います。録音停止してください。

